

第八十二回帝國議會 衆議院 農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第六回

昭和十八年二月五日(金曜日)午前十時二十
九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君

理事成島 勇君 理事西川 貞一君

理事濱地 文平君 理事山田 六郎君

理事吉田 正君

青山 憲三君

池田正之輔君

石坂 繁君

馬岡 次郎君

岡田啓治郎君

越智太兵衛君

金子彦太郎君

小山邦太郎君

河野 一郎君

鈴木 重次君

高橋壽太郎君

土屋 源市君

中川 寛治君

松浦 伊平君

松山常次郎君

間宮 成吉君

山口左右平君

吉植 庄亮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 山崎 巖君

內務書記官 中島 賢藏君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水產局長 寺田 省一君

農林省蠶絲局長 井上俊太郎君

農林省食品局長 田中 啓一君

農林書記官 藤田 巖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

水產團體法案(政府提出)

○東郷委員長 會議ヲ開キマス、恒松君ガ
留保サレテ居ツタ內務關係ノ質疑ヲ此ノ際
御許シシマス——恒松君

○恒松委員 私ノ御尋ネ申上ゲタイノハ、
町村農業會ノ會長即チ町村長ト農業會ノ會
長トノ兼務ヲ一元化シテ行クト云フ問題ニ
付テ、內務省側ノ今後ノ御方針等ニ付テ承
リタイト思フノデアリマス、過日ノ本會議
ニ於キマシテ、町村制等ノ改正法律案ガ上
程セラレタ時ニ、此ノ町村長ガ町村農業會
長ヲ兼務スルノ問題ニ付キマシテ、議員ノ
方カラ質問ガアツタノデアリマスガ、ソレ
ニ對シテ內務大臣ノ方カラ、町村長ト團體
長トハ兩者ヲ兼テ得ル適當ナル者デアリ限
リ一人ヲシテ雙方ニ當ラシメマシテ、一元
化致シマス方向ニ指導ヲシテ参リタイト思
ヒマス、ト云フ御答辯ガアツタ譯デアリマ
ス、之ニ付テ先ヅ第一ニ御伺ヒ致シタイノ
デアリマスガ、此ノ答辯ヲ能ク一貫シテ味
ハツテ見マス、內務省ノ大體ノ方針トシ
テハ、町村長ガ町村農業會長ヲ兼務スル
云フコトヲ建前トシテ、即チ原則トシテ御

付託議案
農業團體法案(政府提出) (第四五
號)
水產團體法案(政府提出) (第四
六號)

考ヘニナツテ居ルノデハナイカト云フコト
ガ思ハレルノデアリマス、此ノ考ヘ方ヲ前提
トシテ一元化ノ方向ニ御指導ナサルノデハ
ナイカト思ハレルノデアリマスガ、此ノ點
ヲ先ヅ第一ニ承リタイノデアリマス、ソレ
カラ御答辯中ニ適當ナル者トアリマスガ、
是ハ如何ナル者ガ適當デアツテ、如何ナル
者ガ適當デナイカ、其ノ標準ニ付テ、適當
ナル者ト然ラザル者トノ見定メニ付テ承ル
コトガ出來レバ結構ダト思ヒマス、ソレカ
ラ其ノ適當ナル者及ビ不適當ナル者ト云フ
ノハ大體ニ誰ガ認定スルノデアリマスガ、
例ヘバ町村長ニ適當ナル者、是ガ「イクオー
ル」町村農業會ノ會長ニ適當デアルト御認
メニナルノデアリマスルカ、斯ウ云フタヤ
ウナ點ニ付テ御所見ヲ承リタイ

○山崎政府委員 御答ヘ申上ゲマス、農業
團體ノ統合ニ當リマシテ、地方行政權トノ調
整ヲ如何ニ圖ルカト云フコトハ極メテ重要
ナ問題デアリマス、隨ヒマシテ法案ノ立案
ニ當リマシテハ、內務省ト致シマシテモ此
ノ觀點カラ農林省ト十分ナ連絡協議ヲ遂ゲ
マシタノデアリマス、只今御質問ニ相成リ
マシタ市町村行政ト市町村ノ農業團體トノ
關係ハ、殊ニ農業團體ノ最下部ノ組織デモ
ゴザイマスノデ、非常ニ重要ナ問題デア
ルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ
觀點カラ市町村長ノ農業團體長トノ關係ヲ
如何ニ調整スルカト云フ問題ニ付キマシテ
ハ、慎重ニ研究ヲ致シタノデアリマスガ、
過日ノ本會議ニ於テ內務大臣ヨリ御答辯申

上ゲマシタ通りニ、市町村ノ農業團體長ヲ
地方長官ガ選任ヲ致ス建前ニ相成ツテ居リ
マスルガ、其ノ際ニハ諸般ノ條件カラ見マ
シテ、市町村長ガ市町村農業會ノ會長ニ適
當デアリ限リ、之ヲ兼務セシムルト云フ方
針ヲ執リタイト思フノデアリマス、諸般ノ
條件ト申シマスノハ具體的ニソレデハドウ
カト云フ只今ノ御質問デゴザイマスガ、是
ハ農業ニ付キマシテ市町村長トシテ相當ノ
見識モアリ、經驗モアリ、何レノ點カラ見
マシテモ、農業團體ノ長ニ當ルニ適當デア
ルト云フ者デアリマスレバ兼務セシムルト
云フ方針ヲ執リタイト考ヘルノデアリマス、
ソレデハ誰ガ認定スルカト云フ問題デゴザ
イマスガ、是ハ選任ヲ致シマス地方長官ガ
結局ハ認定スルノデゴザイマスレドモ、
其ノ認定ヲ致シマス場合ニハ、道府縣農業
會ノ會長等ノ意見ヲ徵シマシテ、結局選任
ヲ致スト云フ建前ニ考ヘルノガ適當デハナ
イカト、斯ウ云フ風ニ存ジテ居ル次第デア
リマス

○恒松委員 サウ致シマス、詰リ農業團
體法案ノ所謂第二十九條ニ「會長ハ總會ニ於
テ推薦シタル者ニ就キ市町村農業會ニ在リ
テハ市町村長(町村長ニ準ズベキモノヲ含ム)」
此ノ意見ヲ徵シテ地方長官ガ所謂之ヲ命ズ
ルト云フ箇條ニナツテ居ル譯ナノデアリマ
スガ、詰リ總會ニ於テ總會ノ總意ニ依ツテ
推薦シタル者、其ノ者ニ對シテ、若シ市町
村長ノ意見ガ相反シテ對立シタ場合ニ於テ
ハ、地方長官トシテハドウ云フ裁定ヲ下ス

ノデアカト云フ問題デアリマス、此ノ點ニ付テ御伺ヒシタイ

○山崎政府委員 地方長官ガ市町村農業會ノ會長ヲ選任スルニ當リマシテハ、諸般ノ條件ヲ十分ニ考慮シナケレバナラヌコトハ勿論デアリマシテ、其ノ場合市町村農業會ノ總會ト市町村長ノ意見ガ違フ場合ニ、ドウ云フヤウナ選任ノ方法ヲ執ルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、ソレハ凡ニル角度カラ考ヘマシテ、適當デアルト云フ者ニ付テ地方長官ガ選任スルコトニ相成ルト思フデアリマス、假ニ市町村長ノ意見ガ適當デナイト云フ場合ニハ、勿論ソレハ採ラナイコトハ當然ノコトデアルト思フデアリマス、併シ又總會ニ於テ推薦シタ者ガ適當デナイト云フ場合ニハ、地方長官ハ之ヲ拒否スルコトガ出來ルコトハ是亦當然デアルト思フデアリマス

○恒松委員 サウシマスト、適當デアルトイト云フコトハ、一ニ懸ツテ地方長官ノ考ヘニアルト云フコトデアリマスガ、サウ取ツテ宜シウゴザイマス

○山崎政府委員 地方長官ニ選任權ヲ與ヘラレテ居リマス關係上、結局ノ結論ハ、地方長官ニ於テ決定スルト云フコトニ相成リマスコトハ勿論デアリマスガ、唯其ノ場合ニ總會ナリ、或ハ市町村長ノ意見ナリハ、十分ニ検討ヲ加ヘマシテ適當ナル結論ヲ見出スコトニ相成ルト思ヒマス

○恒松委員 先程私ガ御尋ネテ致シマシタ中ニ、本會議ニ於ケル内務大臣ノ御答辯ヲ引用致シマシテ、御尋ネ致シタノデアリマスガ、サウ致シマスト、詰リ兼務ト云フコト、町村長ガ町村ノ農業會長ヲ兼務スルト云フコトガ、内務省トシテハ之ヲ原則的ニ

見ルト云フ考ヘデハナイト思ハレマスガ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○山崎政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ、諸般ノ事情カラ考ヘマシテ、市町村長ガ市町村農業會ノ會長デアルトガ適當デアル場合ニハ兼務ヲスル、斯ウ云フ風ニ内務省トシテハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○恒松委員 私ノ御尋ネ申上ゲタイノハ、適當デアルトカナイトカ云フコトデハナクシテ、大體ニ於テ此ノ兼務ト云フコトヲ原則トシテ、サウ云フ方面ニ指導シテ行クト云フヤウナ氣持ガアルカナイト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○山崎政府委員 先程モ一應御答辯申上ゲマシタヤウニ、市町村長ニシテ凡ニル角度カラ見マシテ、農業ニ關スル知識經驗ナリ、其ノ他市町村ノ農業會長トシテ適當デアルト考ヘマスル場合ニハ、無論其ノ方ニ指導シテ參リタイ、隨ヒマシテ言葉ヲ強ク申シマスナラバ、適當デアル場合ハ原則トシテ兼務ノ方針ヲ執ツテ行ク、斯ウ云フヤウニ相成ル譯デアリマス

○恒松委員 次ニ御答辯中ニ一元化ノ方向ニ指導スルト云フ御言葉ガアルノデアリマスガ、其ノ指導ト云フノハドウ云フヤウニシテナサルノデアリマスガ、例ヘバ指導ノ上ニ於テ、程度ヲ越エテ指導スルト云フト、ソレハ一ツノ推薦ノ形式ヲ取ルニ致シマシテモ、外部カラ之ヲ眺メマスト、ソレガ一ツノ干涉ト云ヒマスガ、或ハ容喙ト云ヒマスガ、サウ云ツタヤウナ形ニ現ハレテ來ルノデアリマシテ、所謂此ノ指導ト云フヤウナ妙ナ言葉ガ使ツテアリマスガ、ドウ云フヤウニ指導セラレルトデアリマスガ、所謂會長ヲ總會ノ總意ニ依ツテ推薦スルト

云フ場合ニ於テ、推薦スル以前ニ色々ノ工作ヲシテ適當ナル人物ヲ見定メテ置イテ、ソレヲ推薦セシメルヤウニヤルト云フコトモ一ツノ指導ニ指導ト云フヨリモ寧ロ指導ヲ越エタ干涉ニナルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ意味合ノ是ハ指導デアリマスカラ、指導ト云フ意味ニ付テ御所見ヲ承リタイ

○山崎政府委員 本會議ニ於キマシテ指導ト云フヤウナ言葉ヲ大臣カラ申シマシタノハ、恐ラク市町村ノ農業會ノ會長ト市町村長ノ兼任問題等ニ付テ、別ニ法制的ニ之ヲ定ムルコトナクシテ指導デ參リタイ、斯ウ云フ趣旨デ申サレタコトト思フノデアリマス、指導ニ付キマシテハ無論干涉ト云フヤウナコトハ全然考ヘテ居ナイノデアリマシテ、十分ニ條理ヲ盡シテ指導ヲシテ參リタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○恒松委員 只今ノヤウナ意味ニ於ケル指導デアリマシタナラバ、私ハ寧ロ團體法ノ二十九條ノ第一項ニアリマスルヤウニ所謂會長ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就イテ市町村長ノ意見ヲ徵シテ地方長官之ヲ任命ス、此ノ箇條ノ中ニ總會ニ於テ自然ニ盛上ツテ、所謂町村農業會ノ機能ヲ遺憾ナク發揮シタル、サウシテ其ノ目標トスル所謂戰時下食糧ノ増産トカ、供出トカ云フヤウナ大キナ國家要請ノ仕事ヲスル上ニ於キマシテハ、何ト云ツテモソレヲ運營スル所ノ人ニアル譯ナリデアリマシテ、先日モ豫算總會ニ於テ總理ハ、要スルニ仕事ノ運營ニ付テハ人ニアリト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、是ハ別ニ珍ラシイ言葉デアリマセスケレドモ、今日ノ時局ニ於テ、而モ町村ノ農業會ノ如キ、其ノ使命ノ立場カラ運營シテ行ク場合

ニ於キマシテハ、要スルニ人ガ中心デ適當ナル人ヲ得ルト云フコトニナツテ來ル譯デアリマス、而モ其ノ人ハ所謂町村農業會ヲ組織スル團體員、會員、即チ言ヒ換ヘマスト、其ノ區域内ニ於ケル農家ノ本當ノ總意ニ依ツテ信望厚キ人、サウ云ツタヤウナ者ヲ推薦セシムルコトガ妥當デアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ依ツテ作り出ス所ノ町村農業會ノ會長デアリマスナラバ、サウ云フ色々ナ方面カラ積極的ニ指導スルトカ、或ハ積極的デナクテモ指導ト云フヤウナ言葉ヲ使ツテ、之ヲ容喙スルト云フヤウナコトヲシタケデモ、總會ノ總意ヲ自然ノ儘ニ其處ニ現ハシテサウシテ結果ヲ得ルト云フヤウナコトニ御任せニナツタラドウカト私ナドハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○山崎政府委員 農業團體ノ眞ノ活動ガ決定致シマスル爲ニハ、只今御話ノ通りニ其ノ會長ニ人ヲ得ルコトガ最も重點デアルトハ全ク御同感デゴザイマス、ソレダケニ農業團體ノ會長ニ最も適當ナル人ヲ得ル爲ニハ、凡ニル角度カラ考ヘマシテ、其ノ市町村内ニ於キマスル農業團體ノ會長トシテ、眞ニ第一等ノ人物ヲ選ビ得ルヤウナコトヲ考ヘルコトガ、最も適切ダト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ、總會ニ於テ推薦シタル者ニ付キマシテハ、尙ホ市町村長ノ意見モ徵スルコトガ適當ダラウト考ヘマスシ、更ニ又農業團體ノ會長ト市町村長トノ兼任ニ付キマシテモ、色々ノ點カラ考ヘマシテ、此ノ點ニ付テ適當ノ指導ヲ加ヘル、サウシテ眞ニ市町村内ニ於ケル會長トシテ第一等ノ人物ヲ選ビタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマシテ、サウ云フ點カラ考ヘマス

ニ於キマシテハ、要スルニ人ガ中心デ適當ナル人ヲ得ルト云フコトニナツテ來ル譯デアリマス、而モ其ノ人ハ所謂町村農業會ヲ組織スル團體員、會員、即チ言ヒ換ヘマスト、其ノ區域内ニ於ケル農家ノ本當ノ總意ニ依ツテ信望厚キ人、サウ云ツタヤウナ者ヲ推薦セシムルコトガ妥當デアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ依ツテ作り出ス所ノ町村農業會ノ會長デアリマスナラバ、サウ云フ色々ナ方面カラ積極的ニ指導スルトカ、或ハ積極的デナクテモ指導ト云フヤウナ言葉ヲ使ツテ、之ヲ容喙スルト云フヤウナコトヲシタケデモ、總會ノ總意ヲ自然ノ儘ニ其處ニ現ハシテサウシテ結果ヲ得ルト云フヤウナコトニ御任せニナツタラドウカト私ナドハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○山崎政府委員 農業團體ノ眞ノ活動ガ決定致シマスル爲ニハ、只今御話ノ通りニ其ノ會長ニ人ヲ得ルコトガ最も重點デアルトハ全ク御同感デゴザイマス、ソレダケニ農業團體ノ會長ニ最も適當ナル人ヲ得ル爲ニハ、凡ニル角度カラ考ヘマシテ、其ノ市町村内ニ於キマスル農業團體ノ會長トシテ、眞ニ第一等ノ人物ヲ選ビ得ルヤウナコトヲ考ヘルコトガ、最も適切ダト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ、總會ニ於テ推薦シタル者ニ付キマシテハ、尙ホ市町村長ノ意見モ徵スルコトガ適當ダラウト考ヘマスシ、更ニ又農業團體ノ會長ト市町村長トノ兼任ニ付キマシテモ、色々ノ點カラ考ヘマシテ、此ノ點ニ付テ適當ノ指導ヲ加ヘル、サウシテ眞ニ市町村内ニ於ケル會長トシテ第一等ノ人物ヲ選ビタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマシテ、サウ云フ點カラ考ヘマス

ニ於キマシテハ、要スルニ人ガ中心デ適當ナル人ヲ得ルト云フコトニナツテ來ル譯デアリマス、而モ其ノ人ハ所謂町村農業會ヲ組織スル團體員、會員、即チ言ヒ換ヘマスト、其ノ區域内ニ於ケル農家ノ本當ノ總意ニ依ツテ信望厚キ人、サウ云ツタヤウナ者ヲ推薦セシムルコトガ妥當デアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ依ツテ作り出ス所ノ町村農業會ノ會長デアリマスナラバ、サウ云フ色々ナ方面カラ積極的ニ指導スルトカ、或ハ積極的デナクテモ指導ト云フヤウナ言葉ヲ使ツテ、之ヲ容喙スルト云フヤウナコトヲシタケデモ、總會ノ總意ヲ自然ノ儘ニ其處ニ現ハシテサウシテ結果ヲ得ルト云フヤウナコトニ御任せニナツタラドウカト私ナドハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○山崎政府委員 農業團體ノ眞ノ活動ガ決定致シマスル爲ニハ、只今御話ノ通りニ其ノ會長ニ人ヲ得ルコトガ最も重點デアルトハ全ク御同感デゴザイマス、ソレダケニ農業團體ノ會長ニ最も適當ナル人ヲ得ル爲ニハ、凡ニル角度カラ考ヘマシテ、其ノ市町村内ニ於キマスル農業團體ノ會長トシテ、眞ニ第一等ノ人物ヲ選ビ得ルヤウナコトヲ考ヘルコトガ、最も適切ダト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ、總會ニ於テ推薦シタル者ニ付キマシテハ、尙ホ市町村長ノ意見モ徵スルコトガ適當ダラウト考ヘマスシ、更ニ又農業團體ノ會長ト市町村長トノ兼任ニ付キマシテモ、色々ノ點カラ考ヘマシテ、此ノ點ニ付テ適當ノ指導ヲ加ヘル、サウシテ眞ニ市町村内ニ於ケル會長トシテ第一等ノ人物ヲ選ビタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマシテ、サウ云フ點カラ考ヘマス

ト適當ノ指導ヲ加ヘルト云フコトハヤハリ必要ノコトデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○恒松委員 尙ホ町村長ト町村農業會長トノ兼務ノ問題ニ付キマシテ、色々御所見ヲ承ツタノデアリマスガ、今回ノ町村制ノ改正法律案中ニモ出テ居リマスガ、所謂此ノ改正法律案中ノ第六十八條ノ二ニハ參與會ト云フモノガ設ケラレテアルノデアリマス、ソレカラ七十二條ノ二ニハ、町村長ノ町村ニ於ケル各種ノ施策ノ綜合的運營ヲ圖ル爲ニ必要アル時ハ、其ノ町村内ノ團體等ニ對シテ必要ノ指示ヲナスコトガ出來ルト云フヤウナ、所謂綜合的ノ指導ノ立場ニ町村長ト云フモノハ相當ノ權限ヲ與ヘラレテ立ツ譯ナノデアリマス、是ハ協力スル上ニ付テハ洵ニ結構ナコトデアラウト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ條文ガアル以上ハ、或ハ町村内ニ於ケル町村農會議員トカ、或ハ町村内ノ團體ノ長トカ、或ハ學識經驗アル者ヲ參與ニ選任シテ、參與會ヲ作ツテ、大體ノ町村是ニ對スル大綱ヲ決定シテ行ク、サウシテソレニ對シテ服從セザル場合ニハ、第七十二條ノ二ノ第二項ノ規定ヲ適用シテ行ク、斯ウ云フヤウニ町村長ノ町村内ノ區域内ノ綜合的ノ相當ノ權限ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナモノヲ以テ調整シテ行クナラバ、町村長ト町村農會長トノ兼務ト云フコトモ、適當ナモノデアツタナラバ原則トシテ指導シテ行クト云フヤウナ強チ強イモノデハナクテモ、私ハ宜イデヤナイカト考ヘラレ得ルノデアリマス、是ハ私ハ兼務ガ絕對ニイカスト云フ意味合デハアリマセヌガ、所謂適當ナル人ヲ得タナラバ兼務デモ宜イ、併シナガラ之ヲ無理ヲシテ兼務セシムルト云フコトハ、今日ノ地方農村等ニ響イテ居ル所ハ、サウ云ツタヤウナ方面ニ非常ニ誤解ガアル譯デアリマシテ、私ナドハ却テ今日ノ時局下ニ於テサウ云ツタヤウナコトヲ中心トシテ摩擦ヲ起スト云フコトハ、飽クマデ排斥シナケレバナラヌト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスノデ、サウ云フヤウナコトガ相當農村方面ニ誤認セラレルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマスガ、斯ウ云ツタヤウナ簡條ガアリマスナラバ、之ヲ町村ノ區域内ニ於テ綜合的ニ擱ンデ、サウシテ町村長ノ之ヲ指導スルト云フヤウナ權限ガ、只今申上ゲマシタ第六十八條或ハ七十二條等ニ於テ與ヘラレテ居ル譯デアリマス、ダカラ斯ウ云フ條文ガアル以上ハ、強チ之ヲ原則的ニ兼務ヲヤツテ行クノダト云フヤウナコトヲ考ヘラレナクテモ宜イデヤナイカ、斯ウ私ナドトシテハ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山崎政府委員 市町村ニ於ケル市町村行政ト農業會ノ仕事トノ間ニハ、常ニ緊密ナル連絡ヲ取ラナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアルト考ヘルノデアリマス、今回ノ市制、町村制ニ於テ參與制度、謂ハバ市町村内ニ於ケル綜合企畫委員會のナ制度ヲ設ケタト云フノハ、獨リ農業方面ノミナラズ、凡ユル市町村ノ各種ノ團體ニ付キマシテモ連絡協調ヲ要スルト云フ點カラ此ノ制度ヲ設ケタ譯デアリマス、而シテ又市町村行政ノ立場カラ、市町村内ニ於ケル各種ノ團體ノ色々ノ仕事ニ付キマシテモ、之ヲ綜合的ニ見ル必要ガゴザイマスノデ、斯クノ如キ機關ヲ設ケテ團體ノ施設等ニ付テモ市町村長ガ之ニ指示ヲナシ、又之ニ從ハ

ナイ時ハ監督官廳ノ措置ヲ申請スルト云フ途モ開イテ居ルノデアリマス、併シナガラ市町村長ト農業團體長トノ間ニ於キマシテ、若シモ市町村長ニシテ農業團體ノ會長トシテ適當ナ場合ニ於キマシテハ、之ヲ一元化スルコトガ最モ簡明ナ方法デアリ、又農業團體ノ最モ能ク活躍セシメル上ニ於テモ、一元化スル方ガ宜シイノデハナイカト考ヘマスノデ、先程申上ゲタヤウニ適當ナ者ガアル時ニ於テハ、一元的ニ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○恒松委員 次ニ御尋ネ致シタイノハ、地方ニ依リマシテハ御承知ノ地方事務所ガ開設セラレマシテ、地方事務所長ガ出來テ居ル譯デアリマスガ、府縣ノ農業會ノ支部ト此ノ地方事務所長ノ兼務ノ問題ニ付キマシテモ、地方ノ農村ニ對シテハ相當衝動ヲ與ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、是等ニ付テハドウ云フ御方針デアリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○山崎政府委員 府縣農業會ノ支部ヲ設ケラレマス場合ニ、其ノ支部長ト地方事務所長トノ兼務ノ問題ニ付キマシテハ、別ニ方針トシテ是非兼務セシムルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、地方ノ事情ニ依リマシテ適當ニ定メタイト考ヘテ居リマス

○恒松委員 只今ノ御方針ヲ承リマシテ諒承致シマシタガ、是モ兼務セシメヨウト云フコトデアルナラバ、是ハ別ニ禁止シテアル條文モアリマセヌカラ、指導如何ニ依ツテハ兼務ガ出來得ル譯デアリマス、尙ホ農業團體法案ノ第二十九條ノ第二項ニ於テ道府縣ノ農業會ノ「副會長及理事（支部長タル道府縣農業會ノ理事ヲ除ク）」ト書イテアリマスガ、是ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ付

テ會長ガ之ヲ選任スル、所ガ第三項ニ於テ「支部長タル道府縣農業會ノ理事ハ支部區域内ノ市町村農業會ノ會長ヲ以テ組織スル會議ニ於テ推薦シタル者ニ就キ會長之ヲ選任ス」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ウナツテ來ルト、是モ各支部區域内ニ於ケル町村ノ農業會長ガ府縣知事ノ指導如何ニ依ツテハ支部長ニナルコトモ是デ出來ル譯デアリマシテ、サウ云フヤウナ關係ニ於キマシテ道府縣ノ農業會ノ會長ガ直接ニ任命ヲスルトカ、選任ヲスルトカ云フコトデナクシテ、斯様ナ方法ガ採ツテアルナラバ、此ノ地方ノ事務所長ト支部長トヲ兼務スルトカ、此ノ簡條ニ於テハ是モ指導如何ニ依ツテハ如何様ニモ出來ル譯ニナツテ來ルノデアリマス、斯ウ云フコトニナツテ來マスト、道府縣ノ農業會長ガ中央農業會ノ指令ヲ仰ギ、或ハ農林省ノ施策等ニ付テ之ヲ支部ノ方ニ命ズル場合ニ於テ、往々ニシテ其ノ支部長ト府縣ノ農業會長トノ間ニ於テ、緊密ナル系統の連絡ト云フモノガ斷タレル虞レガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘ得ルノデアリマス、只今内務次官カラ事務所長ト郡ノ支部長トノ兼務ニ付テハヤライ、斯ウ云フヤウニ御答ヘニナツタノデ、私ナドモソレニ安心ヲ致シ、又農村方面ノ衝動モ是デ緩和スルコトト考ヘテ居リマスガ、是ハ絕對ニサウ云フヤウニ指導ヲシナイト云フ方針デアアルカドウカト云フコトヲ、尙ホ此ノ機會ニ更ニ御言明ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス

○山崎政府委員 府縣ノ農業會ノ支部長ト地方事務所長ノ兼務ノ問題ハ、先程申上ゲマシタ通りニ、必ズ兼務セシムルト云フヤウナ指導ヲスルト云フ方針ハ只今ノ所採ツ

テ居リマセス

○恒松委員 大體御尋ね致シタイコトハ以上ノ通りデアリマスガ、最後ニ私ハ内務省ノ方ニ一言希望致シテ置キタイノデアリマス、中央、府縣及ビ町村ノ農業會ノ内ニ於キマシテモ、中央地方ノ農業會ハ兎モ角ト致シマシテ、一番系統的ナ農業會ノ中デハ、町村ノ農業會ノ活動ト云フモノニ最モ重點ヲ置カナケレバナライ、而モ戰時下食糧ノ増産トカ、或ハ供出トカ云フヤウナ問題ニ對シマシテハ、一番前線ニ立ツテ活動ヲ旺盛ナラシメナケレバナライ非常ニ大切ナ團體デアルト私ナドハ考ヘテ居リマス、寧ロ中央ノ農業會トカ、或ハ府縣ノ農業會トカ云フモノニ比較シマシタナラバ、問題ニナラヌ程ニ重點ヲ置カナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、無論ハハ農林省トシテモ、町村ノ農業會ニハ相當重點ヲ置イテ御指導ヲ願ハナケレバナラスト考ヘテ居リマスガ、サウ云フ性質ヲ持つ所ノ農業會デアリ、而モ區域ガ非常ニ小デアリマシテ、此ノ町村ノ農業會ガ直接ニ農家ニ接觸スル部面ガ廣クシテ、非常ニ密接デアル、斯ウ云フ關係ガアルノデアリマスカラ、此ノ農業會ノ機能ヲ忌憚ナク活用セシメ、其ノ大キナ戰時下ノ目標ニ向ツテ推進シテ行ク上ニ付テハ、先程モ屢、申上ゲマシタヤウニ、人ヲ得ルト云フコトガ非常ニ基礎デアリマス、唯町村長ト町村ノ農業會長トヲ兼務スルト云フ紙ノ上ノ圖解等ニ付テ、是ハ一元化シタ宜シイト云フヤウナ考ヘ方デナクシテ、本當ノ仕事ヲヤツテ行クト云フ實體ニ觸レテ考ヘテ見マスルト、中々是ハ町村長ト雖モ今日ハ國家ノ委任事務ハ非常ニ多クナリ、又其ノ他ノ町村治ノ上ニ於キマシ

テ當然行フベキ所ノ仕事モ非常ニ廣汎ニナツテ來テ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ方ガ更ニ重要ナ大キナ使命ヲ持つテ居ル所ノ町村農業會ノ會長ヲ兼務スルト云フコトハ、中々是ハ容易ナコトデハアリマセス、是ハ實際ノ運營ノ上ニ於キマシテハ中々容易ノコトデハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、先日モ農林次官ノ方カラ森部委員ノ質問ニ對シテ、町村ノ農業會長カ或ハ副會長カ、ドチラカガ常勤ヲシテヤツテ貰ハナクチャナラスト云フヤウナコトヲ、何ダカ答辯セラレタヤウニ私ハ聞キ及ンデ居リマス、私ハ此ノ町村ノ農業會ノ今後ノ活動ト云フコトニ付テハ、ソレガ爲ニ斯ウ云フ新ラシイ農業團體ガ出來タト私ハ考ヘテ居リマスガ、其ノ新ラシク出來タ町村ノ農業會ノ活動ト云フモノハ、是ハ正副會長何レカガ常勤ヲシタラバ宜カラウト云フ、サウ云フヤウナ輕イモノデハナイト思ヒマス、ダカラ正會長モ副會長モ共ニ常勤ヲシテ、サウシテ共ニ從來ノヤウナ、唯指導部面ヲ擔當シテ居ルヤウナ「ルーズ」ナ會長デハ到底成シ遂ガ得ラレナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ關係カラ申シマシタナラバ、正副會長ガ共ニ常勤ノ氣持ヲ以テ此ノ機能ヲ活用シテ行カナケレバナライ、サウナツテ來マス、サウデナクテモ多イ事務ニ追ハレ勝チナ町村長ガ、唯額ダケヲ出ス、唯、上ノ名前ダケヲ出ス、看板ダケヲ兼務スル、斯ウ云フヤウナコトデハ町村ノ農業會ノ機能ト云フモノヲ遺憾ナク發揮出來ルモノデハナイノデアリマシテ、此ノ點ヲ能ク内務省トシテハ御洞察ヲ願ヒマシテ、私ハ寧ロ出來ルナラバ兼務ト云フコトハ考ヘラレナイ方ガ宜カラウ、殊ニ今回出來マ

ス町村ノ農業會ノ機能ノ中ニ於キマシテハ、經濟行為ヲスルノデアリマス、マカリ間違ツタナラバ經濟上ノ損害ヲ招來スルノデアリマス、デアリマスカラシテ練達機能ノ最モ適シタル所ノ町村長ト雖モ、果シテ其ノ者ガ經濟的ノ信用程度ガアルカ否カ、經濟行為ヲ爲ス上ニ付テ其ノ人其ノモノニ對シテノ信用ガアルカドウカ、斯ウ云フコトハ町村區域内ニ於ケル所ノ農家ガ齊シク重大ナ關心ヲ持つテ居ル所ノ點デアリマス、ダカラ是等ノ經濟行為ヲナス、サウシテ又一面指導モスル、指導ト經濟行為トヲ併セテ行フ所ノ町村ノ農業會ノ所謂會長ト云フモノニ付テハ、ドウシテモ專任デナケレバイカスノデアリマス、此ノ點ハ今後ノ町村ノ農業會ノ活動、サウシテ機能ヲ遺憾ナク國家ノ要請ニ副ウテ發揮スルト云フ上ニ付キマシテハ、ドウシテモ專任デナケレバナライト、斯様ニ私ハ農業會ノ使命ヲ達成スル上ニ於キマシテモ、又一面所謂内務系統ノ町村治ヲ完全ニスル上ニ於キマシテモ、兩々相俟ツテ專任デナケレバナラスト云フ考ヘ方ヲ私ハ致シテ居ルノデアリマス、ダカラ私ハ寧ロ適任デアルトカナイトカ、或ハサウ云フヤウニ指導スルトカ何トカ云フコトデナクシテ、本當ニ町村内ノ農家ノ總意ヲ集結シタル所ノ人物ヲ會長タラシメルト云フコトガ、一番妥當ナヤリ方デアルト考ヘノルデアリマス、現在ノ行政系統ノ於キマシテハ、町村及ビ部落ノ末端ニ至ルマデ自由自在ニ之ヲ指揮命令シ、思フガ儘ニ指導スルコトノ出來ル所ノ省ト云ヘバ、政府部内ニアツテハ内務省以外ニハナイノデアリマス、ダカラシテ内務省ノ此ノ指導ト云フコトニ付テハ、是ハモウ部落ノ末端ニ至ルマデ通達スル譯ナ

ノデアリマスカラシテ、餘リニ此ノ系統ヲ以テ總意ニ——無論總意ニ反スル程ノ指導ハ致シマスマイケレドモ、縱シ善意ニ指導スルト致シマシテモ、餘リニ指導ガ徹底シ過ギルト云フコトニナリマスルト、却テ農業會ナリ、或ハソレヲ組織スル所ノ農家ノ責任ヲ回避スルヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ惧レテ居ルノデアリマス、箸ノ上ゲ下シマデ干涉スルヤウ姑ノ下ニ立派ナ責任ヲ持つ所ノ嫁ガナイト同ジヤウニ、餘リニ指導シ過ギルト云フコトニナリマスルト云フト、所謂農家自體モ、又團體自體モ其ノ使命ニ向ツテ邁進スル上ニ付テ責任ガ薄ライデ來ル、斯ウ云フヤウナコトニナツテ來ハシナイカト云フコトヲ惧レテ居ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナコトニナツテ來マシタナラバ、今日此ノ戰力増強ノ重大部面ヲ擔當シテ居ル、所謂此ノ戰時下ノ食糧増産、或ハ供出ト云フヤウナモノニ正シク響イテ來ル譯ナノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ一ツ御洞察願ヒタイト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ私ハ最後ニ内務當局ニ熱望致シテ置ク次第デアリマス、之ヲ以チマシテ私ノ質疑ヲ終ルコトニ致シマス

○山崎政府委員 只今御質問ノ中ニゴザイマシタヤウニ、市町村ノ農業會ガ極メテ重要ナ使命ヲ持つテ居リマス、ソレダケニ又其ノ會長ノ人選ニ付テ慎重ヲ期セナケレバナラストハ、全ク御同感デアリマス、市町村長ニシテ市町村農業會ノ會長ニ適任デアル限り、原則トシテ兼務セシメルト云フコトニ私共考ヘマシタノハ、出來ルダケ事業ノ部面ニ於キマシテモ、又人ノ點ニ於キマシテモ、一元化ヲ圖ルコトガ此ノ農業會ノ眞ノ使命ヲ達成セシメル所以デハナイカト

云フヤウナ考ヘ方カラ、斯ウ云フヤウナ方
針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、申スマデモ
ナク現在ノ市町村長ノ地位ハ、時局ノ進展
ニ伴ヒマシテ非常ニ重要性ヲ増シテ參ツテ
居リマシテ、増産問題ヲ始メト致シマシテ、
各種ノ時局事務ノ遂行ノ上カラ考ヘテ見マ
シテモ、又大政翼賛運動ノ實踐ノ部面カラ
考ヘテ見マシテモ、市町村長ノ地位ト云フ
モノハ、市町村内ノ眞ノ指導者トシテ非常

ニ其ノ影響力ガ甚大ニ相成ツテ參ツテ居ル
ノデアリマス、又農業團體ヲ始メト致シマ
シテ、市町村内ノ各種ノ團體ノ指導者トシ
テノ地位モ、著シク重要性ヲ加ヘテ來テ居
ルヤウニ考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ
此ノ際眞ニ市町村長ニ適材ヲ得ルト云フコ
トガ、最モ此ノ時局ノ要請ニ副フ所以デハ
ナイカト考ヘマシテ、今回市制町村制ノ改
正ノ提案ヲ致シマシタ眼目ノ一ツハ、市町
村長ニ眞ニ適材ヲ得ルト云フ點ニアルノデ
アリマス、市長ハ姑ク別ト致シマシテ、殊
ニ町村長ノ部面ニ於キマシテハ、此ノ農業
會トノ關係ニ於キマシテモ著シク緊密ヲ加
ヘテ來ル譯デアリマシテ、現在町村長ノ顔
觸ヲ見テミマス、御話ノ通りニ必ズシモ
町村内ノ第一等ノ人物ノミダト云フコトニ
斷言ハ出來ナイヤウナ狀況ニアルノデナ
イカト考ヘルノデアリマス、又中ニハ町村
長トシテ必ズシモ適材デヤナイ方モ相當
アルノデヤナイカト云フ風ニモ考ヘラレル
デアリマシテ、今回市制町村制ノ改正ヲ致
シマシタノハ、要ハ町村内ノ第一等ノ人物
ヲ町村長トシテ選ビタイ、此ノ選ブ方法ト
シテ、官ト民トノ協力ニ依リマシテ、眞ニ
適材ヲ得タイト云フ趣旨ニ外ナラスノデア
リマス、農業團體ノ立場カラ考ヘマシテモ、

極メテ適材ヲ得ルト云フコトニ相成リマシ
テ、又現ニ町村長トシテ適材デアル場合ニ
ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、事業ノ點カ
ラ考ヘマシテモ、人的ニ一元化ト云フ點カラ
考ヘマシテモ、原則トシテ適材デアル限り
一緒ニスルト云フコトハ、私共トシテハ極
メテ適切ナ方策デナイカト云フヤウニ考ヘ
マシテ、右ノ方針ヲ採ツタヤウナ次第デア
リマス

○馬岡委員 關聯シテ——只今ノ恒松委員
ト内務次官トノ質疑應答デ大體ハ諒承シタ
ノデアリマス、然ルニ今最後ノ御言葉ニア
ツタ通り、澤山ノ市町村長ノ中ニハ適材デ
ナイ者モアルカラ、今度ノ市町村制ノ改正
ヲシタ、又サウ云フ風ニシテ第一人者ヲ出
スノダ、斯ウ云フ御言葉ガアリマシタシ、
私共モ左様ニ解釋スルノデアリマス、然ル
ニ實際ノ市町村ノ事情ヲ御覽願ヒマス、
今日町村長ガ團體長ヲ兼ねテ居ルカ、團體
長ガ町村長ヲ兼ねテ居ルカ、之ヲ根本カラ
能ク掘リ下ゲテ御考ヘ願ヒタイ、私ハ先程
來ノ御指導ノ問題ハ、大體團體長ニ町村長
ヲ兼ねサスヤウナ御指導デアルナラバ弊害
ガナイ、併シ内務省ノ御言葉ノヤウニ、市町
村長ニ團體長ヲ兼ねサス云フ御言葉デア
ルト、是ニハ相當色々ナ弊害ガ起リハシナ
イカ、殊ニ經濟ガ今度入ツタ團體デアリト
シマスナラバ、先程恒松サンガ御指摘サレ
タヤウナ問題ガアルノデアリマス、殊ニ今
度ノ改正ヲ見マスト、市町村長ハ村會ガ選
舉シタモノヲ認可スル、然ルニ此ノ團體長
ハ市町村長ノ意見ヲ徵シテ地方長官ガ任命
スル、若シ不祥事ガアツタ場合ニ、此ノ認
可シタ場合ト命ジタ場合トノ責任感ハ相當
變ルモノダラウト思ヒマス、此ノ責任ハ市

町村長ナリ地方長官ガ御取リニナルノデア
ルカ否カラ御尋ネシタイ

○山崎政府委員 先程恒松サンノ御質問ニ
御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、私共ト致シマ
シテハ、此ノ際凡ユル角度カラ考ヘマシテ
適材デアル限り、市町村長ト、市町村ノ農業
會長ハ一元化スルコトガ適當デアルト云フ
風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、無論市町村
ノ農業會ノ會長デ諸般ノ條件カラ見マシテ
市町村長タルニ適當ナ者デアル時ニハ、市
町村長ニ選任スルト云フコトハ一向差支ヘ
ナイ點デアルト考ヘルノデアリマス、又
只今地方長官ガ選任ヲ致ス場合ニ、眞ノ適
材ヲ選ビ得ナイ場合ニ、其ノ責任ヲドウス
ルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、地方長
官ニ於キマシテハ無論全責任ヲ以テマシテ、
最モ適材ヲ市町村ノ農業會長トシテ選定ス
ルコトハ申スマデモナイ點デアルト考ヘル
ノデアリマス

テ非常ニ心配ヲシテ居ルノデアリマス、大
體今日マデノ經過カラ言ヒマス、先ヅ農
業會ニ統合サレル團體ノ中デハ、農會ト産業
組合ノ二ツノ團體ガ最も有力ナル、最モ重要
性ヲ持ツタ團體デアラウト思フ、是等ノ團
體長ト云フモノハ何レモ十五年、二十年、
三十年ト云フヤウナ長イ間團體長ヲシテ居
ツテ、サウシテ其ノ團體ノ基礎ヲ鞏固ニシ
テ參ツタト云フヤウナ今日マデノ歴史ニナ
ッテ居ル、町村長ノ方ハドウデアアルカト云フト、
是モ三十年、五十年モヤツテ居ルモノガア
リマスケレドモ、ソレハ極メテ少クテ、大
體ニ於テハ一期、或ハ二期、或ハ三期ト云
フヤウナ極メテ短イ勤続年數デ終ツテ居ル
ト云フ例ガ極メテ多イ、是等ニ付テハ相當
ノ統計モ出來テ居ルト思ヒマスガ、確カニサ
ウ云フ傾向ヲ持ツテ居ル、デアリマスカラ此
ノ團體長ト町村ノ行政ニ當ル町村長ニ對シ
テハ相當ソコニ違ヒガアル、人選ノ上ニ違
ヒガアルト云フコトガ一ツデアリマス、今
一ツハ、地方ノ産業組合ガ農業團體ノ中ニ
包攝サレル結果ト致シマシテ、此ノ農業團
體ノ持ツテ居ル今日ノ預金ノ總額ト云フノ
ハ數十億圓ニ達シテ居ルノデアリマス、是等
ハ皆町村民ガ、アノ人デアレバトシテ安心
ヲシテ數十億圓ノ金ヲ預金ヲシテ居ル、若
シ一朝是ガ會長兼務ノ結果トシテサウ云フ
物質ノ上ニ不安ガ生ジタトシタナラバ、是レ
ハ農業經濟ノ上ニ非常ナル影響ヲ與ヘル
虞レガアルト思フノデアリマスガ、其ノ點ヲ考
ヘテ見マシレバ、兼務ヲスルコトハ宜シイ、
是ハ私共モ宜シイト思フ、併シ兼務ヲシロ
兼務ヲシロト政府ガ指導ヲスルコトガ果シ
テ宜イカ惡イカ、是ハ非常ニ考ヘナケレバ
ナラス重大問題デアルト思フノデアリマ

ス、其ノ點ニ付テ今一應御聽キシタイト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ、斯ウ云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス、地方事務所ガ出來マシタ結果、郡ノ中ヲ分割シテ、或ル町村ヲ或ル地方事務所ニ押付ケタ、斯ウ云フコトガ各地ニ行ハレテ居ルノデアリマス、又一面團體ハ郡ヲ單位トシテ出來テ居リマススケレドモ、地方事務所ハ二郡ヲ集メテ一ツノ地方事務所ヲ作ツタト云フ所モアルノデアリマス、之ニ對シテ先達テ福島縣ノ知事、町村長ノ會長ヲ集メマシテ、甲ノ郡ノ或ル町村ヲ分割シテ乙ノ地方事務所ノ取扱ニシテアルモノハ、最モ近キ將來ニ郡ノ分合ヲ行ツテ、サウシテ此ノ町村ヲ一方ノ方ノ郡ニ編入シテシマフノダ、斯ウ云フコトガ一ツデアリマス、今一ツハ、團體ハ新シキ地方事務所ノ管轄區域内ヲ區域トシテ團體ヲ作ラセルノダ、斯ウ云フ内務省ノ趣旨デアルカラサウ云フコトニ承知シテ吳レロ、サウ云フ知事カラノ話ガアツタノデアリマス、先達テ中ノ農林當局ノ御説明ニ依リマス、此ノ區域ト云フヤウナモノハ其ノ地方ノ實情ニ從ツテ種々ナル區域ガ出來ヨウ、或ハ郡ヲ單位トスルモノ、或ハ地方事務所ヲ單位トスルモノ、色々ノ區域ガ出來ヨウト思フガ、ソレハ地方ノ實情ニ依ツテ決定スルノダト云フヤウナ意味ノ御話ガアツタト思フノデアリマスガ、其ノ間私共ノ方ノ知事ノ趣旨ト農林省ノ當局ノ話ト云フモノガ、多少違ヒガアルヤウデアリマスルガ、其ノ點ヲ御聽キ致シタイ

○山崎政府委員 農業會長ト市町村長ト兼務ノ問題ニ付キマシテハ、先程來申上ガマシタヤウナ趣旨ノ下ニ指導ヲ行ツテ參リタイト云フ考ヘデアリマス、固ヨリ先程モ恒

松サンニ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、指導ハドコモデモ指導デゴザイマシテ、決シテ干涉ト云フヤウナコトニ互ラナイヤウニ、十分慎重ナ態度ヲ以テ臨マナケレバナラスト云フコトハ當然ノコトデゴザイマス、隨ヒマシテ只今御心配ノヤウナ弊害ノ起ラナイヤウニ、内務、農林兩省十分協調ノ下ニ、此ノ方針ノ徹底致シマスヤウニ進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス、第二ノ御尋ネノ地方事務所ノ管轄區域ト現在ノ郡ノ區域トガ合致シテ居ナイ點デアリマスガ、是ハ只今御指摘ノ通りニ全國デ相當ゴザイマスノデ、合致シテ居リマセヌ爲ニ團體ノ管轄範圍ト地方事務所ノ管轄範圍ガ食違ヒヲ來シテ居ルト云フコトモ、事實其ノ通りデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ内務省ト致シマシテハ別ニ、必ズ團體ノ區域ハ地方事務所ノ管轄區域ニ合致セシムルト云フヤウナ方針ハ執ツテ居ラナイノデアリマシテ、地方ノ事情ニ依リマシテ合致セシムルコトガ適當デアルモノハ合致セシメテ貰フ、又地方ノ事情ニ依リマシテ急激ニサウ云フ方針ヲ執ルコトガ不適當ナモノハ、現在ノ儘デヤツテモ決シテ差支ヘナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、群ノ分合ニ付テモ種々考究ヲ致シテ居リマスガ、マダ結論ヲ申上グル所マデ參ツテ居リマセヌ

○東郷委員長 森部隆輔君

○森部委員 森部隆輔君

私ハ内務省關係ノ質問ヲシタイト思ツテ居ツタノデスガ、只今ノ恒松君、山田君、其ノ他ノ諸君ノ質問デ大體了解致シマシタカラ、内務省ニ對スル質問ハゴザイマセヌ、農林省方面デ農林大臣、或ハ已ムヲ得ナケレバ次官ガ御出席ノ際ニ聯關シテ質問致シマス

○東郷委員長 農林大臣ハ豫算總會ノ方ニ行ツテ居リマスカラ、午前ハ難カシカラウト思ヒマス、次官ハ農業保險ノ委員會ノ方ニ行ツテ居ラレルサウデス

○森部委員 ソレデハオイデニナリマシテカラ質問致シマス

○金子(彦)委員 此ノ機會ニ一寸伺ツテ置キタイノデスガ、イト頃整備サレルト云フ御考ヘデゴザイマセウカ

○重政政府委員 出來ルダケ速カニ整備ヲ致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、御協賛ヲ經マシテ此ノ法律ガ成立致シマスレバ、一日モ早ク實施ヲ致シタイト考ヘマシテ、實ハ今カラ準備ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、併シソレガ爲ニ非常ナ無理ヲ致シマシテ、サウシテ明日ノ生産増強ニ支障ヲ來スヤウナコトガアツテハ相濟マス考ヘテ居リマス、ソレ等ノ具體的ノ問題ノ取扱トシテハ、十分注意ヲ致シテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○金子(彦)委員 中央カラ始メルノデスカ、地方カラ始メルノデスカ

○重政政府委員 是ハ先ヅ中央ガ最モ速カニ成立スルコトト考ヘルノデアリマスガ、縣及ビ町村ノ農業會ニ付キマシテハ、何レヲ先ニシ、何レヲ後ニスルト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、出來ルダケ出來得ルモノカラ速カニ結成ヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ考ヘヲ持ツテ居リマス

○山口(馬)委員 一寸御尋ネシマスガ、私ハ今ノ恒松君ノ質問ノ時ニ伺ヒタイト思ツテ居リマシタガ、大體濟ミマシタガ、今ノ次官ノ答辯ヲズツト拜聽シテ居リマス、原則トシテ適任デアレバ町村長ヲシテ兼ネシメル、斯ウ云フ御方針デ御考ヘニナツテ居

ルノデアリマスガ、結果ニ於テハ適任デナイ所ノ町村長ガ、多數ニ團體長ヲ兼ネルト云フコトニ必ズナル、殆ド町村長ガ全部兼ネルヤウニナル、強イ言葉デ申シマスナラバ、其ノ結果トシテ町村ノ農業團體ト云フモノハ内務省ノ農業團體ニナル、斯ウ云フ色彩ガ非常ニ濃クナツテ、其ノ結果折角新團體ヲ組織シタ所期ノ目的ヲ達成サレルノニ、非常ナ支障ヲ來シハセヌカト云フコトヲ、私共ハ只今痛感シタノデアリマス、是ハ何故カト申シマス、唯選任ノ方法ガ地方長官ガ任命スルト云フコトニナツテ居リマス、而シテ其ノ任命ニ付テハ勿論團體ニ推薦ハサセルガ、町村長ノ意見ヲ徵スル、サウシマス町町村長ガ自分ニ於テ適任デハナイガナリタイ、斯ウ云フ希望ガアレバ、是ハモウ其ノ總會ノ意見ガ初メハ大多數自分ニ反對デアリマシテモ、或ル程度自分ニ同意サセルダケノ方策ヲ執ルト云フコトハワケハナイ、ソコデ先ヅ半分位自分ニ同意者ヲ得タト云フコトデ長官ニ意見ヲ具申スル、誰ガ適當デアルカト云フ認定ハ長官ガヤルノデアリマスカラ、長官トシテハヤリ相成ルベクハ町村長ヲ採ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノハ是ハ當然デアルト思フ、サウ云フ結果カラシマシテ具申權ヲ持チ、知事ガ任免權ヲ持ツテ居ルト云フヤウナコトデ、結果ニ於テハ適任ナラザル町村長ガ多數ニ出テ來ル、斯ウ云フ結果ニナル、是ハ地方ノ實情カラ見マシテ、ドウシテモ左様ニナルノデヤナイカト思フ、左様ニナルト云フ地方ノ實情ヲ能ク御認識ニナラズニ、唯適任者デアレバ原則トシテ町村長ヲ任命スル、サウ云フ考ヘ方ハ洵ニ立派デアリマスガ、併シ地方ノ實情カラ考ヘマシタ時分ニ、適任ナ

ラザル所ノ町村長マデガ多數出テ來ルト云フコトニ相成ル、斯様ナ實情ニ付テ農林當局トシテハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、ドウ云フ御認識ヲ持ツテ居ラレカ、サウシテ適任デアル場合ニ町村長ヲ任命スルト云フコトニサレテモ、ヤハリ結果モサウナルト云フ御考ヘデアアルカドウカト云フ點ニ付テ伺ツテ置キタイ

○重政政府委員 御心配ニナツテ居リマス點ハ、一應御尤モナコトデアルト考ヘルノデアリマスガ、併シ先程モ内務次官カラ御答辯ノアリマシヤウニ、町村長ト團體長ヲ同一人ニ兼ネシムルト云フ場合ニ於キマシテハ、唯其ノ人間ガ適當デアルト云フコトノミデナク、各般ノ事情カラソレガ適當デアルト云フ場合ニ於テ之ヲヤルノダ、ト云フコトヲ答辯ニナツタ譯デアリマス、ソレト同時ニ現在ノ農業團體ノ長、若シハ本法施行後ニ於テ出來マス所ノ町村農業會ノ會長ト云フモノガ、町村長ニ適任デアル場合、各般ノ事情カラ見テ之ヲ同一人ヲシテヤラシメタ方ガ宜イ場合ニ於テハ之ヲ町村長ニスル、指導モ致ス、斯ウ云フコトヲ今答辯ニナツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ意味カラ考ヘマシテ、必ズシモ御心配ニナツテ居ルヤウナコトガ實現スルトモ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、要スルニ是ハヤツテ見ナイコトニハ分ラヌト云フコトモアラウカトモ思ヒマスガ、私共トシテハソレ程ノ心配ハ致シテ居リマセヌ、ソレガ爲ニ産業官廳ノ意思ガ反映シナイト云フヤウナ事態ニナリマスレバ、是ハ又農林省トシテハ別途ノ措置ヲ講ズルヤウナコトモ考ヘラレナイデモナイト思ヒマス、強チサウ非常ニ惡ク御考ヘニナル必要モナイノデヤ

ナイカト考ヘマス

○山口(馬)委員 別ニ惡イト云フ意味デハアリマセヌガ、ドウモ實情ノ御認識ガ足ラナイト云フコトヲ申上レバ失禮ニナリマスガ、モツト御認識ヲ願ヒタイト云フ氣ガスルノデアリマス、仰セノ如ク適任ノ認定ト云フコトニ付テハ、各般ノ事情ヲ御考慮ニナルト云フコトモ言葉ノ上デハ分リマス

ガ、併シ地方長官ガ任命スル場合ニ、各町村ノ團體長ガ適任デアアルカドウカト云フコトハ事實上分ラナイノデアリマシテ、ヤハリ地方事務所長デアルトカ、村長トカ云フヤウナモノノ意見ニ依ラナケレバ分ラナイノデアリマス、隨ヒマシテヤハリ私ノ申上ゲルヤウナ結果ニドウシテモナル、斯様ニ私ハ信ズルノデアアル、私ハ此ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ是レ以上承ラウトハ思ヒマセヌケレドモ、此ノ點ニ於テ特ニ御留意ヲ願ハナケレバ、結果ニ於テ私ガ申上ゲタヤウナコトニ必ズナル、斯様ニ私ハ存ズルノデアリマス

○重政政府委員 重ネテ御答辯ヲ致ス譯デハアリマセヌガ、先程内務次官ノ御答辯ノ中ニアリマシタ點ヲ私一點申上ゲルノヲ忘レマシタカラ、此ノ機會ニ申上ゲマスガ、知事ガ町村農業會長ヲ任命ノ際ニ於テハ、道府縣農業會ノ會長ノ意見モ徵スルノダト云フコトヲ先程ハ答辯ヲセラレテ居ルノデアリマス、御心配ノヤウニ、町村長ダケノ意見ニ依ツテトカ、或ハ地方事務所長ダケノ意見ヲ聽イテ之ヲ任命スルト云フヤウナ片手落ノコトハ、地方長官トシテハヤラナイコトト私共ハ確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、町村農業會ノ總意ニ依ツテ推薦セラレタ者ニ付テ、町村長ノ意見モ聽クガ、又

道府縣農業會長ノ意見モ聽イテ、各般ノ意見ヲ綜合シテ之ヲ選任スルコトニナルノデアリマスカラ、サウ惡イ任命ガアルトモ私共ハ想像シテ居ラナイノデアリマス

○山口(馬)委員 兎ニ角其ノ點ニ付キマシテハ農林當局トシマシテ、此ノ上ナガラ最善ノ御留意ヲ一ツ私ハ御願ヒ致シテ置ク譯デアリマス

○北(勝)委員 一寸關聯シテ……先程此ノ實施ハ成ベク速カニスルト言ハレタノデアリマスガ、今年ハ丁度農會ノ選舉ノ年ニナツテ居リマシテ、盛シニ地方デハ名簿等ノ調製ニ努力シテ居ラレルノデアリマス、速カニ實施サレルノデアリマスカラバ、選舉ガアルノカナイノカ、之ヲハツキリシテ戴イタ方ガ宜イト思フノデスガ、若シハツキリ出來ルモノナラバシテ戴キタイト思ヒマス

○重政政府委員 ソレハ此ノ法案ヲ速カニ御協賛ヲ得マシテ、是ガ公布ニナリマスト御心配ノ點ハナクナル譯デアリマス、第九十九條デ任期ガ滿了シタ時デモ、暫クノ間ハ是ハ選舉ヲヤラナイデ續ケテ行ク、斯ウ云フ風ナ規定ヲ此ノ法案ノ中ニ入レテ居ルノデアリマス

○東郷委員 農林大臣ガ見エマシタカラ、森部君ノ質疑ヲ御願ヒ致シマス

○森部委員 農林大臣ノ御所見ヲ拜聽シタインデアリマスガ、實ハ自作農創設維持ノ問題ニ付キマシテモ御尋ネ致シタイト思ツテ居リマシタガ、昨日石坂委員カラ詳細御尋ネガアリマシテ、大臣ノ御答ヘヲ拜承致シマシタノデ、此ノ問題ハ質問ヲ致シマセヌ、其ノ他ノ二、三ノ問題ニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、私ノ御尋ネシ

マスル中ニ數字ヲ二、三引用致シマスガ、是ハ私ノ縣ノ數字デアリマシテ、略、大體ノ動向ハ全國ト同ジヤウナ動キデハナイカト思ヒマス、程度ノ差ハアラウト思ヒマスガ……成ベク具體的事實ヲ以テ當局ノ一層ノ御認識ヲ深メテ戴キマシテ、御答辯ヲ願ヘレバ大變結構ダト存ジマス

最初ニ勞力對策ノ問題デアリマス、戰爭下ニ於テ農業ニ及ボス影響ノ中最モ大ナルモノハ、農村ニ於ケル農業従事者ノ減少、所謂農業労働者ノ不足ト云フコトデアラウト思フノデアリマス、ソレハ所謂離村、離農或ハ通勤労働者、色々ノ形デ農村勞働力ガ減ツテ居リマス、私ノ縣ニ於テ、私ガ生産統制令ニ基ク色々ナ關係ヲ調査シマシタ數字ニ依リマスレバ、昭和十三年ノ三月カラ昭和十六年ノ三月マデノ滿三箇年ニ於テ、十六歲以上三十五歲マデノ農業ニ従事シテ居ル男子ガ、應召、入營其ノ他軍關係ヲ除キマシテ、大體三一・六%位減ツテ居ルヤウニ相成ツテ居リマス、隨テ今申シマシタ三一・六%ハ軍關係ヲ除イタモノデアリマスカラ、軍關係ヲ加ヘレバ相當多數農業ニ従事シテ居ル而モ壯年階級ノ者ガ農村カラ減ツテ居ルト云フコトガ御諒解ガ行クト存ジマス、尙ホ一方時局産業其ノ他ノ關係デ、都市ノ膨脹ハ段々其ノ速度ヲ早メマシテ、私共ノ縣ニ於キマシテハ、現在ノ所縣下三百十四万人ノ縣民中、農業ニ従事シテ居ル者ハ二割二分五厘、二割三分ヲ出デナイ程度ニアリマシテ、此ノ縣民ノ二割三分弱ノ農業者デ平年作米二百四十万石前後、麥、百二十万石前後ト云フ食糧農產物ノ生産ニ携ツテ居ルノデアリマス、今申シマシタヤウニ農村ノ勞働力ハ相當減ツテ居リマス、而シテ段々議會ニ

於キマシテモ戦争ノ段階、時局ノ推移ニ付
キマシテ、色々政府當局ノ御話ヲ聴キマシテ、
今後益々決戦體制ヲ強化シナケレバナラス、
凡ユル意味ニ於テ國家ノ總力ヲ傾注シナケ
レバナラス、戦力増強ヲ圖ラナケレバナラス、斯
ウ云フ建前ノ下ニ國家ノ方策ガ進ンデ参リマ
スト、吾々ガ如何ニ農村ノ勢力ヲ確保致シタイ
思ヒマシテモ、結果ニ於テハ相當減ルト考
ヘザルヲ得ナイト思フノデアリマス、兵器
ノ製造ト云ヒ、或ハ炭礦ニ於ケル石炭増産
ノ爲ト云ヒ、農村ノ勢力ガ減ルトハ間違
ヒナイト思ヒマス、先般私ハ西日本ニ於ケ
ル炭礦業者百數十人ノ代表者ト會合致シマ
シテ、石炭増産ニ付テ御意見ヲ聴イタコト
ガアリマスガ、石炭ノ増産ガ思フヤウニ行
カヌ原因ニハ、炭價ノ問題モアルサウデア
リマスガ、又一面ニ於テハ農村カラ出ル勞
働者、所謂稼働者ガ減ツタコトガ近來石炭
ノ増産ガ思フヤウニ行カヌ相當大ナル原因
ダト云フコトヲ炭礦業者カラ聴イタ、其ノ
他軍部方面ニ於キマシテモ、農村カラ出ル
労働者ヲ大變望サレテ居ルコトハ大臣能
ク御存ジノ通りデアリマス、只今申シマシ
タヤウニ今後戰時體制ノ一層ノ強化ニ依ツ
テ、農村ノ勢力ハ尙ホ減ルト思ヒマスガ、
其ノ場合ニ私等ノ執ツテ居ル方法、又考ヘ
テ居ル方法ト致シマシテハ、農村ノ勢力不
足ハ國家ノ總力戰ノ強化上已ムヲ得ナイ、
單ニ吾々農村人デアアルガ爲ニ農村ノ勢力ヲ
確保スルコトノミニ汲々スルト云フコトハ、
所謂軍備ノ充實其ノ他ノ點カラ言ツテ、
今申シマスルヤウニドウモ出來得ナイデハ
ナイカト云フコトヲ考ヘマス場合ニ於テ、
私等ハ著シク減少シタル農村ノ勢力ヲ以テ、
此ノ收穫ノ成ベク減少シナイヤウニ、茲ニ

所謂戰時農業經營ト云フモノノ改善ヲ致サ
ナケレバナラスデハナイカ、少イ勢力ヲ少
クトモ單位面積ノ收量ヲ減ジナイ、出來得
ベクンバ尙ホ一層ノ増産ヲ期スルコトニ吾
吾ガ努メルコトガ私等ノ責任デハナイカト
思フノデアリマス、其ノ對策トシテ先ヅ共
同作業ヲ一層助長發達サセナケレバイカヌ
ト思ヒマス、私ノ縣デヤツテ居ルノハ共同
苗代、共同田植、共同害蟲驅除、集荷、脱
穀、所謂共同耕作或ハ共同播付ト云フヤウ
ナコトニ付テ全力ヲ入レテ居リマスガ、御
存ジノ通り共同作業ヲナスニハ、同時ニ並
行シテ共同炊事ト共同託兒トヲ併セ行ハナ
ケレバ、共同作業ノ實ガ舉ラヌノデアリマ
ス、私ハ此ノ機會ニ、主トシテ農事實行組
合ガ中心トナツテヤツテ居リマス共同作業
擴充ニ、一段ト政府ハ御力ヲ入レラレル御
所存ハナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデア
リマス、申上ゲルマデモナク共同炊事、共
同託兒等ヲヤリマスレバ、僅カデハアリマ
スガ、色々共通シタ費用ガ要ルノデアリ
マス、私ハ農事實行組合ノ共同作業班ニハ、
一箇所ニ數十圓ノ補助金ヲ出スコトノ必要
ヲ認メテ居ル、現ニ私ノ縣ニ於テハ縣費デ
多少助成致シテ居ルノデアリマスガ、政府
ニ於テ共同作業ニ對シテ相當ノ助成ヲサレ
ル御意思ハナイカ、尙ホ農民ノ氣分ヲ良ク
スル爲ニ、又増産ノ熱意ヲ昂メル爲ニ、酒
トカ砂糖トカ、若シクハ作業衣ニ必要ナル
綿製品等、農村人ノ最モ渴望シテ居ルモノ
ヲ配給スル、殊ニ共同作業ニハ酒ヲ増配ス
ル、共同炊事ヲ致ス場合ニ於テハ共同炊事
用ノ砂糖ヲ増配スルノダ、斯ウ云フコトヲ
標榜シテヤツテ下サレバ、共同作業、共同
炊事、共同託兒所ニ携ハツテ居ル農業者ノ

氣持ガ大變良ク動クト思フノデアリマス、
色々此ノ戰時下ニ於キマシテ、國民ノ湧キ
上ル熱意ヲ以テ國力ヲ増強シナケレバイカ
スト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、之ニ
ハ私ハ氣分ノ問題ガ相當關係スルト思ヒマ
ス、今後今申シマシタヤウナ農民ガ最モ渴
望シテ居ル品物ヲ共同作業、共同炊事、共
同託兒ノ爲ト云フコトヲ掲ゲテ、時偶一ツ増
配ト云フコトヲヤツテ戴ク政府ノ御所存ハ
ナイカ、此ノ問題ニ付テ御尋ネ致シタイト
思ヒマス、尙ホ勞力問題デアリマスカラ、
一應勞力問題ニ關スルコトダケヲ御尋ネ致
シタイト思ヒマス

次ハ工場、鑛山等ノ人達ノ農繁期ニ於
ケル農村ニ對スル奉仕ト申シマスガ、一
時的ノ奉仕作業、是ハ私ノ方ノ縣ニ於テ
ハ工場、鑛山カラ近來農繁期ニ多數ノ人
達ガ出テ農村ノ作業ノ手傳ヲヤツテ居リ
マス、是ハ吾々ガ實地ニ付テ見マス、稀
ニハ中ニ相當農村ノ方ニ受ケノ惡イモノモ
アルヤウデアリマスガ、工場、鑛山側ニ於
テ相當ナ平素ニ於ケル訓練、或ハ指導者ニ
其ノ人ヲ得テ居ルヤウナ場合ニ於テハ、相
當ニ農村ノ方カラ好感ヲ以テ迎ヘラレテ居
リマス、又實際ニ於テ農村ノ方ニ於テハ、
農繁期ニ於ケル十分ナル手助ケトナツテ居
リマス、一例ヲ申上ゲマス、昨年モ慥カ日
鐵デアツタカト思ヒマスガ、日鐵ノ八幡ノ
工場カラ、日鐵所屬ノ青年學校ノ生徒ヲ、
軍人出ノ人ガ隊長トナツテ二泊三日間農村
ニ泊リ詰メニ來ラレマシテ、千數百名ノ人
ガ所謂農繁期ニ於ケル奉仕作業ヲヤツタノ
デアリマス、是等ハ訓練ト云ヒ、或ハ加勢
ニ來テ居ル人ノ態度ト云ヒ、農村カラ大變
好感ヲ以テ迎ヘラレタ、稀ニハサウデナイ

ノモアリマスガ、サウ云フ事例ガアルノデ
アリマス、今後斯ウ云フモノヲモウ少シク
一層利用スルヤウニ致シマシタナラバ、農
繁期ニ於ケル事柄ハ相當ニ充足セルノデハ
ザイカ、同時ニ學校生徒ノ農繁期ニ於ケル
奉仕ト云フコトト相俟ツテ、私ハ相當ナ效
果ガアルト思フノデアリマス、政府ニ於カ
レマシテハ、斯ウ云フ工場、鑛山方面ニ於
ケル人達ノ農繁期ニ於ケル勤勞奉仕作業ニ
對シテ、更ニ一段ト、今申シマスヤウナ訓
練指導ト云フヤウナ方面ニ御留意ニ相成ル
コトノ必要ヲ感ズルノデアリマスガ、此ノ
點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
ソレカラ次ハヤハリ労働ノ問題ニ關係シテ
居リマスガ、農繁期ニ於ケル收穫或ハ播付
ト云フヤウナコトハ、今申シマシタヤウナ
コトデ吾々ノ地方デハ兎モ角生産ヲ維持シ
テ居ルノデアリマスガ、何ト云ツテモ我が
國ノ農業トシテ一番困ツテ居ルノハ、水田
ニ於テハ除草ノ問題デアリマス、所謂田ノ
草ヲ取ル、或ハガン爪ヲ用ヒテヤル、水田
ニ於ケル中耕除草ノ問題デアリマス、是ハ
農繁期ニヤライナイ關係デ、工場、鑛山、或
ハ學校生徒ノ奉仕作業モアリマセヌ、而モ
此ノ中耕及ビ除草ニ依ツテ相當米ノ收穫ニ
關係ヲ及ボスノデアリマスカラ、茲ニ於テ
吾々ガ勞力不足トニ於テ考ヘルコトハ、水
田ニ於ケル畜力利用ノ除草機ノ普及ト云フ
コトガ、一番必要デヤナイカト思フ、御存
ジカト思ヒマスガ、水田ニ於ケル畜力利用ノ
除草機ハ、必ズシモ多クノ鐵材ヲ要シナイ、
古イ農具等ヲ回收致シマシテ、少シク之ヲ
工夫致シマスレバ、或ル程度畜力利用ノ除
草機等ガ出來ルノデハナイカト私ハ考ヘル
ノデアリマス、吾々ノ縣ニ於キマシテモ相

當畜力利用ノ除草ヲヤツテ居リマスガ、何時モ私ハ其ノ必要ヲ感ズルノデアリマス、急速ニ政府ハ我が國ニ於ケル水田ノ中耕除草ノ是等ノ農具ニ付テ、速カニ是ガ普及、而シテ不足地方ノ農村ニ之ヲ供給スルノ途ヲ一ツ講ジテ戴キタイト存ズルノデアリマス、併セテ農具ノ問題デモウツ御尋ネ致シマスガ、農具ノ配給ヲ吾々ガ實際ニ地方で見テ居リマス、是ハ從來ノ農具生産者ヲ保護セラレル關係力或ハ「ストック」ノアツタ關係力知リマセヌガ、農村ノ方デ希望シテ居ナイヤウナ種類ノ農具ガ澤山來ル、甲ノ鋤ヲ希望シテ居ルト乙ノ鋤ガ來ルト云フヤウナコトデ、地方ノ産業組合——私モ組合長ヲヤツテ居リマスガ、産業組合デハ註文シテナイ農具ガ澤山來タ爲ニ、倉庫ニ長イ間一年モ二年モ要ラス品物ヲデット貯藏シテ困ツテ居ルト云フヤウナ現狀ガ事實ニ於テアルノデアリマス、又一面ニ於テ農具ノ配給ハ市町村等カラノ申請ニ依ツテ、大體地方廳ニ於テ色々心配サレテ、配給計畫ヲヤツテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ農具ノ配給ノ如キ、殊ニ能率ノ高イ農具ノ如キハ先刻申シマシタヤウニ、農業労働者ノ非常ニ減ツテ居ル——言ヒ換ヘルト農業労働力ノ不足シテ居ル土地ニ、重點ニ優先シテ配給スルト云フヤウナ風ニ、農林省デ御指導ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、マダ努力ノ問題ニ付キマシテ御尋ネシタイコトガアリマスガ、一應ソレダケ御尋ネ致シテ置キマス

○井野國務大臣 支那事變以來、殊ニ大東亞戰爭勃發以來、農村ノ努力ガ不足ヲ告ゲテ參ツテ居リマスルコトハ御説ノ通りデアリマス、隨テ農村ノ努力ヲ確保致シマスル爲ニ、勿論是ハ農林省ダケノ立場デ考ヘルベキデナク、政府全體トシテノ戦力増強ノ上ニ實際ニ必要ナル努力デアレバ、固ヨリ農村ノ努力ト雖モ其ノ方ニ割愛スルコトハ當然デアリマスルケレドモ、併シ今日食糧増産ノ見地カラ、一定ノ努力ト云フモノハ農村ニ是非確保シナケレバナラヌト云フ意味ニ於キマシテ、三反歩以上ノ耕作農家ノ努力ニ付テハ特別ノ措置ヲ執リ、手段ヲ講ジマシタノモ其ノ一端デアリマス、併シ農村ト致シマシテモ、現在ノ不足セル努力ヲ最モ能率的ニ活用シテ、サウシテ増産ニ邁進致シテ行クコトガ適切デアリマスノデ、今御話ノヤウニ共同作業ト云フ問題ニ相當農林省トシテモ重心ヲ置イテ、色々指導ナリ助成ナリヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ農村ニ於ケル共同事業ノ中デ、託兒所ト炊事所、或ハ共同炊事ト共同託兒ト云フ問題ハ、ヤハリ努力補給ノ最モ良イ、又中心ナル事業デハナイカト私ハ思ツテ居リマス、私モ地方ヘ參リマシテ色々ノ村ナリ部落ナリノ仕事ヲ見テ居リマス、最モ良ク努力不足ヲ克服致シテ居ル村ナリ部落ハ、共同託兒ト共同炊事ガ非常ニウマク行ツテ居ル事例ヲ見テ居ルノデアリマス、此ノ點ハ極メテ重大ト私モ考ヘテ居リマスルノデ、色色ノ指導ナリ獎勵ハ致シテ居リマスガ、唯之ニ特ニ獎勵金ヲ以テ充テルト云フ行キ方、ソレガ宜イカドウカハ餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、農村ノ色々ノ仕事ヲサセマス上ニ於テ、良イコトヲ何デモ獎勵金デ農村ニ獎メルト云フ行キ方ヨリハ、色色他ニ必要ナル費用ニ付テ農林省トシテモ考ヘテ、サウ云ツタ所謂精神的ニ結合スルコトガ最モ其ノ事業ヲ能率化セシムルヤウ

ナモノニ付キマシテハ、ヤハリ一種ノ精神運動ニ依ツテサウ云ツタ問題ヲ指導シテ行クコトノ方ガ適切デヤナイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併シソレ等ノ點ニ付キマシテハ、今後モ十分農林省トシテハ指導ヲシテ參リタイト考ヘテ居リマス

又努力問題デ中耕除草ノ問題デアリマスガ、是ハ農具トモ關聯致シテ居リマスガ、今日除草關係ガ増産ノ上ニ極メテ大事デアリ、除草ノ不徹底ナ水田ハ、折角肥料ヲヤリ、又天候ニ恵マレテ居リマシテモ、收穫ガ半減シテ居ルト云フヤウナ事態モ承知致シテ居リマスルノデ、是ハ畜力ニ依ル中耕除草ト云フ問題ハ私モ極メテ適切デアルト考ヘテ居リマス、殊ニ今後ノ皇國農村確立促進ノ上ニ於キマシテ、有畜農業ヲ以テ其ノ農業經營ノ中核體トシテ參リタイト考ヘテ居リマスルカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ十分今後モ考慮ヲ加ヘテ參リタイト存ズルノデアリマス、又農具ノ配給ノ問題ニ付キマシテ、今御話ノヤウニ、私モ森部君ノ舉ゲラレタ事例ヲ承知致シテ居ルノデアリマス、要ラナイ農具ガ時々廻ツテ來テ困ルト云フヤウナ話モ聞イテ居リマスガ、其ノ事情ヲ調ベテ見マスルト、ヤハリ其ノ地方地方ニ、從來ノ需要ノ狀態ニ應ジテ農具製造會社ガ大體其ノ需要ヲ見越シテ造リマシテ配給ヲシタ爲ニ、サウ云ツタヤウナ事例ガアツタト云フコトヲ伺ツテ居リマス、斯ウ云ツタ資材不足ノ時ニ要ラナイモノヲ配ルト云フ行キ方ハ、最モ不經濟ナ行キ方デアリマスカラ、十分サウ云フ點ハ農具配給會社ヲ督勵致シマシテ、サウ云ツタコトノナイヤウニ今後ハ進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス

○森部委員 只今御尋ネ致シマシタ中デ御答辯ノナイ、所謂共同作業ヲ行フ爲ニ當然行ヒマスル共同炊事ニ、先刻申上ゲマシタヤウニ酒ダトカ、或ハ砂糖ダトカ、サウ云フヤウナモノヲ、所謂農業者ノ氣分ヲ引張ツテ行ク上ニ於キマシテモ増配ノ必要ヲ私ハ感じテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ御考ヘハゴザイマセヌカ

○井野國務大臣 今御答ヘ申上ゲタヤウニ、包含シテ居ル積リデ居ツタノデアリマスガ、詰リ共同作業的ノコトニ付テハ、出來ルダケ助成金ト云フヤウナ行キ方デナシニ精神的ニ、又サウ云ツタ或ハ酒ナリ砂糖等ノ配給等モ考慮ニ加ヘテ參リタイ、唯共同作業ダケニソレヲヤツテ行カ、或ハ昨年ヤリマシタヤウニ田植ノ時、或ハ收穫ノ時ニ農民ヲ督勵致シマス爲ニ酒ノ増配ヲ致シマシタガ、サウ云ツタ行キ方ノ上ニ於テ共同作業ノヤリ方ニドレダケ考慮ヲ加ヘテ行クカト云フコトニ付キマシテハ色々考ヘテ見タイト思ヒマス、昨年ハサウ云ツタ點ヲ時期的ニ、又仕事のニ重點ヲ置イテヤツタ譯デアリマス、尙ホ此ノ機會ニ申上ゲテ置キタイノハ、農村ニ對スル酒トカ煙草——今度値上ニナリマシタケレドモ、是ハ重要産業ト同ジヤウニ農村ニモ煙草ナリ酒ヲ元ノ値段デ、詰リ値上シナイ値段デ配給スルコトヲ大藏省モ考ヘテ居リマス、是等ノコトモ今御話ノ共同作業トモ結付ケテ考ヘラレバ、一ツ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

○森部委員 次ニヤハリ労働力ノ不足對策トシテ、是ハ誰デモ言ツテ居ラレルコトデアリ、又本委員會ニ於テモ數回出マシタガ、耕作地ノ共同作業ヲスル一ツノ塊リダケハ、成ベク耕作地ヲ一箇所ニ集メルト云フ所

謂集團化、ソレカラ同時ニ田圃ニ於テ發動機ナドヲ持ツテ、其處ヲ中心トシテ稻或ハ麥等ノ脫穀ヲヤル場合ニハ、何トシテモ作道ヲ開設スル必要ガアリマス、又畜力ヲ使フ場合ニハ、不整形ナ田ノ形ヲ改メルコトモ當然必要デアリマス、斯ウ云フヤウナ耕地ニ對スル事柄ガ、御承知ノ通り暗渠排水トカ、或ハ地目變換トカ云フヤウナ、耕地事業ニ依ツテ直チニ土地ノ生産力ヲ甚ダシク更新シテ、其ノ爲ニ格段ノ増加ヲスル、斯ウ云フ場合ニハ、此ノ耕地整理事業ノ費用ヲ出シマシタ地主ノ失費ニ對シテ、何等カノ形デ或ル程度ノ利廻ト云フカ、還元ガ出作ル、所ガ只今申シマシタヤウナ主トシテ勞働能率ヲ向上スルヤウナ意味ニ於テ耕作地ヲ集團化スルトカ、或ハ區劃ヲ整理スルト云フヤウナ耕地整理ハ、如何ニソレガ實現致シマシテモ、土地ノ所有者デアル地主ニハ殆ド利害ガ何等ノ形ニ於テモナイ、所謂報イル所ガナイ、ソコデ吾々ガ如何ニ地方ニ於テ今言フヤウナコトヲ勸メマシテモ、又中心ニナツテヤツテ見タイト思ツテ話シ掛ケテモ、中々相談ニ乗ツテ呉レナイ、私ノ經驗ニ依リマス、殆ド全部吾々ノ意ノ如ク耕地ノ集團トカ區劃整理ハ實ニ於テ出來テ居ナイ、併シハ只今申シタヤウニ、益、一層其ノ必要ノ度ヲ高メルノデアリマス、是ニ於テ私が申スマデモナク大臣ハ能ク御存ジデアルト思ヒマスガ、耕地ノ交換分合或ハ區劃整理、作道ノ改修等ヤレバ、必然的ニ土地ノ所有權ノ移動ガ多クナツテ來マス、隨テ斯ウ云フヤウナ登記事務ノ關係、或ハ色々耕地整理ニ基ク關係ノ交換分合等ヲヤルノニハ、現在ノ法規デハ耕地整理法ヲ適用シテ耕地整理組合ヲ組織シ、耕地

整理組合ノ事業ニ於テナセバ換地分合ガ極ク簡單ニ行クノデアリマスガ、現行ノ耕地整理法デハ、只今申シマシタヤウナ耕地整理事業ニ對シテハ國家ガ四割補助金ヲ出サレル、アトノ六割ハ當然關係ノ地主ガ負擔シナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、只今申シマシタヤウナ事情デ、不幸ニシテ一回モ實行ヲ見テ居ナイ、私ハ現在ノ耕地整理法ヲ行クナラバ、今少シク國家ガ思ヒ切ツテ之ニ對スル補助金ヲ増加セラレテハドウカ、サウシテ此ノ事業ガ速カニ實現ノ出來ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイ、ソレガ適當デハナイカト考ヘル、若シ耕地整理組合ニ對シテ國家ガ全額補助ヲスルコトガ難カシイナラバ、私ハ丁度都市計畫法ノヤウニ農村計畫法ト云フヤウナモノヲ新タニ制定サレマシテ、農村ニ於ケル今申シマシタヤウナ耕地ニ關スル色々計畫ヲ立テ之ヲ實行スル、其ノ場合ニ於テ其ノ農村計畫法ニ基イテ國家ガドレダケノ負擔ヲスル、同時ニ地方ノ公共團體ガ幾ラノ負擔ヲスル、都市計畫法ノ委員會ニ依ツテ地方費負擔等ノ分與モ決マツテ居リマスガ、アア云フヤウナ法制ヲ新タニ立テラレテ、農村ニ於ケル一種ノ國土計畫トデモ云フベキモノヲ速カニ完成スル必要ガアルノデハナイカ、二者何レカラ急速ニ擇ンデ戴イテ、只今申シマスヤウナ耕地ニ關スル方策ノ具現ヲ圖リタイト存ジテ居リマスガ、此ノ點ニ對スル御見解ヲ承リタイト思ヒマス

對スル補助金モ今御話ノ通り四割補助ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ補助ヲ増スト云フコトハ、是ハ中々難カシイト思ヒマス、ト申シマスノハ各個人ノ所有シテ居リマスモノノ改良事業デアリマスカラ、隨テ所有者モ利益ヲ得ルト云フコトカラ、國ガ全額ヲ負擔スルト云フヤウナ行キ方ハ中難カシイ、専ラ公共的ノモノデアリマスレバ全額負擔ニナリマスガ、個人所有ノ土地改良デアリマスカラ、其ノ點ニ於テハ困難ガアルト思ヒマス、唯今御話ノヤウニ國土計畫ナリ、或ハ農村計畫ト云フヤウナモノノ見地カラ之ヲ考ヘテ行クト云フ行キ方ハ、私ハ一ツノ考案デアラウト思フノデアリマス、唯今日國土計畫ト云フモノガ、企業院中心ニ內務省其ノ他デモ色々計畫シテ居リマスガ、是ハマダ具體的ニハ出來テ居リマセヌ、斯ウ云ツタモノガハツキリ決マツテ參リマスレバ、勢ヒサウ云フ所ニモ參リマスガ、其處マデ行カナクテモ、私ハ今度ノ皇國農村確立促進ノ問題ニ付キマシテ、各農村ヲ中心トシテ所謂有畜農業化、自作農業化等ヲ圖リ、而モ適正ナル經營規模ニ農村ヲ直シテ行クノニハ、ドウシテモ耕地ノ分合ガ起ツテ來ルノデアリマス、ソレニ對シテ色々企畫ヲ致シテ見マシテ、ソレニ若シモ豫算ナリ法律ノ必要ガアリマスレバ、十分今後考慮シテ參リタイ、斯ウ思ツテ居リマス

自作農ノ場合ニ於テハ、直チニソレガ耕作シテ居ル農業者ニ恩惠ト申シマスカ、利益ト云フモノガ行キマスガ、小作地ニ於テハ地主ハ、是ハ御存ジノ通り恩惠ト云フモノガ來ナイノデアリマス、隨テ前ニ申シマスヤウニ、吾々ガ勸メテモ中々自ラ耕作ヲシナイ土地ノ所有者ハ之ニ應ジナイ現況デアリマス、只今大臣ノ御答辯ノ中ニ、農村モ一種ノ國土計畫ヲ相當必要ト認メルト云フ御言葉ノヤウニ私承リマシタガ、洵ニ結構デアリマス、此ノ耕地ノ問題ハ凡ユル意味ニ於キマシテ農業ノ最重要ナル部分デアリマス、耕地ヲ離レテ農業ト云フモノハ勿論ナイノデアリマスカラ、ドウカ何等カノ方法ニ依ツテ、耕地ノ集團或ハ區劃ノ整理ト云フモノガ速カニ、而モ相當廣イ面積ニ於テ行ハレルヤウニ、一段ノ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ點ハ御答辯ヲ要求致シマセヌ、希望ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ私ハ現在農會ノ事業トシテ國家カラ一種ノ義務ヲ背負ハサレ居ル青果物配給ニ關シテ、此ノ新農業團體法ガ出來レバ、新農業會ガ當然繼續スルコトニ相成ルノデハナイカト存ジマスノデ、一應大臣ノ御所見ヲ拜聽致シタイノデアリマス、此ノ青果物ノ配給ニ付キマシテハ、農林大臣カラ帝國農會長ニ命令ト申シマスカ、指圖ト申シマスカ指令ガアリマシテ、帝國農會長ガ府縣農會長ニ又指令ヲ致シマシテ、府縣内ノ重要ナル農林大臣指定地區、若シクハ府縣知事ノ指定地區ノ各消費都市ニ對シテ青果物ノ品目、種類ヲ定メテ出荷ノ責任ヲ縣農會ニ負ハサレテ居ルノデアリマス、而シテ縣農會ハ、又縣内ノ町村農會或ハハ町村ニ於ケル生果物ノ出荷組合ニ對シテ、ソレノ出

荷ノ指圖ヲ致シマシテ、其ノ指定地域ニ指定ノ數量、指定ノ品目ヲ出荷スルコトニ努メテ居ルノガ現在ノ機構デアリマス、然ルニ昨年ノ夏秋等ノ實績ニ依リマスレバ、私等ノ縣ニ於ケル例ヘバ北九州方面等ノ各都市ニ、實際品物ヲ出荷シテ居ル數字ヲ見テミマス、不幸ニシテ縣農會ノ指圖シテ數量ノ半バニモ達シテ居リマセヌ、隨テ此ノ各消費都市ニ於キマシテハ、縣農會ノ指圖ヲシテ居ル數量ノ半バニモ達シナイ數量デアリマスカラ、其ノ配給上供給上色々ナ手違ヒヲ生ジテ、市民ノ生活ノ上ニ至大ノ影響ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、是ガ甚ダシクナレバ、所謂銃後ノ人心ニモ影響スルト云フヤウナ場面ヲ昨年來吾々ハ聞イタノデアリマス、私等ト致シマシテハ、當時モ今少シク的確ニ出荷シテ貰ハナケレバ困ルト云フヤウナ苦情ヲ訴ヘラレタノデアリマスカ、當時ノ狀況ハ既ニ大臣モ十分御存ジト思ヒマスガ、私ニ言ハセマスレバ、現在ノ出荷方法、殊ニ青果物ノ價格ノ決メ方適當デナクテ、其ノ爲ニ農業者ニ致シマシテモ、自分ノ生産地カラ最モ近い距離デ公定價格一パイニ賣リタイト云フ氣分ガ横溢致シマス、隨テ縣農會ガ町村農會或ハ町村ノ出荷組合ニ指圖シマシテモ、今申シマスヤウニ少シ遠方ノ都市ニハ流レナイ、是ハ公定價格ガ一本建ノ關係上サウ云フコトニ相成ツテ居ルト、一言ニシテ言ヘバ言ヒ得ルノデアリマス、ソレト同時ニ荷受組合ト云フノガ、私ノ縣ニ於テハ縣ヲ二分シテ、北九州一圓ヲ持ツタ荷受組合ト、残りノ縣ノ半分ヲ單位トスル荷受組合ト二ツニナツテ居リマスカ、此ノ荷受組合ト云フモノハ唯圖上ノ指圖ヲスルダケデアツテ、現物ヲ預カル譯デ

モナケレバ、又此ノ荷受組合ガ中間ノ運賃其ノ他ノ費用ヲ見テ居ル譯デモ何デモナイ、而モ一方ニ於テハ中間ニ帝國農會ノ門司販賣所所ト云フモノガアル、從來ノ各都市ニハ市場ガアル、屋上色々ナ機關ガ出來テ居リマスノデ、ドノ團體ガ責任ヲ持ツカサツパリ分ラナイ、私ハ端的ニ申上ゲマシテ、青果物ノ場合ニ於テハ、生産地ニ於ケル公定價格ト消費地ニ於ケル公定價格ノ所謂二本建ニシテ、生産地カラ消費地マデ、又消費地ニ於テハ消費者個人ニマデ行ク所ノ運賃其ノ他總テノ費用ト云フモノヲ、當該消費都市ノ市又ハ町デ之ヲ全額負擔スルコトニナリマスレバ、甲ノ生産地カラ乙ノ市ニ青果物ヲ流シテモ、或ハ丙ノ市ニ同ジ品物ヲ流シテモ、距離ノ如何ヲ問ハズ中間ノ費用ハ全部消費都市ガ負擔シマスカラ、生産者デアアル農家ハ同ジ手取りニ相成ルノデアリマス、斯クノ如キ仕組ニナレバ、縣農會ノ指圖ノ通りニ數量ハ市場ニ出ルト私ハ考ヘマス、デ政府ニ於カレマシテハ、斯クノ如キ不合理ナル基礎ノ上ニ立ツタ儘デ之ヲ推移致シマス、結局今ノ統制ト云フモノハ、出荷ノ配給ト云フモノハ、帝國農會ガ指圖シマシテモ、或ハ府縣農會ガ指圖シマシテモ、實際ニハ其ノ通行力カヌノデアリマス、市民ノ生活ヲ脅カシ、而モ一面ニ於テハ、吾々農業者團體ノ關係者ト致シマシテハ、縣農會ノヤツテ居ルコトハ何ノコトダト云フヤウナコトニナツテ、農業者ノ信賴ヲ失ヒマシテ、延イテ他ノ或ハ生産統制デアルトカ、或ハ作付ノ統制デアルトカ、色々ナ方面ニ惡イ影響ヲ受ケルノデアリマスカ、私ハ此ノ新團體ガ新ナル形ヲ變ヘテ出發スル間際ニ當リマシテ、斯クノ如キ不

合理ハ一ツ速カニ是正サレマシテ、只今申シマシタ荷受組合ノ再檢討、或ハ價格ノ問題等モ根本的ニ一ツ御改メ下サイマシテ、大體ニ於テ天災或ハ其ノ他異常ナル異變ガアレバ別デアリマスガ、大體豫想ノ通り青果物ノ生産ガ行ハレタ場合ニハ、豫期ノ出荷ガ市場ニ出ルヤウナ仕組ニ相成リマスルヤウニ、只今私ガ一例トシテ申上ゲマシタヤウナ方法ナド一ツノ手段トシテ御考ヘ下サツテ、改正セララル御意思ガアルカドウカ、一ツ此ノ機會ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○井野國務大臣 青果物ノ集荷並ニ價格問題ハ、昨年末私共トシマシテ色々苦勞ヲシテ參ツタ問題デアリマス、理論的ニ申シマスレバ、青果物ノ生産者價格ト消費地價格ト分ケテ作ルコトガ最モ適當デアラウト思ヒマス、唯青果物ハ御承知ノ通り、品傷ミ目減リ等ガアリマスカラ、其ノ價格操作デ今日ノ配給機構デハ皆ク行カナインデアリマス、隨テ配給機構ヲ整備致シマシテ、ソレガ或ル程度目減リ品傷ミノ危險ヲ負擔致スヤウニ致シマスレバ、生産者價格モ出來テ來ルノデアリマス、サウ云ツタ機構ニ付テ、今當局トシテ色々ノ考案ヲ運ラシテ居ルノデアリマス、或ハ今日農會ト産業組合トガ統合セラレマシテ新團體ガ茲ニ組成セラレルノデアリマスカラ、ソレ等ノ機關トモ又睨ミ合セマシテ茲ニ何等カノ新工夫ガ出來ルノデハナイカ、折角考慮ヲ致ス積リデアリマス

○農務委員 只今大臣カラ青果物ノ配給ニ對シテハ折角考慮スルト云フ、私ニ取ツテハ洵ニ私ノ意ヲ得タ御答辯ヲ戴キマシテ欣快ニ存ズルノデアリマスガ、ドウゾ茲ニ農

業團體ガ只今申シマスヤウニ新タナ出發スル際デアリマスカラ、出來ルダケ一ツ凡ユル方面ニ凡ユル場面ニ於テ、合理的ナ計畫ヲ御立テ下サルヤウニ切望致シテ置キマス、最後ニ私ハ、是ハ既ニ本會議或ハ當委員會ニ於キマシテモ、各委員カラ熱心ニ色々意見ノ御發表ヲ承ツタノデアリマスガ、私ハ私ノ縣ニ於ケル一、二ノ具體的數字ヲ參考ニ申上ゲマシテ、大臣ノ一段ノ御考慮ヲ願ヒタイト存ジテ居ルノデアリマスガ、農産物ノ所謂價格ノ問題デアリマス、農産物全體ハ、他ノ農民ノ生活資材デアルトカ、或ハ一般ノ物價ト比較シテ低位ニアルコトハ既ニ色々ナ人ニ依ツテ言ハレテ居ル問題デアリマシテ、今更私ハコソデ數字ハ申上ゲマセヌ、更ニ又農産物中米ノ値段ガ甚ダシク均衡ヲ缺イテ居ル、延イテ生産ニ多大ノ支障ガアルト云フコトモ、是亦既ニ多クノ人カラ言ハレテ居ルノデアリマス、大臣モ之ニ對シテハ相當ノ御理解ガアルコト存ジマスカ、私ハヤハリ増産ニ付テハ、所謂技術ノ問題、或ハ肥料ノ問題、其ノ他幾多ノ施策ガ必要デアルトハ當然デアルト存ジマスカ、廣イ意味ニ於ケル所謂價格ト云フモノガ至大ノ影響ヲ及ボスト云フコトハ、是ハ何トシテモ人情上已ムヲ得ナイコトデヤナイカ、今日不幸ニシテマダ我が國ニ於テハ經濟違反、所謂闇ト云フモノガ全國ニ於テハ日々相當ナ數ニ上ツテ居ルノデアリマス、而モ此ノ農業者ガ色々ナル作物ノ栽培若シクハ農業ニ從事スル上ニ於テ、經濟違反デナク、利益ノ多イ方ニ向クト云フコトハ、是ハ自然ノ人情デアルト思ヒマス、勿論政府ハ人心ノ動向、人情ノ機微ニハ十分ノ御洞察ヲ持ツテ居ラレコトハ存ジマ

スガ、私ハ斯ウ云フ廣イ意味ニ於ケル所謂物ノ價格ト云フコトガ、其ノ生産ノ上ニ至大ノ影響ガアルト云フ點カラ、先般來一、二ノ事實ヲ調べマシテ、一層其ノ感ヲ深ク致シタノデアリマス、即チ私ノ縣デ一昨昭和十六年ニ知事ガ麥類ノ増産ヲ圖ルベク、各町村農會長ニ一定ノ麥ノ作付面積ノ割當ヲ致シテ居リマス、是ハ全國略、同様デアラウト思ヒマス、當時私ノ縣ニ於ケル知事ガ各町村農會長ニ割當テマシタ面積ハ、大麥ガ二千五百十六町歩、稈麥ガ四万六千三八町歩、小麥ガ三万七千九百三町歩、合計八万六千四百五十八町歩ト云フモノヲ縣下ノ十市十九郡ノ市町村農會長ニ割當テ、此ノ播付ヲ實現ヲ見ルベク凡ユル努力ヲ致シタ、幾多ノ會合ヲナシ、幾多ノ講演會ヲ開イテ努力ヲシ、又凡ユル農村團體モ之ニ協力シテ全力ヲ盡シタノデアリマスガ、其ノ實績ヲ吾々が見マス、現ニ集ツテ居ル數字ハ大麥ノ二千五百十六町歩ニ對シテ二千三百九十一町歩、稈麥ノ四万六千三十八町歩ニ對シテ三万五千三百四十四町歩、小麥ノ三万七千九百三町歩ニ對シテ、是ハ良クテ三万九千二百五十七町歩、合計麥類ノ耕作面積八万六千四百五十八町歩ニ對シテ實績ハ七万六千九百九十三町歩、差引目標額ニ少ナキコト九千五百六十五町歩ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ私ノ縣ノ實況デアリマス、小麥ガ稈麥ヨリ稍、多カッタト云フコトハ、申スマデモナク小麥ハ脫穀ニ手ガ掛ラナイカラデアリマス、同ジ程度ノ値段デアレバ、自然手ノ掛ラナイ小麥ノ方ヲ多ク作ルト云フコトハ當然ダト思ヒマス、昨年ノ秋當局ノ御配慮ニ依ツテ、麥ノ價格ハ石六圓ノ引上ゲニ相成ツタノ

デアリマス、其ノ結果今度ハ今マデノヤウニ、無理ニ麥ノ増産ヲ奨メテ居リマセヌガ、事實トシテ現ハレタ所ヲ調ベテ見ルト稈麥ノ作付反別ハ前年ニ比シテ七千四百餘町歩ノ増加トナツテ居ルノデアリマス、此ノ稈麥ノ七千數百町歩ノ増加ハ、主トシテ茶種畑ヲ稈麥畑ニ轉作致シマシタノト、一部ハ炭坑地方ニ於ケル所謂休閑地、或ハ其ノ他ノ休閑地ヲ稈麥ノ畑ニシタ爲メデアリマス、私ハ斯ウ云フ事實ヲ見ル時ニ於テ、先程申シマシタヤウニ、是ハ何トシテモ他ノ幾多ノ施策モ必要デアリマスガ、ヤハリ價格ガ増産ニ多大ノ影響ガアルコトヲ痛感スルノデアリマス、隨テ私ハ米價ノ全面的引上ゲト云フヤウナコトハ敢テ要望致シマセヌガ、現在支出サレテ居ル所謂生産獎勵金ヲ、更ニ一段ト増加セラレルコトヲ御考ヘニナルコトガ適當デハナイカ、又一方ニ於テハ如何ニ増産サレテモ、是ハ供出ト云フ形ニ於テ政府ノ手ニ米ガ行カナケレバ、結果ニ於テ國家ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、喜ンデ農家ガ自分ノ芋ヤ大根ヤ、或ハ甘薯ヲ喰ツテ、自分ノ保有米ヲ割イテ國家ノ用ニ立テル、供出ニ一粒デモ餘計出スト云フ氣持ヲ惹キ起ス爲ニ、何等カノ形ニ於テ供出獎勵金ト申シマス、供出セシムル適當ナル對策ガ必要デハナイカ、此ノ二ツノ方法ヲ今此ノ際急速ニ御立デニナルト云フコトガ、今年ノ稻作ノ上ニ於テ至大ノ影響ヲ及ボスモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、私等ガ郷里ニ歸ツテ、農村ノ實情ヲ色々調べ見マス、現在ノ農家ガ供出シテ居ル米ニ、更ニ一俵二圓トカ三圓ト云フモノガ何等カノ形ニ於テ手ニ入ルト云フコトニナレバ、現在ノ農家

ハ、必ズシモ保有米ニ餘裕ガアルトハ思ヒマセヌガ、農家ノ保有シテ居ル米ノ中カラ、只今申シマシタ色々ナ雜食其ノ他ニ依ツテ自分ノ保有米ヲ相當少クシテ、供出米ニ振向ケル農業者ノ氣持ハアルト私ハ信ジテ居リマス、少クトモ私ノ調べテ居ル範圍ニ於テハ、農家ノ持つテ居ル消費米ノ百分ノ五、十俵一年ニ消費スル所ハ半俵、二十俵一年ニ消費スル所ハ一俵、即チ百分ノ五位ハ最小限度ニ於テ供出ガ増加スルト思ヒマス、或ハ所ニ依ツテハ一割程度ノ供出ハ増加スルノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ斯ウ云フ事實——人情ノ動キ、農民ノ心理ト申シマス、人間ノ機微ヲ更ニ一段ト考慮ノ中ニ入レラレマシテ、只今申シマシタヤウナ米價其ノモノノ引上ヲ全面的ニ行フコトガ出來ナケレバ、生産獎勵金ノ増加、或ハ供出獎勵金ト申シマス、何等カノ形ニ於テ生産スル農家、供出スル農家ニ一段ノ熱意ヲ持つテ増産ニ寄與スルヤウニ、政府ノ何等カノ御計畫ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、此ノ點御尋ネ致シタイト思ヒマス

○井野國務大臣 農産物價ガ増産ニ影響スル關係ニ付キマシテハ、私モ色々各方面ノ御意見ヲ聽イテ承知致シテ居リマス、麥ノ値上ガ本年度ノ麥作ノ増産ノ第一ノ原因ニナツテ居ルコトモ承知致シテ居リマス、隨テ米ナドモ値上ヲシマスレバ、或ハ増産ニ或ハ供出ニ相當役立ツコトハアラウト思ヒマス、併シ先般來モ申上ゲマシタ通り、諸物價ニ及ボス影響ノ重大性ニ鑑ミマシテ、米ノ値上ハ出來ナイト云フ狀態デアリマス、隨テ政府トシテモ二重價格制度ヲ以テ、是ガ解決策ニ當ツテ參ツタノデアリマス、然ラバ之ヲ直グ殖ヤシタラ宜イデハナイカ、サウシタラ増産ニモ役立ツシ、供出ニモ役立ツデハナイカト云フ御話デアリマスガ、勿論是ハ御説ノ如クサウ云フ結果ヲ招來スルカモ知レマセヌガ、唯政府トシテ餘程考ヘナケレバナラナイ問題ハ、一昨年米價ガ他ノ物價ニ比シテ非常ニ割安デアアルト云フ議論ガアリマシテ、石五十圓ニシテ吳レト云フ要望ガ強カッタノデ、或ハ五十圓デ不足デアツタカモ知レマセヌガ、兎モ角五十圓ト云フ價格ニ相當スル獎勵金ヲ出シタノデアリマス、サウスルト今度ハ又他ノ物價ガ多少動イテ居リマスカラ、又引上ゲルト云フコトニナツテ來ルノデアリマスガ、斯ウ云フ行キ方デ米價ヲ引上ゲズシテ、二重價格制度ヲ飽クマデヤツテ行クト云フコトニナルト、國家ノ財政ニモ自ラ限度ガアリマス、現在ノ獎勵金デスラ二億乃至三億ノ金ヲ出サナケレバナリマセヌ、假ニ茲ニ十圓ノ値上ニ相當スル獎勵金ヲ出サウト思ヘバ、ヤハリ三億乃至四億ノ金ガ要ル譯デアリマス、サウスモノヲ段々農村ガ要望サレテ居ル通りニヤツテ行キマス、國家ノ大キナ財政上ノ破綻ヲ生ジテ來ル譯ニモナリマスカラ、寧ロサウス云フ餘裕ガアリマスレバ、是ハ米價ノ問題デ考ヘルコトモ無論必要デハアリマス、ヤハリ農村ニ對スル色々ノ施設ヲシテ、サウシテ生産費ヲ低下セシメ、農業經營ヲ合理化スルト云フ方向ニ進ムコトノ方ガ、寧ロ健全ナル農村ガ出來ルノデハナイカ、米價問題ダケニ考ヘラ向ケテ、サウシテ農村ノ言ヒナリニ之ヲ行ツテ行クトハ、却ツテ農村自體ヲシテ堅實性ヲ失ハシメル所以デハナイカト考ヘテ居リマス、固ヨリ生産費自體ハ能ク調ベテ居リマス、ソレガ

償ハナイト云フ事態デアレバ、是ハ無論考ヘテ參リマスケレドモ、今日ノ生産費白體カラ見マス、五千五百万石ノ時ニ、五十圓ニ上ゲタト同ジ結果ノ獎勵金ヲ出シタ譯デアリマスガ、六千七百万圓ノ豫想ヲ見テ居ル今年度ハ、寧ロ昨年度ヨリモ生産費ハ石當リハ減ツテ居ル譯デアリマシテ、斯ウ言ツタ時期ニ獎勵金ノ問題ヲ考ヘルヨリモ、又適當ノ時機ニ生産費ヲ能ク勘案シテ、米價ノ問題ニ付テハ出來ルダケ善處シテ行キタイ、決シテ獎勵金ヲ出サナイトカ何トカ云フノデハナイノデアリマス、適當ノ時機ニハ無論考ヘマスケレドモ、今直チニ之ヲ行フ意思ガナイト云フコトヲ申上ゲテ置クダケデアリマス

○森部委員 只今ノ御答辯デ大臣ノ御氣持ハヨク諒解致シマシタ、唯併シ先刻申シマシタヤウニ私ノ縣ニ於テ、殆ド農村ニ於ケル壯年ノ農業従事者ガ、六割モ七割モ二、三年ノ間ニ減ツテ居ルト云フヤウナ情勢カラ見マシテ、私ハ端的ニ申上ゲマスレバ、他ノ工場ニ於ケル賃金デアルトカ、或ハ他ノ一切ノ物價ト云フヤウナモノガ、米價ト殆ド釣合ヒガ取レル程度ニ抑壓スルコトガ出來レバ、必ズシモ左様ニハ感ジナイノデアリマス、吾々ガ地方ニ於テ聞イテ居リ、又實際目撃シテ居ル所デハ、農業ニ従事シテ百姓ヲシテ居ツタノデハ、若シ應召ヲシタ場合ニハ直チニ收入ヲ失ツテシマフ、所ガ工場ニ行ツテ居レバ應召シテモ俸給ノ差額ガ實ヘル、又工場ニ行ツテ居レバ徵用ノ憂ヒモナイ、而モ現金ノ收入ガアル、家族手當ガアル、ソコデ百姓スルノガ馬鹿ラシイ、斯ウ云フコトガ殆ド農村ニ漲ツテ居ル空氣デアリマス、ソコデ唯釣合上ノ問題デ、

只今モ申シマシヤウニ他ノ賃金ナリ或ハ其ノ他ガ之ヲ抑ヘルコトガ出來レバ、御説ノ通り必ズシモ二重米價トカ、色々ナ形ニ於テ米ノ値段ヲ操作シテ戴ク必要モナイカトモ思ヒマス、前冒頭ニ申上ゲマシタヤウニ、戰爭ガ進メバ更ニ軍需工場ナリ、或ハ軍關係ニ人ヲ要スルコトハ是亦必然デアリマス、斯ウ云フ大變ヤリニクイ、困難ナ社會情勢ニアル場合ニ於テハ、多少思フヤウニハナクテモ、何等カノ形ニ於テヤハリ生産獎勵金トカ、其ノ他米作農業者ノ氣持ヲ好クスル政治ヲヤツテ戴クコトガ、實際ニ於テ増産ヲ實現スルコトデアアル、ソレガ所謂國家ニ忠ナル所以デハナイカト存ズルノデアリマス、今ノ御答辯デ大體了ラ承致シマシタカラ、重ネテ御答辯ハ願ハヌデモ結構デアリマスガ、ドウゾ私等ノ申上ゲテ居リマス實情、農民ノ人心ノ動キ等ヲ十分ニ御諒承戴キマシテ、速カニ國家ノ増産ノ目的ヲ達スルヤウニ、最善ノ方途ヲ講ゼラレンコトヲ熱望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○東郷委員長 午後一時半マデ休憩致シマス
午後零時三十二分休憩
午後一時三十八分開議

○東郷委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——加藤知正君

○加藤(知)委員 農林大臣ハ去ル一月三十日ノ本會議ノ席上ニ於テ、農業團體法案提出ノ理由ヲ説明セラレマシタガ、其ノ御説明ノ中ニ今次聖戰ノ展開ニ伴ヒマシテ、我が國ノ農村ハ食糧其ノ他重要農産物ノ増産確保ト、健全ナル民族培養ノ基地ト致シマシテ、愈々其ノ重要性ヲ増大シテ參ツテ居ル

ノデアリマス……政府ハ是等ノ諸事情ニ鑑ミマシテ、今回農會、産業組合、畜産組合、養蠶業組合及ビ茶業組合ノ系統諸團體ヲ統合整備致シマシテ、全農業者ヲ打ツテ一丸トシ……速カニ農業部門ニ於ケル總力發揮ノ體制ヲ確立致サントスルモノデアリマス」云々ト御述べニナツテ居リマス、之ニ依ツテ見マスレバ、農業團體法ノ新ナル制定ハ食糧其ノ他ノ重要農産物ノ増産ヲ確保スルト云フコトガ、其ノ主ナル目的デアルト申シテ宜イト思フノデアリマス、然ルニ農業團體法ハ此ノ議會ヲ通過シタガ、米ノ増産ハ出來ナイ、繭ハ依然トシテ減退スルト云フヤウナコトデアリマシテハ、洵ニ申譯ノナイコトニナルト存ズルノデアリマスカラ、私ハ此ノ意味ニ於キマシテ、食糧、衣料ノ問題ニ付テ農林大臣ニ十分御尋ネ申上ゲタイトハ思ヒマスガ、併シナガラ時間其ノ他ノ關係ニ依リマシテ、食糧問題ニ關スルコトハ既ニ他ノ委員カラ御質問ニモナリ、又はカラ續々質問セラレルコトト存ジマスノデ、ソレ等ノ方々ニ御願ヒスルコトニ致シマシテ、私ハ衣料問題ト大ナル關係ヲ有シマスル蠶絲問題ニ付テ農林大臣ノ御所見ノ存スル所ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス

先ヅ第一ニ御伺ヒ致シタイコトハ、産繭減退ノ原因ニ付テデゴザイマス、現在蠶絲業問題ノ焦點ハ、蠶繭減退ニ集中サレテ居ルノデアリマス、如何ニモ昭和十四年度ニ九千万貫ヲ突破致シマシタ繭ガ、十五年ニハ八千万貫、十六年ニハ七千万貫、十七年ニハ五千五百万貫ト云フヤウニ一年ト激減シツアルノデアリマスガ、其ノ原因ニハ、生糸輸出ノ杜絶ニ伴フ蠶絲業ノ前途不安觀ニ依ルモノ、戰時食糧増産確保ニ依ル

桑園ノ一部整理獎勵、桑園ノ肥料不足ニ依ル數量ノ減少、農業勞働力ノ不足ニ伴フ養蠶ノ縮少等色々アルノデアリマスルガ、ソレニ増シテ大キナ基本的原因トモ申スベキハ、繭價ノコトデアリマシテ、野菜、果樹其ノ他ノ農産物ニ比ベテ、一粒ノ繭モ閑取引ノ出來ナイ、繭價ハ如何ニモ割ノ惡イ、太刀打ノ出來ナイ現狀ニ置カレアルト思フノデアリマスガ、是等ノ産繭減退ノ原因ニ付テ農林大臣ハ如何様ニ考ヘテオイデゴザイマセウカ、先ヅ以テ其ノコトカラ一ツ御伺ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス

○井野國務大臣 蠶絲業ガ最近産繭ノ減退等ニ依リマシテ悲觀的觀察ヲサレテ居リマスコトニ付キマシテハ、農林當局モ極メテ憂慮ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ原因等ニ付キマシテハ、今加藤君ガ御述べニナリマシタ色々ノ事情、是ハ固ヨリ其ノ原因デアリマスルガ、ヤハリ其ノ主タル原因ハ、從來「アメリカ」ニ賣ラレテ居タ生糸ガ一依モ賣レナクナツタ、隨テ輸出貿易トシテノ産業上ノ重要性ガ失ハレタ、隨テ今日ハ總テノ産業ガ、或ハ軍需産業、或ハ生産力擴充産業、或ハ食糧産業ト云フ風ニ、國家ノ戦力増強上重大ナルモノニ重點ガ置カレテ居リマスガ故ニ、蠶絲業自體ガ何トナシニ、之ニ從事シマス者ガ其ノ重要性ヲ輕視シテ來タト云フコトガ、蠶絲業自體ノ衰退ト申シマスカ、兎モ角消極的ナ狀態ニ陥ツテ參ツタト思フノデアリマス、其ノ一ツニ繭價ヲ御取リニナリマシタガ、繭價自體ハ固ヨリ今日他ノ物價ニ比ベテ高イトハ申シマセヌ、併シ繭價ノ安定ト云フコトガ蠶絲業ノ最重要ナル問題デアルトシテ從來カラ唱ヘラレ是ガ安定ニ向ヒマシテ、政府トシテ

モ各般ノ施設ヲ講ジテ參ツタノデアリマシテ、「アメリカ」ニ生絲ガ一俵モ賣レオクナリマシテモ、繭價ニ何等ノ變動ヲ生ゼシメナカッタコトモ、政府ノ施策ト是ガ事業ニ從事シマス者ノ協力トニ依リマシテ、全キヲ得テ居ルノデアリマス、隨テ繭價ノ安定自體ハ、今日他ノ物ニ比ベテ是程安全性ノアルモノハナイノデアリマス、即チ養蠶家ノ作ツタ繭ハ、全部蠶絲統制會社ガ買ツテシマフノデアリマスルカラ、其ノ繭價ニ安シジサヘスレバ、是程事業ノ上ニ於テ安定性ガアルモノハナイニ拘ラズ、今言ツタ通りノ消極的傾向ヲ辿ツテ居リマスル事態ニ付キマシテハ、政府トシテモ十分ニ、蠶絲業ノ將來ガ有望デアアル、又蠶絲業自體ガ今日國家ノ國策の事業トシテ重大性ヲ持ツテ居ルト云フコトヲハツキ致サスコトガ必要デアアル、即チ從來蠶絲業ニ掲ゲテ居リマシタ輸出貿易、或ハ金獲得ト云フ看板ヲ下シタ今日、蠶絲業ニ對スル新ナル看板ヲ明示スルコトニ依ツテ、養蠶家並ニ蠶絲關係業者ノ志氣ヲ昂揚スルコトガ最モ大切デアルト考ヘマシテ、先般來私自ラ各地方ニ參リマシテ、其ノ新ナル看板ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレハ即チ大衆並ニ軍需向ノ纖維資源ノ獲得、南方輸出品トシテノ纖維資源ノ獲得ト、更ニ又皇國農村確立ノ上ニ於テ、農業經營上ノ蠶絲經營ノ重要性ト云フ、此ノ三ツノ問題ヲ新タニ掲ゲマシテ、養蠶家並ニ製絲家ノ志氣昂揚ニ當ツテ參ツタノデアリマス、併シ繭價自體モ、是ハ無論政府自身モ再檢討ヲ致ス積リデアリマス、本年ノ春繭ニ付テドウスルカト云フコトハ、目下考慮致シテ居リマスケレドモ、今之ヲ上ゲルトカ上ゲナイトカ申上ゲ

ル時期デハナイト考ヘテ居リマス
○加藤(知)委員 次ニ御伺ヒ致シタイノハ、前年ノ實收ヨリ増產計畫ノ根據ト云フコトニ付テ御伺ヒ申上ゲタイト存ジマス、昭和十八年度繭生產計畫ヲ六千三百萬貫ト決定サレタノデアリマスガ、如何ニモ斯クアリタイコトヲ私共モ切ニ之ヲ念願スル次第デアリマスガ、之ヲ昭和十七年ノ實數五千五百萬貫ニ比ベマスルト、八百萬貫ノ増加ニナツテ居ルノデアリマス、勿論昨年ハ天災不可抗力ニ因ル減產モアリマシタガ、長期戰下ニ於ケル客觀的情勢ヲ以テシマスレバ、肥料モ、勞力モ、其他アリト凡ユル生産條件ノ一日一日窮迫ヲ加ヘツツアリマス際、殊ニ戰時下食糧増產ハ絕對優先ナリト叫バレテ居ル場合、技術的ニ見テモ桑葉ノ收穫ヲ増スコトノ至難ナル現狀ニ於テ前年度ノ實收ヨリ一割五分ノ產繭增收ヲ計畫セラレマシタル根據並ニ増產ノ手段方法ヲ詳細ニ承リタイト存ジマス
○井野國務大臣 昭和十八年秋蠶及ビ夏秋蠶ノ繭總生産額ヲ六千三百萬貫ト決メマシタノハ固ヨリ現在ニ於キマス蠶絲業ノ特色ノ實體ヲ調査致シマシテ、桑園面積、又養蠶家ノ養蠶ニ對スル氣構ヘ等々考慮致シマシタ結果、其ノ數字ヲ一應目標トシテ掲ゲタノデアリマス、此ノコトハ目標デアリマシテ、ソレニ向ツテ努力ヲスルト云フコトガ、政府トシテ此ノ數字ヲ掲ゲマス狙ヒ所デアリマス、其ノ數字ノ根據等ニ付キマシテハ、各府縣ノ蠶絲課長其ノ他主任官ヲ集メマシテ、各府縣ノソレノ實情、實數ヲ十分ニ檢討シタ上其ノ數字ヲ大體決メタノデアリマス、更ニ其ノ數字の根據ガ御必要デアリマスレバ政府委員カラ御

答辯ヲサセマス
○加藤(知)委員、此ノ數字の根據ニ付テ御答辯ガアリマシタガ、増產ノ手段方法ニ付キマシテ伺ヒタイト思ヒマス
○井野國務大臣 増產ノ手段方法ニ付キマシテハ、先程一應申上ゲマシタ通り、今日養蠶者ノ心理狀態ガ蠶絲業ノ將來ヲ何トナク悲觀シテ、色々手控ヘガ起ツテ居ルト云フコトト、又農村勞力ノ關係カラ是ガ減少ヲ見テ居ルヤウナ狀態デアリマスカラ、兎モ角此ノ際養蠶家自體ニ對シテ、蠶絲業ノ將來ハ悲觀スベキモノデナイト云フコトヲハツキリ認識サセマスコトガ、一番私ハ大切デアルト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ先程申シタ通り、各地方ニ參リマシテ其ノ趣旨ヲ傳ヘ、又新聞「ラジオ」等ヲ通ジテ其ノコトヲ能ク養蠶家ニ示シテ居ルノデアリマス、最近養蠶家トシマシテモ是等ノ政府ノ意ノアリマス所ヲ段々ト理解シテ參リマシテ、養蠶家ノ氣分ガ、從來ノ沈滞傾向カラ上昇傾向ニ向ヒツツアル事態ヲ認識シテ居ルノデアリマス、又價格ノ問題ニ觸レテノ御話デアリマシタガ、是等ノ點モ、若シモ今日ノ養蠶經營ガ引合ハスト云フコトデアレバ、是ハ如何ニ氣分ヲ上昇サセマシテモ減退ノ原因トナルノデアリマスカラ、目下其ノ生産費等ニ付キマシテモ色々調査ヲシテ居リマス、其ノ出來上リヲ見マシテ、若シモ不引合ヒデアルト云フ事態デアリマスレバ、之ヲ多少修正致スコト等ニ依リマシテ増產獎勵ノ手段ニ致シタイト考ヘテ居リマス
○加藤(知)委員 私ハ其ノ増產獎勵金ノコトニ付テ御意見ノアル所ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、六十掛ノ繭價ハ他ノ農作物ニ比

較致シマシテ均衡ノ取レスコトハ事實デアルト思ヒマス、養蠶減縮ノ原因ハ色々アルコトヲ先刻申上ゲマシタガ、此ノ場合繭價問題程重大ナルモノハゴザイマセヌ、故ニ私ハ凡ユル機會ニ於テ繭價ノ引上ヲ急務中ノ急務トシテ絶叫シテ居ツタノデアリマス、又大臣ノ御意見ノ存スル所モ豫テ御伺ヒ致シテ居リ、更ニ又此ノ席上ニ於キマシテ其ノ御意見ノアル所ヲ伺ツタノデゴザイマス、ソコデ蠶絲業ノ志氣昂揚ノ鍵ハ——只今モ大臣ガ色々御述べニナリマシタガ、ドウシテモ私ハ繭價ノ引上ト云フコトガ一番重要ナ鍵ヲ握ツテ居ルモノデアルト考ヘルノデアリマス、併シナガラ其ノ繭價モ政府ノ方デ色々御事情ガアリマシテ、養蠶業者ノ希望スルガ如ク十分ニ引上ゲルコトガ出來ナイト云フヤウナコトガ若シアリトシマスルナラバ、繭ノ増產上ニ非常ナ影響ノアルコトハ言フマデモナイコトデゴザイマスカラ、他ニ何ントカ方法ヲ講ゼナケレバナラスコトニナルト思フノデアリマス、ソコデ最近或ル人ノ調査ニ依リマス、蠶絲統制會社ノ生絲取扱手数料ヲ半減シ、絹織物加工賃並ニ其ノ販賣手数料ヲ半減致シマシテ、繭元養蠶家ニ還元スレバ、約一貫目當リ二圓位ノ獎勵金ハ優ニ生ミ出セルト云フ計算デアアルノデアリマス、更ニ養蠶ノ副産物タル桑條皮ヤ蠶蛹ノ利用價值ヲ認メマシテ、之ヲ養蠶家ニ還元致シマスレバ、四、五十錢ヲ加算スルコトガ出來ルノデアリマス、斯クスルコトニ依リマシテ、繭ノ公定價ヲ現在ノ六十掛トシテ据置ニ致シマシテモ、一貫目當リ二圓乃至二圓五十錢ハ養蠶家ノ増產獎勵金トシテ捻出スルコトガ出來ルト云フコトデアリマス、政府ガ眞ニ六

千三百万貫ノ原料繭ヲ確保サセネバナラヌト云フコトナラバ、此ノ位ノコトハナサレテモ宜イデハナイカト云フ意見ヲ持ツテ居ル者ガ相當アルノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○井野國務大臣 繭價ノ値上ゲニ關聯致シマシテ、生産獎勵金ノ問題ヲ御尋ネニナリマシタガ、現在デモ蠶絲統制會社ニ於キマシテ二掛程度ノ獎勵金ハ出シテ居ルノデアリマス、之ヲ今二圓ナリ或ハソレ以上出ス餘地ガアルデハナイカト云フ御意見デアリマシタガ、蠶絲統制會社ガ積立金ヲ持ツト云フコトハ、元々養蠶經營ノ上ニ於ケル所謂安定資金デアリマシテ、將來養蠶經營ノ上ニ於テ色々ノ不安ノ生ジタ時ニ、成ルガケ自治的ニ之ヲ積立テテ置イテ、ソレヲ利用スルコトニ依ツテ蠶絲業ノ安定性ヲ圖ツテ行クト云フコトアルノデアリマスカラ、一時的ノ採算ノ上ニ於テ算盤ガ採レル、採ナレイト云フ問題ノ爲ニ之ヲ崩シテ行クト云フコトハ、本來ノ趣旨ニハソグハナイノデアリマス、又今ノ御計算ハ、今日ノ蠶絲業ヲ其ノ儘ノ狀態ニ置イテ、所謂長纖維繭ガ相當ノ需要アリトシテノ御計算デアリマススケレドモ、今日石炭ノ事情、電力ノ事情等カラ勘案致シマス、今後ノ蠶絲業ト云フモノハ長纖維ヨリハ寧ロ短纖維ニ重心ヲ置イテ進ンデ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウナツテ參リマス、今御話ノ積立金ト云フ問題ハ非常ニ性質ガ變ツテ來ルノデアリマシテ、果シテソレダケノ獎勵金ヲ出ス餘地ガアルヤ否ヤト云フコトガ、餘程考慮シナケレバナラヌ問題ニナツテ來ルノデアリマス、隨テ繭價ノ問題ニ付キマシテハ是等ノ諸事情ヲ十分ニ

勘案致シマシテ、此ノ春繭ノ繭價決定ニ當リマシテハ考慮致シタイト云フコトヲ先程來申上ゲテ居ル次第デアリマス

○加藤(知)委員 次ニ養蠶製絲一體ガ増産ニ役立ツト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、繭減産ノ顯著ナル實情ニ鑑ミマシテ、農林大臣ハ政府ノ蠶絲業ニ對スル方針ヲ明示セラレ、繭増産ノ必要ヲ要請スベク各地ニ陣頭指揮ヲセラレテ居ルコトハ只今ノ御話中ニモゴザイマシタガ、何レ繭價ノ問題ニ付キマシテモ親心ノ存スル所ヲ御示シ下サル時ガアラウト思フ、ソレハドウカ成ルベク早く、時機ヲ失セズニ御示シ下サルヤウニ御願ヒヲ致シタイ、ソコデ一面繭價ヲ引上ゲルトカ或ハ獎勵金ヲ出ストカト云フヤウナ對策ヲ立テルト同時ニ、他面最モ大切デアルト思ヒマスコトハ、蠶絲業統制法ニ依ツテ製絲業者ト養蠶地盤割當ヲ最モ明確ニシテ、産繭割當數量ヲ製絲業者ニ責任ヲ持タセルコトデアラウト存ズルノデアリマス、換言スレバ養蠶地帯ト製絲家トヲ完全ニ結び付ケ、其ノ地帯地區ノ産繭増減ニ依ツテ生ズル利害ヲ、量的方面ヨリモ、質的方面ヨリモ、製絲、養蠶一體化セシムルコトガ最モ效果ガアルト信ズルノデアリマスガ、之ニ對シテノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ、御伺ヒシタイト存ジマス

○井野國務大臣 増産確保ノ爲ニ、養蠶家ト製絲家トノ地盤關係ヲハツキリ決メルト云フコトハ、私モ大切ナ問題デアルト思ヒマス、從來ノヤウニ特約關係ニアリマシタ場合ニ、其ノ生産上ニ與ヘタ良イ點ニ付テハ十分ニ政府トシテモ考慮致シテ居ルノデアリマシテ、今日蠶絲統制會社ガ出來マシテ、一應形ノ上ニ於テハ養蠶ト製絲トノ繋ガリハ中斷セラレテ居リマスケレドモ、實際ノ運轉ノ上ニ於テハ、兩者ヲヤハリ結び付ケテ、サウシテ適當ナル指導ヲシテ行クコトガ適切デアルト私モ考ヘテ居リマス、唯今日先程モ申上ゲマシタ通り、製絲業自體ニ於テ餘程大キナ變革ヲ考ヘナケレバナラス時期ニ到達シタノデアリマス、隨テ短纖維、長纖維ノ關係カラ考ヘマシテ、如何ナル繭ヲ何處ニドウ割當テルカト云フコトニ付テハ、早急ニ之ヲ決定シ難イ色々ナ事情モアリマス、隨テ一應決定シ得ルモノニ付テハ既ニ割當モ致シマシテ、今加藤君ノ御述ベニナリマシタヤウナ方針デ指導ヲ致シテ居リマス

在ノ蠶絲統制會社ヲシテ製絲業、即チ短纖維工業モ加ヘタ製絲業ヲ直營セシメ、國家ノ管理ニ移スベシト思フノデアリマスガ、之ニ對スル大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ

○井野國務大臣 蠶絲業ノ統制ニ付キマシテハ、「アメリカ」ノ資金凍結ヲ見透シマシテノ政府ノ對策ハ既ニ立チ得タノデアリマス、サウシテ今日ハ日本中央蠶絲統制會社ヲ中心トシマシテ、繭價並ニ絲價ノ安定ニ資シテ參ツテ居ルノデアリマシテ、政府トシテハ是レ以上深く突込シテ、實ハ蠶絲業ニ對スル色々ノ施策ヲ致ス氣持ヲ持ツテ居ナカツタノデアリマス、然ルニ最近石炭、電力等ノ關係カラ、又産繭ノ減少ト云フヤウナ事態カラ、製絲業自體ニ於テ此ノ儘デハ進ミ得ナイ事態ガ發生シテ參ツタノデアリマス、隨テ是等ノ事態ニ即應スル製絲業者ノ態度トシテハ、私ハ自治的ナ解決策ヲ作ラルコトヲ切ニ希望シマシテ、製絲業者ニ向ツテモ、政府ハ餘リ積極的ニ國策會社ヲ作ツタリ、或ハ國家管理ヲスルト云フヤウナコトデナシニ、業者自體ガ此ノ事態ニ即應シテノ整備統合ト云フモノヲ考ヘラレタラ宜イダラウト云フコトヲ勸奨致シマシタ結果、最近ニ於キマシテ製絲業者各位モ時局ノ認識ニ十分徹底シテ參リマシテ、何トカ自分等デモシナケレバナラヌト云フ氣持カラ、是ガ整理合同ニ對シテ斡旋方ヲ政府ニ依頼シテ參ツタノデアリマス、ソコニ於テ私トシマシテモ此ノ問題ヲ取上ゲ、サウシテ製絲業者各位ノ御集リヲ願ツテ能ク懇談ノ上、如何ナル方向ニ向ツテ之ヲ解決スルガ宜イカト云フコトヲ御相談シヨウト云フ手順マデ今日出來テ居ルノデ、今直

チニ之ヲ國家管理ニ致ストカ、或ハ蠶絲統制會社ヲシテ直營セシムルト云フ氣持ハ持タナイノデアリマス、其ノ理由ハ結局斯ウ云ツタ製絲業ト云フヤウナ特殊ナ事業ニ付キマシテハ、ヤハリ其ノ事業家自體ガ之ヲ經營スルコトガ適當デアリマシテ、役人ガ之ヲ經營シタリ、或ハ統制會社トシテ之ヲ經營スルト云フヨリハ、寧ロ能率ノ上カラ行ツテ、又經營上ノ採算ノ上カラ行キマシテ、業者自體ニ委セル方ガ適當デアルト考ヘテ居リマスガ故ニ、現在ノ方針ヲ踏襲シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤知委員 次ニ私ハ蠶絲統制會カラ蠶絲業ヲ除外セラレタ理由ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、戰時下食糧政策ト相俟ツテ、纖維政策ノ重要性ニ基キテ纖維ノ生産、配給、消費等ニ付キ統制會ガ誕生シタノデアリマス、サウシテ其ノ内容ヲ見ルト、綿「ス・

フ」統制會、人絹統制會、麻統制會、羊毛統制會ノ四本建トナツテ居リマシテ、其ノ相互連絡機關トシテ纖維統制協議會ヲ設ケ、一貫一元統制ヲスル仕組デアルノデアリマス、然ルニ國內自給纖維トシテ最モ重要性ヲ有スル蠶絲業ガ除外セラレテ居ルノハ如何ニモ不可解千萬デアルト思フノデアリマス、言フマデモナク海外依存カラ脱却シタル、我ガ蠶絲業ハ、國外ヨリ其ノ原料ノ輸入ヲ仰イデ居ツタ纖維資源ト其ノ趣キヲ異ニ致シマシテ、今ヤ纖維資源ノ中核ヲナシ或ハ軍需資材トシテ、或ハ一般民衆被服資材トシテ、贅澤品ノ域ヲ離脱シテ、専ラ實用化スル爲ニハ、他纖維ト混絲、混紡、混撚シテ能ク其ノ使命ヲ果サネバナスト信ズル際、蠶絲類ヲ統制會ヨリ除外スルコトハ、國家ニ於ケル纖維資源一貫統制上カラ

見テモ宜シクナイト思フノデアリマス、蠶絲業ニハ日本蠶絲統制會社ガアルカラ差支ヘナシトスル說モアルヤウダガ、是デハ纖維統制ノ國家的大キナ流レカラ除外サレテ、生産、消費、配給上不利不便此ノ上モナイコトデ、蠶絲ト絹業トハ現在農林省ト商工省トニ別レテ居ルノデ、當業者ノ迷惑ハ一方ナラヌモノガアルノデアリマス、ノミナラズ蠶絲業ハ商工省方面ニ於絲業デ、兎モスレバ繼子扱ヒサレテ居ル感ガ深い、冷遇ヲ受ケテ居ル感ガ深いノデアリマス、吾々ノ希望ハ蠶絲絹業統制會トシテ現在ノ纖維統制協議會ヲ五本建トスルノガ妥當ト思フノデアリマス、之ニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○井野國務大臣 纖維統制會ノ中ニ蠶絲關係ガ入ツテ居ナイノハ遺憾デアルト云フ御話デアリマスガ、統制會ト云フモノハ元々其ノ物資ニ付テノ統制ヲ必要ト致シマスカラ出來ルノデアリマス、蠶絲ニ付キマシテハ既ニ蠶絲統制株式會社ガ出來テ居リマシテ、茲ニ立派ナ統制ガ行ハレテ居リマス、隨テ之ヲ纖維統制會ノ中ニ加ヘル必要ハ少シモアリマセヌノデ、其ノ中ニ入ツテ居リマセヌガ、唯蠶絲ガ織物トシテ、即チ絹織物トシテ需要セラレ、又或ハ短纖維トシテ綿紡ナリ、羊毛工業ノ中ニ材料トシテ使ハレタ場合ノ織物トシテノ統制會ハ、是ハ纖維統制會ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマス、而モ農林省ト商工省トハ自ラ蠶絲織物ニ付テハ所管ヲ異ニシテ居リマスケレドモ、此ノ連繫ニ付キマシテハ今日ニ於テハ極メテ密接ナル連絡ヲ取ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ間ニ毫モ業者ニ御迷惑ヲ掛ケルヤウナ事態ハ、私ハナイト信ジテ居リマス、

又何カ問題ガアリマシタラバ、商工大臣ト直接ニ話ヲ致シマス、最近ニ於キマシテハ極メテ適切ナ處理ヲ致シテ居ル積リデアリマス

○加藤(知)委員 次ニ私ハ蠶絲絹業ノ一貫行政ト云フコトニ付テ御伺ヒシタイト存ジマス、國內ニ於ケル纖維資源ノ確保ト共ニ、東亞共榮圈交易資材トシテ蠶絲絹業ノ愈々重要性ヲ加ヘテ來タルハ政府屢々ノ聲明ノ通りデアリマス、而モ蠶絲ガ國家衣料トシテ、又共榮圈被服政策ノ一環トシテ其ノ使命ヲ果スニハ、成品タル纖維ト絶對切離スコトノ不可能ナルコトハ、技術的ニモ經濟的ニモ然リデアリマス、然ルニ蠶絲業者自體ノ罪カ、行政官廳ノ繩張り關係カ知リマセヌガ、養蠶ト製絲ヲ農林省ノ所管トシ、絹織物工業ハ商工省ニ屬シ、中斷切レ切レノ行政ノ下ニアルガ爲メ、蠶絲業關係ノ不便不利甚ダシイモノガアルノデアリマス、元來繭ハ纖維トスベキモノ、纖維ハ織物ノ要求ニ從ツテ作ルベキモノデ、一貫共通ノ技術經濟ニ依ツテ生産發展シ得ルモノデアリマスガ、行政的ニ中斷サレテ居ルコトハ、迷惑此ノ上ナイ次第デアルト言ハナケレバナリマセヌ、新シイ研究ニ依ル短纖維ヤ、絹毛生絲ヤ、特殊生絲等ノ掛聲ノミ大ニシテ、其ノ實ノ比較的ニ舉ラザルハ其ノ爲メデアルト存ジマスガ、政府ハ蠶絲絹業ヲ一貫行政所管ニ置ク所ノ御考ヘハナイノデアアルカ、此ノ點ニ付テ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○井野國務大臣 蠶絲ト絹織物トノ行政ヲ一元化スルト云フコトハ、ソレ自體カラ見マスレバ、極メテ適切デアアルカモ知レマセヌ、併シ織物ト云フモノハ今日生絲ノミガ原料ニアラズシテ、或ハ羊毛、或ハ「スフ」、人絹、綿布、綿絲ト云フヤウナ事態ニアルノデアリマシテ、ソレ等ノ行政ガ商工省ニ今日アリマスル以上、蠶絲關係ダケノ絹織物ヲ取ツテ來テ農林省ノ一貫行政ニスルト云フコトハ、私ハ不適當デアル思フノデアリマス、全體ニ纖維工業ヲ一貫シタ一ツノ産業官廳トシテ取扱フト云フコトニナルコトハ、是ハ研究問題デアリマスケレドモ、絹織物ダケヲ離スコトハ不適當デアルト考ヘマス、又今日必ズシモ一元行政機構ヲ以テシマセヌデモ、先程申シタ通り農林商工トハ極メテ密接ナル關係ニ於テ、其ノ行政ノ運営ヲ致シテ居リマスカラ、此ノ機會ニ於テ徒ラニ行政機構弄リヲシナケレバナラヌト云フ程ノ必要ヲ感ジテ居リナイノデアリマス

○加藤(知)委員 左ニ私ハ蠶絲絹業ノ研究機關ノ擴充ニ付テ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス、我ガ蠶絲業ハ今ヤ對米依存ヲ脱却シ、品質的ニモ大變革ヲ必要トセラレ、價格的ニモグント引下ガラレナケレバ、軍需用ニモ大衆實用向ノ纖維製品トシテ、存在スルコトガ困難トナツテ來タノデアリマス、其ノ國家的要請ニ應ヘル爲ニハ、蠶絲絹業ノ全般ニ互ツテ養蠶、蠶種、蠶絲、織物ハ言フニ及バズ、其ノ副産物ノ利用等ニ付テ、高度ノ科學技術研究ヲ絕對ニ必要ダト思フノデアリマス、殊ニ現在程度ノ研究設備機關ヲ以テシテハ、蠶絲ノ價格引下ガノ研究モ、軍需資材トシテノ研究モ到底十分ナル結果ハ得ラレナイト思フノデアリマスガ、之ニ付テ政府當局ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 蠶絲關係ノ生産品ガ或ハ

軍需資材トシテ、或ハ民需トシテ需要サレマスルニ於テ、出來ルダケ價格ヲ引下グルト云フコトガ今日ハ必要デアリマス、其ノ爲ニ調價ノ問題モ俄カニ値上ガガ中々困難デアル、寧ロ生産費低下ノ方ニ向ハネバナラヌト私等モ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ意味ニ於キマシテ、蠶絲生産物ノ利用ノ高度化ト云フコトニ付テハ、農林省モ色ノ豫算ヲ取りマシテ、是ガ研究ニ當ツテ居リマスシ、今日蠶絲試驗所ガ中心トナリマシテ、サウ云ツタ問題モ研究ヲ致シ、又先般大日本蠶絲會ガ蠶絲科學研究所ト合併致シマシテ、是ハ民間ノ資金ヲ以テ設立セラレテ居ルモノデアリマスガ、其ノ研究所ニ於キマシテモ、今加藤君ノ御述ベノヤウナ問題ヲ取上ゲテ、大イニ研究ヲ致サウトシテ居ルノデアリマス、而モ蠶絲試驗所ノ所長ト、今ノ蠶絲科學研究所ノ所長トヲ兼務セシメマシテ、其ノ指導ノ二途ニ出デナイヤウニ致シ、以テ蠶絲業ノ利用高度化ニ付テハ、極力努力致シテ居ル次第デアリマス

○加藤(知)委員 次ニ私ハ現行ノ生絲検査ニ付テ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、現行ノ生絲検査法ニハ、輸出検査及ビ國用検査ニ依ル甲乙制度ガ設定セラレ、事實上數本建テノ検査ガ實施セラレテ居リマスガ、是ハ明カニ生絲貿易ノ可能ナ時代ノ遺物デアツテ、殆ド輸出生絲ノ全部ヲ舉ゲテ國內需要ニ充テガハナケレバナラナイ今日ニアリマシテハ、現行検査法ノ如キハ害アツテ益ノナイコトダトサヘ言ツテ居ル者ガアルノデアリマス、今日機械方面デハ國民衣料確保ノ爲メ全面的ニ指定生産ニ移行セントシテ居リマスルガ、サウシタ情勢ニ即應スル爲ニハ、舊時代ノ遺物タル輸出生絲ヤ、時局

ニ即應セザル検査ヲ一擲シ、簡明ナル一元の検査方法ヲ確立シテ、以テ勞力資材等ノ無駄ヲ省クコトガ急務デアルト考ヘラレルノデアリマスガ、政府當局ハ之ヲ如何様ニ御考ヘデアリマセウカ、又是ガ検査法改訂ニ當リマシテハ地方十二箇所ノ生絲検査所ト、横濱、神戸ノ兩検査所ヲ活用シ、検査階段ヲ簡單ニシテ、各検査所ヲ中心ニ集荷ト配給トヲ明確且ツ圓滑ニ運營セシメ、二重三重ノ無駄輸送ヲ排除シ、輸送國策ニ寄與セシメナケレバナラヌト考ヘマスガ、此ノ點ニ付テ政府當局ハ如何様ニ御考ヘデゴザイマセウカ、又輸出生絲ノ價格ノ問題デアリマスガ、是ハ輸出生絲検査法ノ撤廢スレバ問題ハ自ラ消滅スルト思ヒマスガ、輸出生絲價格ノ問題ガ如何ニ業界ノ混亂ヲ招來シテ居ルカト云フコトハ、當局ハ能ク御存ジデアラウト思フノデアリマス、即チ現在國用生絲ハ公定價格デ取引セラレ、輸出生絲ハ國內ニ向ツテモ其ノ賣買値ハ自由ニ放任セラレ、機業家ハ一俵千四百八十圓ノ國用生絲ト同格ノ生絲ヲ輸出生絲ナルガ爲ニ千七百二十圓デ購入シ製織サセザルヲ得ナイト云フ實情ニアルノデアリマス、隨テ輸出生絲ノ撤廢ハ低物價政策ノ上カラ見テモ、刻下ノ急務デアルト考ヘラレルノデアリマスガ、政府當局ハ如何様ニ之ヲ御考ヘデゴザイマセウカ、以上三點ニ付キマシテ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井野國務大臣 先ヅ第一ノ生絲検査ノ改正問題デアリマス、生絲ノ需用ガ輸出向ヨリ國內向ニ主トシテ轉用セラレテ參リマシタ今日、固ヨリ検査ノ内容ヲ改正シマスコトハ當然デアリマス、政府トシマシテモ其

ノ趣旨デ最近二三度改正ヲ致シタノデアリマス、併シ尙ホ今日ノ事態ニ於テ、今後ノ蠶絲業ノ所謂需要方面ノ變化ニ伴ツテ、其ノ検査モ自ラ色々變ヘテ行キタイト思ツテ居リマス、現ニ短纖維ノ需要ニ即シマシテ、短纖維ノ検査ヲ今度生絲検査所ノ検査ノ中ニ加ヘマシタノモ其ノ一端デアリマス、兎モ角生絲ノ需要ニ應ジマシテ、検査ノ問題ハ色々考慮ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス、第二ノ検査ヲスル場合ニ於テ横濱、神戸兩検査所並ニ府縣所在ノ検査所トノ間ノ連繫ヲ保ツテ、輸送上ノ重複ノナイヤウニト云フ御話モ、是ハモウ洵ニ御尤モナ御意見デアリマス、政府モ只今加藤君ノ御意見ノヤウニ指導ヲ致シ、又運用ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、第三ノ輸出生絲ガ取引市場ニ於テ自由ニ販賣サレマス爲ニ生ズル各種ノ弊害ニ付キマシテハ、色々私モ伺ツテ居リマス、非常ニ面白クナイ現象モ聞イテ居リマスツデ、是ガ改善ニ向ヒマシテハ蠶絲當局ヲシテ、出來ルダケ適宜ノ手段ヲ講ゼシメ弊害除去ニ努メツツアル次第デアリマス

○加藤(知)委員 最後ニ私ハ農林大臣ニ此ノ際支那ノ蠶絲業ニ付テ如何ナル御所見ヲ持ツテオイデニナルカト云フコトヲ伺ヒタイと思ヒマス、支那ハ大東亞共榮圈內ノ一角デアツテ、日支經濟同盟、日支文化同盟、日支軍事同盟等ノ出來テ居ル今日、獨リ支那ノ蠶絲業ノミヲ敵國扱ヒスル譯ニハ行キマセス、殊ニ纖維鐵罐ハ我が國バカリデナク、大東亞共榮圈內全體ヲ通ジテノコトデアツテ見マスレバ、日支ノ蠶絲業ハ寧ロ相提携シテ此ノ纖維鐵罐ヲ救ハナケレバナラヌ實情ニアルト思フノデアリマス、斯様ニ

考ヘマスレバ、日本ノ蠶絲統制會社ト支那ノ華中蠶絲會社トハ打ツテ一丸トナス必要ハナイノデアラウカ、ソレトモ現在ノ儘ニ放任シテ置ク方ガ宜イト御考ヘデアアルノデアリマスガ、大東亞共榮圈內ノ蠶絲大政策ノ樹立ニ付テ農林大臣ハ如何ナル御所見ト御抱負ヲ持ツテオイデニナルカ、之ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○井野國務大臣 支那ノ蠶絲業ニ付キマシテハ、事變前カラ「アメリカ」輸出ヲ目的トシテノ兩國ノ無統制ナル競争關係ガ起ラスヤウニト云フ意味ニ於テ、色々ノ手段ヲ講ジテ參リマシタガ、今日ハ今御述ベノ如ク事情ガ全ク一變シマシテ、大東亞共榮圈內ニ於ケル纖維不足ノ實情カラ見テ、日支共ニ此ノ蠶絲業ニ相提携シテ其ノ業ノ繁榮ヲ圖ツテ行クコトガ適切デアルト考ヘテ居リマス、隨テ其ノ指導方針ノ下ニ、今後モ支那ノ蠶絲業ニ付テハ臨ンデ參リタイト考ヘテ居リマスガ、唯蠶絲統制會社ト華中蠶絲會社トノ問題ニ付キマシテハ、是ハ色々別個ノ事情ガアリマシテ、今直チニ之ヲ統合スルトカ、或ハ連絡關係ヲ緊密ニスルトカ云フヤウナ問題ニハ入り得ナイ事情ガアリマスツデ、唯此ノ際ニ於テハ今申上ゲタヤウナ方針ニ基イテ、適當ナ處置ヲ講ジテ參リタイト考ヘテ居リマス

○加藤(知)委員 蠶絲關係ニ付テ尙ホ色々御伺ヒシタイコトガゴザイマスケレドモ、此ノ邊デ打切ルコトニ致シマシテ、先刻森部委員トノ質問應答中ニ、今回酒ガ値上リニナルケレドモ、農村ニ對シテハ現在通りノ安イ酒ヲ飲マセルヤウニ致スベク大藏省ト御交渉中ト云フヤウニ伺ヒマシタ、洵ニ結構ナコトト思ヒマス、農村ノ者ガ之ヲ聞

キマシタラバ、サツ喜ブコトデアラウト
思ヒマスシ、必ズヤ一生懸命ニ食糧増産ニ
邁進スルコトデアラウト考ヘルノデアリマ
ス、唯併シナガラ安イ酒ヲドウ云フ方法ニ
依ツテ振向ケラレルノデアリマス、其ノ
ヤリ方如何ニ依リマシテハ横ニ流レテ、折
角安イ酒ヲ飲マウト思ツテモ、農家ノ手ニ
ハ入ラヌヤウナコトニナル場合ガ起リハシ
ナイカ、偶、入リマシテモ水同様ノモノガ
入ルヤウナコトニナリハシナイカ、私ハ現
在ノ實情カラ之ヲ考ヘマシテ、左様ナコト
ガ憂慮サレルノデアリマス、此ノ點ニ付テ
ハ十分ニ御留意下サイマシテ、左様ナコト
ノナイヤウニ願ヒタイと思ヒマスガ、唯一
ツ茲ニ酒造米ノコトニ付テ、甚ダ遺憾ナコ
トガアリマスカラ、ソレヲ一ツ申上ゲテ見
タイト思ヒマス、ソレハ最近我が新潟縣下
ニ起ツタ一ツノ新事實ナノデアリマスガ、
今マデハ自村ノ倉庫ノ中ニ在ル酒造米ヲ直
チニ使ツテ居リマシタカラ、雨が降ラウト
雪ガ降ラウト、一向差支ヘナク十分酒造ハ
ヤレタノデアリマス、所ガ今度配給ト云フ
コトニナリマシテ、ドウ云フコトニナツタ
カト云フト、自分ノ村ノ倉庫ノ酒造米ヲ使
フコトガ出來ナクテ、五里モ十里モ先ノ他
村ニ在ル倉庫ノ酒造米ヲ持ツテ來ナケレバ
酒ヲ造ルコトガ出來ナクナツタノデアリマ
ス、所ガ雪ガ降ツテモウ其ノ村カラ持ツ
テ來ルコトガ實際ニ於テ出來ナクナツタノ
デアリマス、自村ノ倉庫内ニ酒造米ハ、チ
ヤントアリナガラソレヲ使フコトガ出來ナ
イ、ソコデ何トカ自村内ノ倉庫ノ貯藏米ヲ
使ハセテ貰ヒタイ、雪ノ消エタ時ニ他村ノ
倉庫カラ持ツテ來テ其ノ補ヒヲ付ケルヤウ
ニシテ貰ヘスカト縣當局ニ願ヒマシタガ、

ソレヲスルニハ其ノ手續ヤ其ノ他ノコトデ
二、三十日掛ルト云フコトデ、左様致シマ
スト事實上大事ナ酒造ノ時期ヲ失ツテシマ
ヒマスノデ、涙ヲ吞ンデ本年ハ酒造ヲ中止
シタノデアリマス、折角酒ヲ飲マシテヤラウ
ト云フ農林大臣ノ其ノ御親切ハ洵ニ有難イ
話デアリマスガ、酒造ガ出來ナクナツテハ、
安イ酒モ何モナイコトニナリマス、斯様ナ
コトハ酒造米ノ配給上ノ不備缺陷トデモ申
シマセウカ、實ニ譯ノ分ラナイ配給ノヤリ
方デアルト考ヘラレルノデアリマスガ、斯
様ナコトハ何トカ之ヲ是正スルコトガ出來
ナイモノデアリマセウカ、幸ニ此ノ點ニ付
テ御伺ヒスルコトガ出來レバ洵ニ結構ダト
思ヒマス

○井野國務大臣 酒ノ配給ニ付キマシテ今
色々御心配ノ點ガアリマシタガ、無論政府
カラ農村用ノ酒トシテ配給シマス場合ニ於
テハ、農民ニ之ガ公平ニ渡リマスコトニ付
テハ十分大藏省トシテモ善處スルコトト信
ジテ居リマス、又酒造米ニ付キマシテ今御
話シノヤウナ事例ハ、私モ今初メテ伺ツタ
ノデ、若シモサウ云フコトガアルトスレバ、
洵ニ私モワカシナ話ダト思ヒマス、ドウ云
フ積リデ居村ニアル米ヲ使ハナイデ隣村カ
ラ持ツテ來サセタカ、若シ事情ガ分リマシ
テ、ソコニ色々配給上ノ都合ナコトガアリ
マスレバ、十分ニ私共トシテモ直サセタイ
ト思ヒマス、唯酒造米ノ配給自體ガ全國ガ
ソナ風カト御推定願フト、是ハ私ハ違フ
ト思ヒマス、全國的ニハ酒造米配給ニ付テ
ハサウ云フ不平ヲ聞イテ居リマセスカラ、
加藤君ノ近クニ於テ行ハレタ事例ニ付キマ
シテ、若シモ具體的ニ色々ノ點ガ分リマシ
タラ、十分、私共調ベテ見マス

○加藤(知)委員 私ノ質問ハ之ヲ以テ終リ
ト致シマス

○東郷委員長 平野力三君

○平野委員 大體本會議ニ於キマシテ大綱
ノ質問ヲ申上ゲマシテ農林大臣ヨリ御答辯
ガアツタノデアリマスガ、尙ホ掘リ下ゲマ
シテ相當本案ニ對スル疑問ノ箇所ガアリマ
スノデ、此ノ委員會ニ於テ御伺ヒヲ致シタ
イト思フノデアリマス

先ヅ第一ニ、本案ノ内容ト致シマシテ、
例ヘバ第十條、四十一條、四十二條、四十三
條等ニ用ヒテアリマスル言葉ニ「農業ノ整備
發達」ト云フ字句ガ屢、使ツテアリマス、此ノ
「農業ノ整備發達」ヲ圖ル爲「云々」ト云フコトガ
各處ニ謳ハレテ居ルノデアリマスルガ、農
林大臣ハ此ノ法案運用上ニ當リ、整備發達ト
ハドウ云フコトヲ具體的ニ考ヘテオイデニ
ナルカ、御伺ヒ致シタイノデアリマス、例
ヘバ交接分合デアルトカ、或ハ自作農ノ創
定デアルトカ、或ハ共同作業デアルトカ、
或ハ農村ニ起リマスル所ノ小作問題ノ紛議
ノ調停デアルトカ云フヤウナ問題ヲ處理ス
ルコトヲ以テ整備ト考ヘラレテ、本法案ガ
通過致シマシタ曉ニハ農業團體ガ是等ノ
問題ニモ相當觸レル、斯ウ云フ御考ヘデア
ルカドウカ、ソレカラ農業ノ發達、此ノ發
達ト云フ言葉ノ意味ニハ、反當收入ヲ増加
スルト云フヤウナコトニ對スル技術上ノ問
題ヲ含シデ居ラレルノデアルカ、或ハ農業
ト云フモノガ其ノ單位勞働ニ對シテ相當引
合フヤウナ採算ノ立ツ農業ニ引上ゲテ行ク
ト云フヤウナコトヲ以テ發達ト考ヘテ居ラ
ルルノデアルカ、或ハ唯前後ノ關係上漫然
ト「農業ノ整備發達」ト云フ言葉ガ用ヒラレ
テ居ルモノデアルカ、此ノ點ヲ一ツ明カニ

願ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 農業團體法ノ中ニ、農業
團體ノ目的トシマシテ「農業ノ整備、發達ヲ
圖ル」ト云フコトガアル、其ノ意味ニ付テ
ノ御質問デアリマスガ、是ハ固ヨリ今平野
君ノ御話ノ通り、今後皇國農村ヲ確立促進
シマシテ、立派ナ農村ニシテ行クト云フ爲
ニ、一面此ノ國策ニ即應シテ、農業團體モ
農村ノ整備——農村ノ整備ト申シマスレバ
色々ナヤリ方ガアルト思ヒマス、例ヘバ自
作農創定モ其ノ一ツデアリマセウシ、又有
畜農業モサウデアリマセウシ、耕地ノ分合
等モサウデアリマセウシ、唯小作調停等ヲ取
扱フカドウカ、マダ私共ハツキリ決メテ居
リマセヌケレドモ、兎モ角サウ云ツタ所謂
皇國農村ヲ確立促進シテ參リマス上ニ於テ
ノ整備ヲ國策ニ即應シテヤツテ行クト云フ
意味デアリマス、又發達ノ中ニ、今御話ノ
ヤウニ生産費ヲ下ゲテ農業經營ヲ有利ニシ
テ行クト云フモノモ入ルカト云フ御話デア
リマスガ、無論サウ云フ問題モ入ルト思ヒ
マス、又農業經營ヲシテ米麥耕作ヲ、例ヘ
バ甘藷或ハ其ノ他ノ雜穀栽培ニ替ヘルコト
ニ依ツテ、寧ロ農業經營ヲ有利ナラシメル
場合モアリマス、サウ云フ技術的ノ指導、
又甘藷耕作ニ付キマシテモ、技術的指導ニ
依リマシテ、相當反當收量ヲ殖ヤシ得ルコ
トモアルノデアリマス、サウ云ツタ指導モ
無論發達ノ中ニ入ルト考ヘテ居リマス

○平野委員 大臣ノ御答辯ハ大體御答辯ト
シテ諒承スルノデアリマスガ、モウ少シ實
際問題ニ付テ問ハントスルノハ、然ラバ此
ノ農業團體ガ出來マシテ、其ノ團體ガ農業
ヲ整備スル、斯ウ云フコトニ付テ只今ノ御
說ニ依ルト、交換分合、自作農創定、斯ウ

云フコトが大體ニ入ルノダ、斯ウ云フ御説デアツタノデアリマス、ソレハ皇國農村ト云フ問題ニ付テ豫算ヲ組シテオイデニナルコトモ分リマス、又後程之ニ付テハ特ニ承ルノデアリマスガ、此ノ團體ガ帝國農會、産業組合其ノ他ノ團體ノ單ナル合併デハナクテ、新シイ農業ノ指導ヲ以テ立ツト云フノデアラナラバ、此ノ團體ガ出來テ、此ノ團體ガ中心トナツテ交換分合ノ事務ヲヤル、又自作農創定ニモ本當ニ乗出シテ行ク、斯ウ云フコトデアルノカ、交換分合トカ自作農創定トカ云フヤウナコトハ、農業問題ノ大本ニ於テ決マツテ居ルカラ、此ノ團體モ其ノ時々ニ應ジテ然ルベクヤルト云フノカ、其ノ點ヲハツキリシテ戴キタイ

○井野國務大臣 新農業團體ノ機構ナリ目的ヲ申上ガマシタ際ニ、所謂農民ノ創意ト責任トニ於テ其ノ總力ノ結集機關トシテ之ヲ導イテ參リタイト申上ガマシタル以上、新農業團體ハ單ナル農會、産業組合ノ合併ダケデハアリマセヌ、新シク大キナル使命ヲ以テ國策ニ即應シテ、今日ノ農村ヲシテ整備發達ヲサシテ行クト云フ施策、國策ニ呼應シテ色々ノ事業ヲヤツテ行クコトニナラウト思ヒマス

○平野委員 ソコデ御伺ヒ致シマスガ、既ニ他ノ議員ノ方々カラモ御質問ガアリ、御答ヘガアリ、又豫算總會等ニ於テモ大臣ハ相當ニ御答ヘニナツテ居ルノデアリマスガ、然ラバ當面ノ問題トシテ一番重要問題デアリ、殆ド政府モ、又民間ノ間ニ於テモ一致ヲ見テ居ル所ノ自作農創定、是ハ農林大臣屢、仰シヤル通りデアリマスカラ、此ノ農業團體ヲ御作りニナツテ、農業團體ニモ自作農創定ヲヤラシテ行ク、サウ云フ御意見

デアル、又他ノ手段ニ依ツテモ自作農創定ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ御意見デアルコトモ拜承スルノデアリマス、併シ私ガドウシテモ此ノ議會中ニ大臣カラ明カニ御説明ヲ願フテ、納得ノ行クマデ掘下ゲテ置カケレバナライコトハ、自作農創定ト云フ問題ハ中々言フベクシテ行ヒ難イ、新聞ニ自作農創定主義デ行クノダ、自作農創定ガ國策デアルト云フ理論上ノコトハ何人モ諒承スルノデアリマス、然ラバ現在ノ耕地ノ約半分ヲ占メテ居ル小作地ヲ自作農ニスル手段如何、斯ウ云フコトニナリマス、甚ダ漫然トシテ取止メガナイコトニナツテ參ル、現ニ統計ヲ緝イテ見ルナラバ、明治四十一年ニ百七十萬臺アリマシタ自作農家ト云フモノガ、昭和十四年ニ於キマシテハ百六十萬臺ニ下ツテ居ル、斯ウ云フ現實ノ事實ヲ見マスル時ニ、農林大臣ハ本當自作農創定ヲオヤリニナル手段方法トシテ、今日明カニ吾々ニ言明セラレル所ノ具體的內容ノ範圍ガドノ程度デアルカト云フコトヲ一ツ御示シテ願フテ置キタイ

○井野國務大臣 今日ノ農地政策トシマシテハ、農林省トシテ自作農創定ノ中心ニヤツテ參リタイト云フコトハ私ハ屢、申上テ居リマス、其ノ自作農創定ガ、農林省トシマシテモ、從來色々ノ施策ヲ取ツテ參リマシタガ、色々其ノ手續キノ上ニ於テ、或ハ資金關係ノ上ニ於テ支障ガアリ、十分ノ效果ヲ收メテ居ラナイコトモ、是ハ平野君ノ御述ベノ通りデアリマス、隨テサウ云フ點ヲ今後改善スルコトニ依リマシテ、二十五箇年デアリマシタガ、百五十萬町歩ノ既墾地ノ自作農創定ト五十萬町歩ノ開墾地ノ自作農創定ヲ致シタイト云フ目標ノ下ニ、

資金關係ニ付テハ大藏省トモ、話合ヒ、又手續キ等ニ付キマシテハ、從來ノ縣債或ハ市町村債ノ起債ニ依ラズシテ、金融機關ヲ通ズルコトニ依ツテ其ノ目的ヲ達成シテ行カウト云フコトニ主眼ヲ置イテ、色々ノ施策ヲシテ居ルノデアリマス、平野君ハ此ノ問題ヲウシト掘下ゲテ議論シテ見ナケレバ、中此ノ法案ニ付テノ疑念ガ晴レヌ、斯ウ云フ話デアリマスガ、是ハ平野君ト私トハ度度論ジテ居リマスヤウニ、平野君ノ今日御考ニナツテ居ラレル所カラ論ジテ來マスレバ、ドウ議論シテ見マシテモ私ノヤツテ居ル施策ハ生緩イデアリマセウ、是ハ幾ラ掘下ゲテ見テモ掘下ゲヤウガナイノデ、是ガ私共ガ執ツテ居ル今ノ農地政策ノ最モ適切ナル方法デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ生緩イカラ、然ラバ平野君ノ御議論ノ所マデ飛ンデ行ケト言ハレテモ、是ハ出來ナイ事情ガアリマスカラ、其ノ點ニ於テ色々ニ深く掘下ゲテ戴カナイデ、此ノ程度デ一ツ吞ンデ戴クヨリ仕方ガナイノデハナイカト思ヒマス

○平野委員 此ノ程度ニ於テト云フ大臣ノ御話モ了承シナイ譯デハナイノデアリマスガ、併シソレデハ了承シテアト問ハナイト云フニハ、私ハ此ノ問題ヲ餘リニ重大ニ考ヘテ居ル私ノ立場モ御諒承願ヒタイ、ソコデ私ト致シマシテハ何ト申シマシテモ二十五年間待ツテ百五十萬町歩、是モ既ニ大正十五年以來或ハ二十年計畫、或ハ十五年計畫、其ノ金額ニ於キマシテモ、十億ト云フヤウナモノヲ計上セラレマシテ、吾々ガ之ヲ何時ノコトカト思ツテ待ツタノデアリマスガ、今日ニ至ツテソレハ大臣御言明ノヤウニ成績ハ舉ツテ居ラス、斯ウナルノデア

リマス、ソコデ大臣ニ是ダケハドウシテモ一ツ御伺ヒシテ置カナケレバナライ、ソレハ自作農創定問題ガドウシテ困難デアルカ、又大臣ノ御決心ガ容易ニ決マラナイ理由ガ何處ニ存スルカト云フコトニ付テ暫ク申述ベテ、御所見ヲ問ハントスル次第デアリマス

即チ自作農創定ト云フ問題ガ大正十五年頃我が國ニ起リマシタノハ、是ハ私共農村問題ニ最初ニ關心ヲ持ツタ當時デアリマスカラ、能ク知ツテ居リマスガ、當時ノ爲政者ハ小作爭議ヲ無クスル爲ニ、自作農創定ヲヤラウト云フ御方針デアリマシタ、是ハ恐ラク歴史ヲ緝イテ見テモ間違ヒナイ、詰リ小作爭議ヲ無クスル爲ニ、土地ヲ自作農地ニスル、サウスレバ小作爭議ガ無クナルト云フ考ヘカラヤツテ來タ、是ガ當時ノ自作農創定デアツタ、所ガ今日此ノ大東亞戰下ニ立チマシテ、非常時ノ農林大臣ヲ擔當セラレマス所ノ井野農相ノ自作農創定主義ハ、サウ云フ安直ナモノデアルベキデハナイ、即チ屢、御言明ノヤウニ、皇國農村ヲ建設シ、農村ヲシテ大和民族ノ基地タラシムル所ノ手段トシテ、ドウシテモ農業政策トシテ耕地ヲ耕作スル者ガ所有スル形態ニ日本ノ農村ヲ整備スルノダ、即チ新タナ指導精神ガ茲ニ生レ、新タナ指導精神ニ御立却シ、其ノ指導精神ニ依ツテ忠實ニオヤリニナツテ戴カナケレバナラヌ、ソコデ二十五年モ私共ハ待テヌト云フコトニナル、然ラバ其ノ自作農創定ガ出來ナイ主ナル理由ハ何處ニアルカト云フト、地主ガ中々土地ヲ賣ラス、殊ニ最近ニ於キマシテハ地主ガ中々賣ツテ呉レナイ、是ハ色々農林省ニ於テ交換分合ヲヤラウト思ツテモ、共同耕作

ヲ御指令ニナリマシテモ、色々ノ御指令ヲ御出シニナリマシテモ、地主ガ土地ヲ賣ラナイ爲ニ自作農ガ出來ナイト云フコトニ付テ惱ンデ居リマス町村ハ随分アル、ソコデ農林大臣ハ此ノ地主ガ土地ヲ賣ラナイト云フ此ノ現實ニ對シテ、賣ラナレバ已ムヲ得ナイ、微温的ナ手段デ行クヨリ仕方ナイ、斯ウ云フ所ニ根源ガアルノデアリマセヌカ、或ハソレトモサウデハナイ、モット別個ノ見地ニ立ツテ、自作農創定ヲヤリ難イト云フ見解ガアツテ、私共ノ要求ニ應ジテ戴ケナイノカ、此處ノ點ヲ一ツハツキリ伺ヒタイ

○井野國務大臣 自作農創定ノ根本觀念ニ付キマシテハ、今日ノ農村事情カラ見マシテ、從來ト變ツテ來テ居リマスコトハ、平野君ノ御述ベノ通りデアリマス、恐ラク自作農創定ニ對スル所謂農地問題ニ對スル考ヘ方ハ、平野君ト私ト根本ニ於テハサウ違ヒハナイト思フデアリマスガ、手段ニ於テ非常ニ違フノデハナイカト思フデアリマス、平野君ノ御考ヘハ二十五年モ待テス、一刻モ早ク自作農地ヲ作ラナレバナラス、ソレニハ法律ノ強制ニ依ツテ地主ノ土地ヲ國家ガ持チ、更ニ之ヲ自作農地ニスルノガ宜イト云フ御意見デアリマス、是モ一ツノ御意見デハアリマスガ、今日ノ大東亞戰爭下ニ於キマシテ、土地ノ所有權ノ問題ニ大キナ變革ヲ與ヘマスコトハ、却テ戰爭遂行ノ上ニ於テ私ハ面白クナイト考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ此ノ際ニ於テハ政府ノ力ニ依ツテ地主ノ協力ヲ俟ツテ、サウシテ出來ルダケ自作農創定ヲ多クシテ行ク、地主自身モ今日ハ國家ノ政策ニ協力スル襟度ヲ示シテ來テ居リマスカラ、吾々ノ

力ニ依ツテハ自作農創定モ相當ニ豫期ヨリハ早く其ノ效果ヲ收メ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ一應此ノ程度デ吾々ニヤラシテ見テ戴キタイ、サウシテ尙ホ足ラザル所ガアリマシタナラガ吾々モ反省スルニ各カデナノデアリマス、今ノ事態ニ於テハ此ノ手段ニ依ツテ進ンデ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○平野委員 大臣ノ御丁寧ナル御答辯ハ諒承スルノデアリマスガ、尙ホ此ノ點ニ付テ此ノ議會ヲ通ジテハツキリシテ置キタイト思フノデ敢テ強ク御尋ネスルノデアリマスカラ更ニ一ツ御答辯ヲ戴キタイ、少シ廻ルコトニナリマスガ、昨年ノ九月二十八日ト思ヒマスガ、大政翼贊會ノ協力會議ガ開カレマシテ、其ノ第四委員會ニ於キマシテ此ノ農地問題及ビ自作農問題ガ取上ゲラレテ居ルノデアリマス、勿論新聞紙上ニ於テ拜見ラシタコトデアリマシテ、其ノ速記録ヲハツキリ讀ンデ居リマセヌカラ、間違ヒガアリマスレバ、ソレハ新聞ノ記事ノ誤リト云フコトニナルノデアリマスガ、御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、實ハ其ノ翼贊會ノ協力會議ニ於キマシテ、自作農創定ニ進ム一ツノ手段ノ中ニ、現在政府ガ決定シテ居リマスル農地價格統制令ニ對シテ、或ハ之ヲ相當緩和スル意思ガアルト云フ意味ノ御答辯ガアツタヤウニ拜承シテ居ルノデアリマス、其ノコトハ新聞記事デハアリマスケレドモ、全國農村ニ與ヘテ居リマスル影響ハ洵ニ甚大ナモノガアリマス、言ヒ換ヘマスレバ自作農創定ヲヤルト云フ其ノ方針ガ決ツテ居ル時ニ、農地價格統制令ガ動クノカ動カナイカト云フコトハ、是ハ洵ニ大問題デアル、即チ農地價格統制令ヲ儼トシテ動カサ

ズ、自作農創定ヲ尙ホ斷行スルト云フ政府ノ方針デアルノカ、地主ガ土地ヲ賣ラナイト言ヘバ、農地價格統制令モ相當ニ之ヲ緩メテ、地價ヲ相當上ゲテ地主ガ賣リ易イヤウニシテ之ヲ賣ラスノカト云フ、此ノ二ツノ方針ハ苟モ國務大臣ト致サレマシテ、明確ニ御示シニナツテ置イテ戴カナイト、吾々ガ農村ニ於テ農民諸君ニ自作農創定ト云フ方針ヲ以テ臨ム場合ノ基礎ガ狂ツテ來ル此ノ大政翼贊會ニ於ケル第四委員會ノコトハ勿論新聞見タノデアリマシテ、私ハ之ヲ速記録見タノデアリマセヌケレドモ、若シ大臣ガ場合ニ依ツテハ農地價格マデモ變ヘテ地主ノ土地ヲ賣リ易カラシムルヤウニシテ行クト云フ考ヘガ、頭ノ中ニオアリニナルノカドウカ、又ソレハサウデハナイ、農地價格統制令ハ儼トシテ動カスコトナク、地價ハ其ノ範圍内ニ於テ地主ニ賣ラシムル御考ヘデアアルノカドウカ、此ノ點ハ一ツ本委員會ニ於テ明確ニ御示シテ願ツテ置キタイト思ヒマス

○井野國務大臣 昨年ノ秋大政翼贊會ノ第四委員會ニ於テデアリマシタカ、私ガ申上ゲマシタノハ少シ意味ガ違フヤウニ思ヒマス、ソレハ農地價格統制令ニ於テ、農地價格ハ公定セラレテ居リマスケレドモ、其ノ統制令ノ運用ノ上ニ於テ、府縣知事ノ許可或ハ農林大臣ノ許可ヲ得レバ農地價格モ相當ニ動カシ得ル餘地ガアル、デアルカラ地方ノ事情ニ應ジテ、サウ云フ點ハ適切ニ考ヘテ行キタイト答辯シタコトヲ私ハ記憶シテ居リマス、是ハ私ノ記憶デアリマスカラ或ハ違ツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ現在ニ於キマシテモ私ハ其ノ考ヘハ捨テナイノデアリマシテ、農地價格統制令ヲ現在直

グココデ變ヘルト云フ氣持ハ持ツテ居リマセヌ、併シ耕地ノ改良其ノ他色々ノ手段ヲ講ジタ農地ニ付キマシテハ、地方長官ノ許可ヲ得テ個々の地主ノ農地ニ付テ變ヘ得ル途ヲ開イテ居リマス、又地方的ニ其ノ農地價格ガ不適當デアル場合ハ、ソレヲ變ヘ得ル制度モ出來テ居リマス、是ハ農地價格統制令ノ中ニ例外的ニ設ケラレテ居ル規定デアリマスガ、是ハ運用次第ニ依ツテハ適切ナル運営ガ出來ルノデアリマス、隨テソレ等ノ運営ニ依リマシテ出來ルダケ農地價格ノ適正ヲ圖ツテ參リタイト云フコトハ今デモ考ヘテ居リマス、併シ一般的ノ改正ヲシテ、例ヘバ賃賃價格ヲ變ヘルカ、或ハ賃賃價格ニ掛合ハス倍率ヲ變更スルカト云フコトニ付テハ、今ハ致サスト云フコトヲ申上ゲテ宜イノデアリマス、併シ唯自作農創定ノ爲ニ農地價格問題ガ重大デアリマスカラ、現在農林省內ニアリマス農地委員會等ニモ此ノ問題ヲ諮ツテ今研究ハシテ居リマス、其ノ結論ニ於テ又如何ナル結論ガ出マスカニ依ツテ、私モ裁斷ヲ下シテ參リタイト思ツテ居リマスガ、今此ノ委員會デドウスルカト云フコトヲ答ヘロト云フ御話デアリマスレバ、私ハ今ハ農地價格統制令ノ運用ニ依ツテ適切ナル處置ヲ講ジテ參リタイト云フコトヲ申上ゲルヨリ仕方ガナイノデアリマス

○平野委員 サウ致シマスト、農地價格統制令ハ根本的基準ヲ動カサウト云フ御意思ハナイ、併シ個々の問題デ地主ト小作トノ間ニ於テ土地ノ賣買ガ成立ラシテ自作農ニナルト云フ場合ニ於テハ、其ノ價格ヨリ多少高イ場合モ、是ハ地方長官等ノ裁量ニ依ツテ變更シ得ル餘地ガアル、斯ウ云フヤウナ

御解釋ト思ヒマスガ、ソレニ間違ヒゴザイマセウカ

○井野國務大臣 農地價格統制令ニ書イテアリマス地方長官ノ許可ノ條件ニ合シマスレバ、ソレハ其ノ運用ニ依ツテヤツテ参リタイ、ドレデモ是デモ許可デ皆變ヘテ行クト云フ意味デハアリマセス

○平野委員 是ハ只今ノ御答辯デハツキリハシテ居ルヤウデアリマスガ、相當ニ重大ナ自作農創定ノ現下ノ情勢ニ於キマシテハ一ツノ根本問題ニ觸レルコトデアリマスノデ、尙ホ大臣ニ於カレマシテモ此ノ點ニ付テハ極メテ慎重ナル態度ヲ執ツテ戴カシントヲ希望シマス

次ニ十一月ノ中旬、吾々ガ新聞紙上デ拜承スル所ニ依リマスルト、大臣ハ帝國農會ニ此ノ問題ニ付テ御諮問ニナリマシテ、帝國農會ガ之ニ答ヘタ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、又新聞ニ依リマシテハ帝國農會ガ農林大臣ニ會議ヲ開イテ建議ヲシタ、斯ウ云フ形ニモナツテ居リマスルガ、其ノ形式ハ何レト致シマシテモ、帝國農會ガ建議ヲ致シテ居リマス其ノ内容ニ斯ウ云フ言葉ガ書イアリマス、「農地ハ自ラ耕作スル農家ニ所有セシムルノ原則ヲ強力ニ推進スルコト」是ハ帝國農會ガ農林大臣ニ建議ヲ致シマシタ文句其ノ儘デアリマス、帝國農會ト云ヘバ、相當土地ヲ所有シテ居ル人達ノ集マツテ居ラレル機關デアリマス、土地ノ所有者ノ意思ヲ相當代表セラレル機關ト斷ジテ宜イト私ハ思フ、此ノ帝國農會ニ於ケル一ツノ建議事項ト致シマシテモ、農地ハ自ラ耕作スル者ニ所有セシムルト云フノデアリマスカラ、是ハ自作農ノ根本原則デアアル、而モソレヲ相當強力ニ推進スルト云フ言葉

ガ用ヒテアルト云フコトニナリマスルト、帝國農會ノ方針モ、自作農創定ヲヤル爲ニ相當ニ強力ニ推進スルノデアアル、之ヲ大臣ニ建議シテ居ルノデアアル、大臣ハ洵ニ色々諸般ノ情勢ヲ考慮按排セラレテ政策ヲ御建テニナルコトハ私モ知ツテ居リマス、而モ帝國農會スラ是ダケノコトヲ建議シテ居ルノデアリマス、此ノコトハ大臣ガ私共ニ對シテサウ急激ニハ言ハヌデ暫ク見テ吳レト仰シヤルガ、寧ロ私ハ率直ニ言ヒマス、帝國農會ノ方ガ大臣ヨリ先ニ進ンデ居ルト言ハザルヲ得ナイ、御心配ニナル必要ハナイノデアリマセヌカ、此ノ點ヲ非常ニ御心配ニナツテ居リマスヤウデスガ、私ハ大臣ニ對シテドウシテモ苦情ヲ言フコトニナルノデアリマスケレドモ、

是ハ私一身上ノ問題デ申上ゲテ居ルノデハ斷ジテナイ、隨ツテ尙ホ一ツ私ノ所見ヲ御聽取ヲ願ヒタイト思フ、今日農村ニ於テ食糧ヲ増産スルト云フコトニ付テ、其ノコトニ障礙ガアル問題ハ相當大膽ニ打破ツテ行ケ、斯ウ云フ演説ヲ吾々ガ致シマス、是ハ何人モ受容レマス、苟クモ食糧増産ニ害ノアル問題ハ、ソレガ何デアラウトモ強力ニ之ヲ破ツテシマヘ、是ハ萬人ノ承知スルトコロデス、ソコデ大臣ニ御考ヘヲ願ヒタイコトハ、今日農村ニハ二ツノ所有權ト云フモノガ渦ヲ卷イテ居ル、是ハ學術的ノ意味デハナイデセウガ、其ノ二ツノ所有權トハ何ゾヤト言ヒマス、一ツハ生産其ノモトニ障礙ノアル所有權、一ツハ生産ノ上ニドウシテモナクテハナラヌ所有權、斯ウ二ツニナルト思ヒマス、然ラバ生産ノ爲ニ障礙ニナル所有權トハ之ヲ掘下ゲテ見ルト、ソレハ耕作ニ從事シテ居ラナイ者ノ土地ノ所有權デアアル、又生産ノ爲ニドウシテモ必要ナ所有權ト云フノハ、實際生産ヲスル者ガ持ツ所ノ土地所有權デアアル、是ハ斷ジテ生産ニ必要ナ所有權デアアル、モウ一步掘下ゲテ見マス、生産ノ爲ニ障礙ノアル所有權ノ具體的内容ハ不在地主デス、例ヘバ東京ヤ大阪ニ住ンデ居ツテ、北海道ナドニ地所ヲ持ツテ居ツテ、差配ヲ置イテ小作料ヲ取立テル、所謂タダ小作料ヲ取立テル所有權ト云フモノハ、生産ニハ何等關係ガナイ、併シ祖先傳來ヤツテ來タ農業ダカラ、ドウシテモ石ニ嚙リ付イテデモヤツテ行クト云フ耕作者ニハ、ドウシテモ土地ノ所有權ト云フモノガ必要デアアル、此ノ二ツノ所有權ヲ對比シテ考ヘテ参リマシタ時ニ、私ハ今日ノ農林大臣ト致シマシテ、何レカノ所有權ニ加擔シ、何レカノ所有權ニ對シテハ斷ノ字ヲ用ヒテ行カレル決心ガ農林大臣ノ肚ノ中ニ必要デアルト思フ、現ニ此ノ問題ハ現在企畫院ニ於キマシテモ、或ハ其ノ他ノ省ニ於キマシテモ、ドウシテモ生産ニ必要ナリト云フ見地カラ、此ノ時局下ニ於テ相當摩擦モ起リ、又涙グマシイヤウナ事件ガアツテモ、國ガヤラナケレバナラヌコトニ付テハゲン／＼ト推進シテ行ク、是ガ所謂戰時體制デアリ、高度國防國家ノ建設ト云フコトニナルノデアリマスカラ、之ヲ農村ニ付テ見マス、生産ニ障礙ノアル所有權ニ對シテハ、農林大臣ハ相當ナ御決心ヲナサツテ、自作農創定ニ對シテ、百尺竿頭一步ヲ進メテ戴ク御意思ガアルカドウカ、諄イヤウデアリマスケレドモ、之ニ對スル大臣ノ御所信ヲモウ一度御聽キシタイ

○井野國務大臣 帝國農會ガ答申ヲサレマシタ事柄ニ付キマシテモ、私承知シテ居リマス、其ノ時ニ「強力」ト云フ文字ヲ使ツテ居リマシタノデ、私ハ「強制」ト云フ意味カト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、所ガ強制デヤナイ、力強ク一ツヤツテ吳レ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ私ハ自作農創定ニ付テハ、力強ク一ツヤツテ行ク積リデアリマス、唯強制手段ヲソコニ講ズルヤ否ヤト云フコトニナリマス、今御話ノヤウニ所有權ノ輕重ノ問題ニ付テハ、私モ平野君ノ御意見ハ其ノ通りト思ヒマス、一方ノ所有權ヨリハ、一方ノ所有權ノ方ガ、生産ノ上ニ於テ大切ナ所有權デアルトハ考ヘマスガ、其ノ手段ニ於テ之ヲ強制スルコトニ依ツテ、ソレヲ實行スルコトガ宜イカドウカト云フ問題デアリマス、今日戰力増強ノ爲ニ或ル程度ノ犧牲ヲ國民ガ忍ブ場合モアリマス、アリマスガ、ソレノ由ツテ來ル反對ノ效果モ亦考ヘテ行カナケレバナラス、是ガ農村ニ如何ナル影響ヲ與フルカト云フコトヲ、私ハ農林大臣トシテ考ヘテ行カナケレバナリマセヌガ故ニ、今日ノ事態ニ於テハサウ云ツタ手段ヲ執ルコトガ適當デハナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ其ノ手段ヲ講ジマセヌノデ、平野君カラ見レバ極メテ斷ノナイ奴ダト御考ヘニナルカモ知レマセヌガ、私ハ斷ノナイコトガ今日適當デアルト信ジテ居リマスカラ、此ノ手段ニ依ツテ参リタイト存ズルノデアリマス

○平野委員 是レ以上ハ實際ノ認識ニ對スル見解ノ相違ニナリマスノデ、是レ以上議論致シマスルコトハドウカト考ヘルノデアリマスガ、私ハ農村問題ノ爲ニハ全生涯ヲ賭シテヤラウト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居リマ

ス一人トシテ、斯ウ云フ重大問題ニ付テハ、今日ノ時勢ニ於テハ中途半端ニシテ其ノ場ヲ濁シテ置クト云フコトハ許サレナイコトデアルト信ジマス、斯ウ云フ信念ノ下ニ私ハ大臣ニ更ニ率直ニ申上グルノデアリマスガ、他ノ同僚議員カラモ屢、御指摘ニナリマシタヤウニ、農民離村ト云フ問題ハ、實際カラ言ヘバ今日輕々ニ考フベキコトデハナイ、ソレハ農林省ヘドウ云フ統計ガ現ハレテ居ルカ、マダ詳カニ聞イテ居リマセヌケレドモ、一タビ離村ノ傾向ガ風靡シテ參リマシテ、而モ其ノ離村ヲシタ人間ヲ元ヘ又歸農セシムルコトノ如何ニ困難デアルカト云フコトハ、私が申スマデモナク、大臣ノ御承知ノコトデアル、而モ此ノ農民離村ノ原因ハドウ云フ所ニ在ルカト云フ内容ヲ掘下ゲテ見ルナラバ、大抵ハ小作人デアアル、米價論或ハ其ノ他色々ナ議論ガ今日澎湃トシテ起ツテ居リマスガ、米價ガ安イカラ農業ヲ抛棄スル、斯ウ云フ論者ガ相當アリマスガ、固ヨリ米價ガ相當高クテ農業ガ引合ヘバ農業ヲ廢メナイ、是ハ當然ナコトデアル、併シ私共農民離村ノ研究ニ付テノ書物等ヲ最近好シデ繙イテ見マスト、大體ノ人ノ結論トシテ、全家族ガ舉ゲテ村ヲ離レテ行ク此ノ離村ハ、墓場ガアツテモ自分ノ耕地ガ世襲的ニアレバ、ソレハ防ゲルノダ、斯ウナツテ居ル、米價ガ引合ヘヌカラ農業ヲ棄テテ行クト云フノハ——中ニハ其ノ家庭ノ働キ手ガ百姓ヲヤルヨリハ、軍需工場ヘ行ツタ方ガ宜イト云ツテ、其ノ勞働ガ流レテ行クト云フモノハ、米價論デ片付ケレドモ、一家族部舉ゲテ農業ヲ棄テテ、他ヘ轉業シテ行クカ、轉業シテ行カナイカト云フ基本的ナ農民離村ノ

研究ト云フコトニナツテ來ルト、農業ガ多少引合ヘヌデモ、祖先ノ墓場ガアツテ、ソレニ從ツテ耕地ガ五反ナリ一町ナリ自作農トシテ所有シテ居ル者ナラバ、是ハ中々農業ヲ棄テヌト斯ウナツテ居ル、ソコガ農業政策ノ狙ヒドコロナノデアリマス、北海道アタリデ相當ノ農家ガ大分農業抛棄ヲヤリマシタ、固ヨリ是ハ研究者ニ依リマシテ特色調査ガアリマス、併シ私ノ見解ニ依リマスト、是等ノ北海道ニ於テ農業ヲ抛棄シタ人達ハ、米價ガ低イカラ、農業ガ引合ヘヌカラ、ト云フ單純ナ考ヘヨリハ、小作農デアツテ耕作スル地面ガナイカラ、モウ百姓ヲ廢メル、斯ウ云フ原因ノ方ガ深刻ナノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ大臣ニ諄ク申上デマスガ、二十五ヶ年計畫モ宜シ、又農村ニ摩擦ガ起ルト惡イカラ慎重ニオヤリニナルト云フ態度モ、ソレハ大臣ノ御見解デアリマス、併シ政策ト云フモノハ單ニ見解ダト云フコトタケテ勝負ヲ決メテシマウベキモノデハナイノデアツテ、現實ノ問題トシテ其ノ問題ヲ突詰メナケレバ承服出來ナイ、大臣ハ農民離村ト云フコトニ付テハ、私共ヨリ以上ニ今日御心配ニナラナケレバナラヌ立場ニ居ラレルノデアリマスカラ、此ノ離村ヲ本當ニ止メテ、農民ヲシテ正シイ農民意識ヲ認識セシメテ、多少米價ガ安カラウガ、農業ガ多少引合ヘナカラウガ、俺ハ祖先傳來ノ田地ヲ耕作シテ農村ヲ離レナイノダト云フ目標ヲ三千万農民ニ明カニ植付ケラレルト云フコトニ付テハ、大臣今日ノ御答辯ダケデハ私ハハリ生緩イト思フ、是ハ見解ノ相違タト云フヤウナ程度ニ於テ御片付ケニナルノデハナクシテ、一歩進メテ、此ノ點ニ付テハ大臣ガ明カニ全農家ヲ自作

農ニスルニ付テハ今少シ具體的ナ政策ヲ提ゲテ、今日農業ヲ止メヨウト考ヘテ居ル百姓モソレナラバ俺ハ農業ヲ止メナイデ一ツ百姓タル道ヲ履ンデ行カウト云フコトニナリ得ルダケノ具體的ナ對策ヲ立テ行カレナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルノデアリマス
ソコデモウツ御伺ヒシタイノハ、今回皇國農村ノ建設ト云フコトデ七百餘萬圓ノ豫算ヲ御組ミニナツテ居リマスガ、此ノ七百萬圓ト云フ豫算ヲドウ云フヤウニ御使ヒニナルコトニ依ツテ私ノ憂ヘテ居ルヤウナ問題ガ解決ヲシテ行クノカ、此ノコトニ付テイマ一度具體的ニ大臣カラ此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマス
○井野國務大臣 今日農村ニ離村ノ傾向ガアルト云フコトニ付テハ、農林省トシテモ色々懸念ヲ致シテ居リマス、隨テ是ガ防止策ニ付テ種々ノ對策ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、今御話ノ如ク此ノ農村離村ノ傾向ガ單ニ米價問題デナク、寧ロ自作農創定ニ依ツテ農民ガ其ノ居村ニ落付クト云フ氣持ヲ強メルコトニ於テ、離村防止ノ效果ガ現ハレルノデアアルト云フ點ニ付テハ全ク私モ同感デアリマス、隨テ今回農林省ガ執ツタ皇國農村確立促進ノ施設ノ中ニ自作農創定ヲ加ヘマシテ、農民ガ其ノ居村ニ自作農トシテ落付クト云フ方向ニ各般ノ施策ヲ講ゼントシマシタ所以モソコニ存スルノデアリマス、然ラバドウ云フ手段ヲ以テ其ノ方法ヲ執ツタカト云フ御話デアリマスガ、皇國農村確立促進經費ト云フ豫算ニ現ハレテ居リマスル經費ハ、初年度ニ於テ三百町村ヲ先ヅ試驗的——ト申スト言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、兎モ角取上ゲテ農林省ガ計

畫スルヤウナ立派ナ農村ニ仕上ゲテ見ヨウト云フ意味ニ於テ、其ノ三百町村ニ對シテ計畫モ致シ、又指導モ致シ、必要ガアレバ共同施設其ノ他ノ助成モ致シ、又資金ガ要レバ低利資金ヲ融通シ、サウシテ農業經營ノ上ニ於テ合理的經營ヲ行ヒ、且ツ自作農化セシメルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ其ノ施設ノ内容ニ於キマシテハ、單ニ三百町村ノ自作農創定ヲ考ヘテ居ルノデハナクシテ、自作農創定トシテハ皇國農村ノ標準農村以外ノ農村ニ於キマシテモ、出來ルダケ自作農創定ヲ迅速ニ致スコトガ必要デアリマスルガ故ニ、今回政府トシテハ一億數千萬圓ノ預金部資金ヲ以テ、ソレニ對スル利子補給ヲ豫算ノ上ニ組ミマシテ、其ノ流ス機關トシテハ從來ノヤウニ府縣、市町村ヲ通ジテ流スニアラズシテ、產業組合中央金庫並ニ勸銀ヲ通ジテ、自作農創設者ニ其ノ資金ノ貸付ヲ致スト云フ手段ニ依ツテ是ガ達成ヲ圖ツテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス
○平野委員 只今ノ御答辯デハマダ少シ不明瞭ナンデス、各町村ハ皇國農村建設ノ爲メ試驗的ニ御出シニナルノガ三百万圓程度ト諒承シタノデス、スルト一村平均一萬圓位ニナルト思ヒマスガ、ソレヲ御渡シニナルト其ノ町村ハソレニ依ツテドウ云フコトヲヤリ、又ドウ云フ結果ヲ大臣ハ期待シテ居ラレルノカ、之ヲ一ツ御伺ヒ致マシス
○井野國務大臣 丁度農村不況ノ際ニ、農林省ト致シマシテハ農村更生運動ヲ起シマシタ、其ノ時ニ更生指定村トシテ農村ヲ指定シテ、其ノ農村自體ニ色々ノ計畫ヲ立テサス、サウシテソレニ基イテノ助成ナリ指導ナリヲ致シタ實例ガゴザイマス、併シ今日

ノ考ヘ方ハ農村ノ更生ニアラズシテ、皇國農村トシテノ矜持ト責任ヲ以テ立チ得ル仕組ニ農村ヲ致サウ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、其ノ觀點モ結局農業經營ノ合理化ニ重點ヲ置イテ參ル譯デアリマス、隨テ三百町村ニ對スル金トシマシテハ、計畫ヲ致ス爲メノ諸費用、又共同施設等ノ爲メノ助成金、又其ノ以外ニ低利資金等ヲ融通致シマシテ、サウシテ農村ヲ今申上ゲタヤウナ農村ニ仕上ゲテ行クト云フ仕組デアリマス、其ノ皇國農村確立促進費ダケデソレガ出來ルト御考ヘニナルト非常ナ間違ヒデアリマス、農林省ノ外ノ豫算モソコニ集中的ニ注ギ込シテ參ラウト云フ氣持ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス

○平野委員 サウシマス一約一萬圓ノ金ヲ基準トシテ、町村デ相當ノ金ヲ向ホ集メテ色々施設ヲヤル、サウ云フ施設ガ整ツタ時ニ貫ツタ金ガ補助金ニナル、斯ウ云フ考ヘ方デスカ、外ノ豫算トモ組合ハスト云フ御議論デアルガ、ドウ云フ豫算ト組合ハストデスカ、三百萬圓ノ金ガ一村ヘ一萬圓補助サレテ皇國農村ヲ作ル、是ハ洵ニ失禮デアリマスガ、實際頭ニ描ケナイ、此ノ問題ハ此ノ議會ニ大臣ガ御示シニナツタ最高ノモノデアリマスガ、指導精神ヲ新聞デ讀ンダゲデハ満足出來ナイ、ソレガ斯ウ流レテ斯ウ出テ來ルノダト云フコトヲ、吾ガ農村ニ行ツテ農民諸君ヲ納得サセルコトガ出來ルヤウニ御話ヲ願ヒマス

○井野國務大臣 例ヘバ此ノ指定致シマシタ町村ニ於テ自作農創定ヲスルト云フ場合ニハ、其ノ自作農創定資金ヲ優先的ニ廻シマシテ、ソレノ爲ノ利子補給ノ經費ハ其

ノ以外デアリマス、七百萬圓ノ中ニハ入ツテ居リマスガ三百萬圓ノ中ニハ入ツテ居リマセス、ソレカラ共同施設ヲヤルトカ色々仕事ヲスルト云フ場合ニハ、農林省ニハ又別ニ共同施設ニ對スル色々豫算ヲ持ツテ居リマス、必要ガアレバソレヲ優先的ニ補助シテ行ク、又其ノ農村ニ於テ耕地整理或ハ耕地改良ト云フコトニ於テ經費ガ必要デアレバ、農林省ガ持ツテ居リマス數億ノ豫算ノ中カラ其處ニ優先的ニソレヲ助成シテ行クト云フコトニ依ツテ、其ノ町村ヲ先ヅ農林省ガ考ヘテ居リマスヤウナ立流ナ農村ニ仕上ゲテ行クコトニ努力ヲ致シテ參ル積リデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○平野委員 サウスルト三百町村ノ内ドウ云フ町村ヲ狙ハレマスカ、ドウ云フ型ノ町村ガ試驗臺トシテ上ル代表的ナ資格ヲ有スルカト云フコトヲ問ハントスルノデアリマスカ、ソコデ蒸返シテ言フヤウニナリマスカ、ソコデモ、其ノ町村ニ對シテ自作農創定スルト仰シヤツタガ、ソレハ政府ガ相當補助金ヲスレバ自作農創定モヤリ易クナリマスカ、ヤハリ其ノ町村ノ地主ガ土地ヲ賣ラスト言ツタラ自作農創定ハ出來ナイノデスカ、實際問題トシテ……ソコデ私ガ頭ニハツキリ來ナイノハ、豫算ヲ御出シニナツタゲデハ皇國農村ハ出來ス、ヤハリ之ニ伴フ法律ガ必要ダト云フコトニナルノデスカ、茲デ伺ハントスルノハ、例ヘバ全國デ三百町村ト云フ狙ヒヲ定メル、其ノ三百町村ノ狙ヒ所デスカ、ソレハドウ云フ基準ニ依ツテ模範農村ヲ作ツテヤラウト云フノカ、之ヲ承リタイ

○井野國務大臣 三百町村ノ具體的基準ニ

付キマシテハ、マダ決ツテ居リマセス、併シ大體ノ狙ヒ所ト致シマシテハ、無論過去ニ於テノ更生町村モ其ノ中ニ入りマスガ、先ヅ中庸ナ農村ニ於テ、而モ滿洲移民等トモ勘案シテ、所謂分村計畫ノ出來易イ町村等モ無論優先的ニ入ツテ來マス、又其ノ地域ニ於テ適正規模ノ農家ニ變ヘ得ル事情ノ比較的容易ナモノニ付テ先ヅ當初ニ於テヤリ、非常ナ難カシイ農村ニ於テハ順次其ノ歩ヲ進メテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○平野委員 昭和十六年一昨年農林省ガ全國ノ農會ニ向ツテ通牒ヲ發セラレマシタ、農業勞働力ノ調整ニ關スル通牒デアリマスカ、此ノ通牒ノ内容ハ前議會ニ於テモ既ニ問題ニナツテ相當ノ論議ヲ致シタノデアリマス、其ノ中味トシテ盛ツテ居リマス問題ハ、共同作業ノ問題デアリマス、ソコデ御伺ヒ致シタイノハ、此ノ通牒ヲ御出シニナリマシテカラ今日マデ、此ノ共同作業ガ農村ニ於テドウ云フ實績ヲ示シツツアルカト云フコトニ付テノ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレカラ新タニ出來ル農業團體ニ同じク此ノ昭和十六年ノ十月出サレマシタ通牒ヲ其ノ儘通牒トシテ出サレルノデアアルカドウカ、ソレカラ尙ホ其ノ經驗ニ鑑ミラレマシテ、此ノ通牒ニ對シテ相當ニ修正デモセラレルヤウナ考ヘガアルカナイカ、此ノ三點ヲ簡單ニ御聽キ致シタイ

○井野國務大臣 農村ノ共同作業ノ必要デアリマスコトハ、勞力不足ノ今日當然デアリマシテ、先程森部君カラモ今日農村ノ勞力不足ヲ、共同作業ニ依ツテ克服シテ居ルト云フ御話ガアリ、農林省トシテモ其ノ指導精神ノ下ニ指導致シテ居ルノデアリマス、

唯共同作業ト云フコト自體ガ、或ハ共同計算ニマデ進ムト云フヤウナコトニナリマス、ソコニ所謂「コルホーズ」ト申シマスカ、サウ云フヤウナ思想ガ加ハツテ來テ、非常ニ其ノ運用ノ上ニ於テ面白クナイ結果ヲ生ズルト云フコトカラ、色々御議論モアリ御注意モアツタノデアリマスガ、農林省トシマシテモ固ヨリサウ云フ所マデ進ム意思ハ毛頭ナイノデ、唯勞力ノ共同ト云フコトヲ意味シテ居ルノデアリマシテ、所有權ナリ、或ハ計算ノ上ニ於テノ共同ニマデ入ラセル意思ハナイノデアリマス、隨テ今後ノ指導方針トシテモサウ云フ點ヲハツキリシテ指導ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○平野委員 共同作業ノ問題ハ共同經營主義ト云フ問題ト、自作農創定主義ト云フ問題ト共ニ、農業政策上ノ二大分歧點ニナリ得ル問題ニナルノデアリマス、即チ自作農主義デ參リマスナラバ、其ノ耕地ニ對シテ拂ハレル勞働力ト云フモノガ相當澤山加ハツテモ、其ノ反別カラ餘計米ガ穫レレバ宜イノデアアル、言ヒ換ヘマスルナラバ、八十ノオ爺サンモ十三ノ子供モ共ニ全家族ノ勞働力ガ十分ニ其ノ所有地面ニ加ハツテ、勞力ハドレダケ加ハツテ居ツテモ、米ノ結果サハ穫レレバ宜イト云フ思想デ農業ガ指導サレテ行キマス、是ハ自作農主義デアアル、共同作業、共同經營主義ノ思想ト云フモノハ單位勞働ト云フモノニ對スル收穫ヲ餘計學ゲヨウ、是ダケノ勞働力ニ對シテ是ダケノ賃金ガ餘計穫レルカラト云フ形ノ農業指導ト云フモノニ行クノハ明カチノデアリマス、或ハ農林省ハ共同作業ノ成績ガ非常ニ擧ツテ居ルト云フ風ニ調査ナサツテ居ルヤ

ウニ聞イテ居リマスケレドモ、中ニハ共同作業ニ依ツテヤレバ、日本ノ農業ヲ賃金ヲ基準ニシテ農業指導ニ移行セシメルカノ疑ヒガ相當ニ出テ來ルノデアリマス、此ノ點ハ先程大臣が自作農主義ヲ堅持スルト云フ御言明ガアツタコトニ付テハ最早疑ヒハアリマセヌガ、此ノ共同作業ト自作農主義ニ對スル當局ノ根本的考ヘ方ガ、動モスレバ指導方針ニ二ツノ途ガ混淆シテ居リマスル場合ニ於テハ、農民ニ相當ノ迷ヒヲ生ズル、私ガ自作農主義ニ徹セラレバ、速カニ自作農ニナサイト主張スル根據モ此ノ邊ニ在リマス、是ハ最早此ノ席上ニ於テハ深ク申上ゲマセヌケレドモ、昭和十六年ノ十月出シマシタ共同作業ノ命令ニ付テ、唯共同作業ガ勢力ガ節約ニナルト云フダケノ單純ナル考ヘ方ノミニ於テ之ヲ御指導ニナルト云フコトニ付テハ、相當ニ御研究ノ餘地ガアラウト思フ、茲ニ新ナル農業團體ガ生レテ、此ノ農業團體ニ新シキ指導方針ヲ授ケテ、而モ此ノ農業團體ニ依ツテ農村ヲ整備發達サセヨウト云フ御計畫デアリマスルナラバ、此ノ通牒ニ對シテハ私ガ只今申上ゲタ心配ヲシテ居ルヤウナ點ガナイヤウニハツキリト之ヲ明示シテ、一ツ通牒ヲ改メテ之ヲ御出シニナル御考ヘガアリマスカドウカ、又サウ云フ風ニシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、此ノ點如何デアリマスカ

○井野國務大臣 平野君ノ御説ニ依リマスト、自作農主義ト共同作業主義ト云フ言葉ハワカシイカ知レマセヌガ、其ノ間ニ矛盾ガアル、兩方ノ考ヘ方ノ上ニ於テ、經營上一方ハ勞力ヲ幾ラ注込シテモ收穫サヘ多クナレバ自作農主義ニ付キマシテハ宜イノ

ダ、一方ハ勞力ヲ基準トシテノ賃金主義ニ傾イテ行クト云フヤウナ御議論デアリマス、今現在農林省トシマシテ共同作業ヲ農民ニ獎勵シテ居リマスノハ、サウ云ツタ根本的ナ經營關係カラ私ハ致シテ居ルノデハナイノデ、今日勞力不足ヲ如何ニ克服シテ行クカト云フ見地カラ是ガ指導ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、自作農制定ニナリマシテモ、或ハ共同苗代デアルトカ、或ハ共同採草デアルトカ、或ハ害蟲驅除等ニ於ケル共同作業デアルトカ云フヤウナ事柄ハ、決シテ其ノコトトハ矛盾シナイノデアリマス、農民自體カラ見マセバ、勿論ソナ難カシイ理窟ハ分ラナイノデ、寧ろ平野君ノヤウニ理論的ニハツキリ色々ナコトヲ研究ナスツテオイデニナリマス、サウ云フ疑問モ出テ來マスケレドモ、吾々ハ寧ろ今初メテサウ云フ難カシイ御話ヲ伺ツタノデ、ソナニ難カシイ意味デ決シテ指導モ致シ、獎勵モ致シテ居ルノデナイノデアリマスカラ、其ノ通牒等ニ付キマシテモサウ云フ御心配ガアリマスレバ、十分注意ヲ致シテ通牒ヲ致シテ參リタイト思ヒマス

○平野委員 其ノ御答辯ハ大體諒承シマシタガ、事實ハ大臣ガサウ思ツテオイデニナルノト多少違ツテ居ル、是ハ共同作業ノ命令ガ出テ、農民諸君ハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云フト、帳面ガ付ケニクテ困ル、例ヘバ帳面ヲ扱ツテ居ル人ハ、今日誰ハ何時カラ何時マデ來テ働イタ、其ノ賃金ガ幾ラデ、最後ノ收穫ニナツテ此ノ家ノ收穫ハ幾ラト、サウ云フ計算ヲシテ、相當頭ノ良イ農會技術員モ計算ニハ困ツテ居ル、實際斯ウ云フコトニナツテ居リマス、單ニ私ガ難カシイ理窟ヲ擧ゲテ大臣ヲ御問ヒスルノデハアリマセヌ、實際農村ニハ共同作業ヲ獎勵セラレルト云フ點ニ於テハ、餘リ共同作業萬能主義ニ陥ラナイヤウニ、ヤハリ堅持サレル農業政策ノ大本ガ自作農主義デアル、此ノ地面ハ俺ノ地面デアルカラ家族勞働ガ全部投入ラレルノダト云フ建前ニナラネバナリマセヌ、此ノ建前ヲ農林省ガ失ハレルト云フコトニナレバ、皇國農村建設的信念ニモ疑ヲ持ツテ來マス、是ハ今度通牒ヲ出サレル時ニサウ云フ點ノ疑問ノ起ラスヤウニハツキリヤツテ戴キタイトデアリマス、私ダケガ難カシイ理窟ヲ言フト云フ風ニ考ヘラレマスガ、農民ハ帳面ハ實際難カシクテ困ルト言ツテ居ル聲モ御聽取ヲ願ツテ置キマス

ソコデ法案ニ立戻ルノデアリマスガ、一ツ重要ナ點ダケヲ承リタイトデアリマスガ、既ニ是モ前ニ同僚議員各位カラモ御質問ガアツテ大體ノ答辯ヲ得テ居ルヤウデアリマスガ、依然トシテ此ノ法案ノ將來ニ殘サレタ重大問題ハ第二十九條デアリマス、市町村ノ農業會ノ會長ガ縣知事ニ任命サレル、縣知事ハ內務大臣ノ命ヲ受ケルコトハ明カデアル、此ノ團體ノ運用ニ當ツテ一番重要ナ問題ハ、町村ノ農業會ノ會長デアル、是ガ縣知事ガ任命スルト云フコトガ問題デアル、何ト云ツテモ知事ハ內務大臣ニ通ズル、是ハドウ考ヘテモサウデス、道府縣農會會長ハ農林大臣ノ任命ト云フコトニナリマスガ、茲デ大キナル混淆ヲ招來シテ來ルト私ハ思ヒマス、是ダケ申上ゲタノデハ重政總務局長ノ御答辯ノヤウニ、大丈夫ダカラサウ御心配ナサルナ、ヤツテ見ナケレバ分ラス、斯ウ云フ御考ヘデセウケレドモ、現ニ一番適切ナル問題ハ、農林省カラ派遣サレテ居リマスル所ノ小作官、是ハ全國ニアリマス、小作官ト云フモノハ小作調停法及ビ農地調整法ノ法律ノ範圍内ニ於テ、明カニ其ノ職務ヲ辨ヘテ居リ、大體農林省ノ監督下ニ在ル、併シ此ノ小作官ノ任免權ハ誰ガ持ツテ居ルカト云フト、縣知事デアリマス、モツト具體的ニ言ヘバ、地方ノ經濟部長デアリマス、現ニ或ル縣ノ小作官ノ如キ私共ニ斯ウ云フ、此處ノ縣デ私ガ農地調整法ヤ小作調停法ニ從ツテ斯ウ云フヤウニヤリタイトガ、之ヲ自分ノ思フ通りニヤラウト思フト自ラノ首ガ危クナツテ勤マラス、是ハ首ヲ握ツテ居ルノハ經濟部長デアリ、詰リ地方長官デアリマス、農林省ハ御承知ノヤウニ農政局ノ中ニ農政課ガアリマシテ、小作官ヲ農地調整、小作問題其ノ他尙モ増産ニ關スル問題ニ付テ督勵ヲサレテ居ルガ、其ノ任免權ガ農林省ニナイ、ソコデ現實問題ハヤハリ內務省ノ方ニ頭ガ上ラスト云フコトニナツテ、今日地方ニ起ツテ居リマス土地ノ問題等ニ付テハ、小作官ヨリ、私ガ先般申上ゲマシタヤウニ、警察ノ方ガ餘計之ヲ指導シテ居ル、是ハ現實ノ問題デアル、私ハ此ノ二十九條ニ付テノ法文上ノ解釋ハ皆サンカラ御質問ガアリマシテ、御答ヘニナツテ居リマスカラ、敢テ是レ以上詳シクハ問ハヌデモ分ツテ居リマスケレドモ、現實ノ過去ノ歴史ヲ調べ見テ、町村ノ農會會長ハ縣知事ガ任命シテ、又副會長ヤ理事モ其ノ會長ノ自由ニ依ツテ解任スルコトガ出來ルト云フヤウナ形ニナツテ居ルト、此ノ農業團體ハ果シテ將來農林大臣ガ主務大臣トシテヤルノカ、內務大臣ガ主務大臣デヤルカ、甚ダ混淆スル、大臣ハ此ノ點ドウ云

フ御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ、心配シナクテモ宜イト云フダケノ確乎タル内容ニ付テ御明示アラシコトヲ希望致シマス

○井野國務大臣 只今ノ問題ニ付キマシテハ、私ハ平野君ノ御意見ハ少シ頭腦明哲ナルニ拘ラズ見當ガ外レテ居ラレハセヌカト思フ、ソレト申スノハ、今日地方長官ト云フモノハ決シテ内務大臣ノ地方長官デハナイノデアリマス、農林省所管ノ問題ニ付キマシテハ、農林大臣ノ指揮監督ヲ受クベキ農林省ノ關係ノ地方機關デアリマス、デアリマスカラ農林省關係ノ地方的ノ事務ハ、皆地方長官ニ任セマシテ、サウシテ私が指揮監督シテ、米ノ管理ニシロ、又其ノ他ノ食糧ノ増産ニシロ、皆ヤラシテ居ルノデアリマス、唯其ノ任免權ヲ内務大臣ガ持ツ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、地方長官ノ任免權ハ内務大臣ガ持ツテ居リマセヌ、是ハ今日閣議ニ於テ決メテ居リマス、閣議總理ガ吾々ノ意見ヲ十分聽イテ問題ヲ處理シテ居ル、デアリマスカラ決シテ地方長官ガ内務大臣ノ所謂下僚官吏デアルト云フヤウナコトデハ絕對ニナイノデアリマス、隨テ農林團體ノ團體長ノ任免ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、農林大臣ガ立派ニ指揮命令ノ權限ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、地方長官ヲシテ適正ナル運籌ヲサシテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

イケレドモ、大體内務大臣ガ送レバ地方長官ガ送ル、是ハ常識デアアル、農林大臣ガ送ツテ地方長官ガ送ルト云フ例ハナイ、(笑聲)隨テ私共ハ此ノ第二十九條ニ對シテ、ドウシテモ大臣ガ御心配ガナイト言ハレレバ、一應是ハ心配ナイモノトシテ今日ハ了承シマスケレドモ、確ニ是ハ農村ニ於テ色々農業團體ヲ經營シ、又地方農村ニ於テ諸般ノ問題ニ打ツツカツタ者ノ共通ノ意見トシテハ、縣知事ガ任命スル人ハドウシテモ縣知事ニ頭ガ上ラナイ、縣知事ハ農林省ヨリ内務畑ノ方ニ行ツテ居ル、此ノ氣分ガアルノデアリマスガ、ソレハ何方ガ監督スルカト云フ議論ハアリマセウガ、苟モ主務大臣トシテ農林大臣ガ之ヲ運行セラレルト云フコトガ基本原則デアリマス以上ハ、此ノ第二十九條ニ對シテハ吾々ガ今申上ゲタヤウナ、相當ナル心配ト將來ノ運行ニ付テ疑問ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、大臣ハツキリト御認識ヲ戴キタイト思ヒマス

次ニ簡單ニ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマスル問題ハ、本案デハ養蠶組合聯合會ト云フモノヲ併合セラレル、即チ此ノ法案ト共ニ全國ノ養蠶農民ノ間ニモ、相當大キナ變化ガ來ルト思フノデアリマス、旁々先刻加藤委員カラモ御述べニナリマシタヤウニ、現在我が國ノ養蠶業ハ、其ノ趨勢ト致シマシテ非常ニ憂慮スベキ情勢ニアル、是ニ於テ政府ハ今日必要ト致シマス蠶ノ生産數量六千三百萬貫デアルト云フコトヲ御發表ニナツ居ルノデアリマスルガ、此ノ六千三百萬貫ヲ生産セララルニ當ツテ、現實此ノ新シク出來タ農業團體ニ生産命令デモ御出シニナルト云フコトニナルノデアリマスカ、具體的ナ問題トシテハ此ノ六千三百萬貫ノ

蠶ヲ生産スルニハ、農林大臣ト致シマシテハドウ云フヤウナ方法ニ依ツテ此ノ所期ノ目的ヲ達成セントセラレテ居ルカ、其ノ御考ヘヲ一ツ御聽キシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 本年ノ蠶ノ生産目標ヲ六千三百萬貫ト押ヘテ今各府縣ニ指導致シテ居リマスガ、其ノ方法トシマシテハ、大體各府縣ノ桑園反別ヲ基準ニシマシテ各府縣ニ割當テテ居リマス、隨テ各府縣ハ府縣内ニ於キマシテ養蠶業組合、或ハ養蠶實行組合等ニ其ノ割當ヲズツト致シテ居リマス、各部落々々ノ割當量ニ應ジテ其ノ生産ヲ圖ツテ行ク、ト云フコトニ實際的ニハ實行致シテ居リマス

ノ縣ニ付テハ、重點的ニ指導ヲシテ參リタイト考ヘテ居リマス、唯然ラバ副業的ノ養蠶縣ヲドウ扱フカト云フコトニナリマスト、ドウモ勞力關係カラ、ヤハリ養蠶業ト云フモノガ、農業經營ノ上ニ必要ナ點ガアルノデアリマス、デアリマスカラソレ等ノ事情ヲ能ク勘案致シマシテ、適當ニ指導モ致シ、又獎勵致シテ參リタイト考ヘテ居リマスガ、概念的ニ申上ゲマスレバ、主要養蠶縣ニハ重點的ノ指導方針ヲ執ツテ行クト云フコトハ申上ゲ得ルト思ヒマス

○平野委員 昨年及ビ一昨年内行ハレマシタ桑園整理ノ跡ヲ見マスルト、其ノ方針ガ餘リ明確ニナツテ居ナイノデアリマス、隨ヒマシテ今後ノ養蠶業ハ先程御言明ノアリマシタヤウニ、相當ナ危機ニ當面ラシテ居ルノデ、此ノ點ニ對シテハ特ニ御留意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ蠶絲統制會社ガ出來マスル當時ニ、吾々ハ其ノ蠶絲統制會社ノ積立金ト云フモノハ、蠶作連作ニ對シテ相當之ヲ使フヤウニト云フコトヲ附帶條件トシテ當時進言シタト思ヒマス、又之ニ對シテハ附帶條件トシテ通ツタノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ一向具體策ガ立ツテ居ラナイヤウデアリマス、大臣ハ之ニ對シテ適當ナル方策ヲ考ヘテ居ラレルカドウカ御尋ネ致シマス

○井野國務大臣 蠶絲統制會社ノ積立金ニ付キマシテハ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、蠶絲業ノ所謂安定資金ト云フ意味デ積立ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ一端トシテ蠶作ノ安定、或ハ霜害其ノ他ノ色々ナ災害ノ救助ト云フコトニモ使ヒタイト考ヘテ、其ノ指導ヲ致シテ居リマス、隨テ最近ニ於キマシテモ、サウ云ツタ方面ニモ相當

ノ金ヲ蠶絲統制會社トシテハ支出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○平野委員 蠶絲業ニ對シテ現狀ニ放擲スルナラバ、非常ナル減收トナリ、又養蠶業ヲ拋棄スル農民ノ傾向ノ顯著ナルコトモ御承知デアリマセウガ、之ニ對シテハ此ノ議會ガ終了シタト云フヤウナ時ニナリマス、既ニ時期ヲ失スルノデアリマス、議會ノ開會サレテ居リマス適當ナ機會ニ、農林大臣ハ全國ノ養蠶農民ニ對シテ、養蠶業ハ現下日本ノ國策ニ於テ必要ナル點ヲ明カニ説明セラレ、且又是ガ生産ニ從事シテ居ル者ヲシテ、最低ノ生産費ヲ償フダケノ繭價ト云フモノヲ保障シ、尙且ツ養蠶ニ從事シテ居リマス所ノ農民ガ、養蠶業ニ對シテ國家奉仕ノ考ヘ方ヲ持ツテ、米麥ヲ作ルト同ジヤウナ氣持ノ上ニ、養蠶業ニ從事スルコトノ出來ルヤウナ御聲明ト言明ヲ適當ナ機會ニセラレノ用意ガアルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シマス、何トナレバ私ハ斯様ニ思フノデアリマス、米價問題及ビ繭價ニ對スル問題トハ相當重要デアリマスガ、就中其ノ中ニ於テ米麥ノ問題ハ、食糧ト云フ戰時下ニ於テ非常ニ必要ナモノデアルト云フ見地ニ立ツテ居リマスルカラ、之ヲ作ルコトハ、採算ハ多少ドウアツテモ、國家的デアルト云フ認識ハ今日農民ハ非常ニ持ツテ來テ居ル、併シ動モスルト養蠶ニ對シテハ最早外國貿易ハナクナツテ、金貨ヲ獲得スル必要モナイノダト云フ見地カラ、斯ウ云フモノヲヤツテ居ツテモ大シテ農民ノ誇リデハナイト云フ考ヘガ一方ニ浸潤スルト共ニ、旁、現在ノ八圓ナニガシノ繭價ニ於テハ到底引合ハナイカラ、養蠶業ヲ廢メナケレバナラスト云フ風潮ハ、今日農

村ニ於テ非常ナ大キナ渦ヲ卷イテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、若シ大臣ガソレハソレデ構ハナイト云フ御見解デアリマスレバ、何ヲカ言ハンヤデアリマセウガ、六千三百萬貫ノ繭ダケハ、ドウシテモ昭和十八年度ニ於テ必要デアル、或ハ物動計畫其ノ他ニ於テ儼トシテ固キ信念ガアリマスルナラバ、現狀ノ儘、蠶絲對策ト云フモノヲ放任シテ置カル理由ハナイト思フノデアリマス、之ニ對シテ大臣ハ今議會適當ノ機會ニ、我が國養蠶農民ニ對シテ繭ヲ増産スルノ意識ヲ喚起セシムルノ適當ナル對策ヲ立テテ、之ヲ聲明セラルルノ用意アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○井野國務大臣 蠶絲業ノ現狀ニ鑑ミマシテ、養蠶農民ニ對シテ、蠶絲業ノ重要性並ニ將來ノ光明ヲ與ヘルコトノ必要ナルコトハ勿論デアリマス、隨テ私トシマシテモ議會開會前ニ、或ハ群馬ニ、或ハ東北六縣ノ大會ニ福島ニ參リマシテ、親シク養蠶農民諸君ニ、其ノ必要性ヲ力説シテ參ツタノデアリマス、又各府縣ノ長官ナリ、或ハ指導者ガ其ノ氣持ニナツテ參リマセスト困リマスノデ、次官通牒ヲ以チマシテ、蠶絲業ノ重要性ヲ十分ニ強調致シマシタ、其ノ結果、縣ノ蠶絲ノ諸施設ニ於キマシテモ、相當ニ考慮ガ拂ハレテ、蠶絲業ニ對スル色々ノ施設モ出來テ居ルヤウナ事態デアリマス、此ノ議會ヲ通ジテト云フ御話デアリマスガ、私ハ絶エズ「ラジオ」或ハ新聞等ニ於キマシテハ、其ノ重要性ヲ説イテ居リマス、又先般全國ノ養蠶業組合ノ組合長ヲ全養聯ニ集メマシテ、此ノ問題モ十分ニ納得ノ行クヤウニ話モ致シ、極力其ノ方面ニ向ツテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、價格問題等ニ付

キマシテハ、先般モ御答ヘ致シマシタ通りニ、是ハ本年ノ春繭ノ價格ヲ決メマス時期ガゴザイマス、是ハ蠶絲委員會ニ諮問致シマシテ、其ノ價格ヲ決定スルコトニナツテ居リマスカラ、其ノ時期マデニ十分考慮スルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○東郷委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度解散會致シマス、明日ハ午前十時カラ會議ヲ開キマス

午後三時五十三分散會